

Iwami Art Museum

平成24  
[2012]  
年度

# 年報

島根県立石見美術館

Annual Report April 2012- March 2013

## 目次 Contents

活動方針・活動内容	1
展覧会一覧	2
企画展	3
特別展	11
コレクション展	14
その他の展覧会	26
教育普及活動	27
ボランティア	31
連携事業	32
所蔵作品一覧	33
新収蔵作品一覧	46
所蔵作品貸出実績	47
入館者数一覧・ミュージアムパスポート会員数一覧	48
収支概要	49
島根県芸術文化センター条例	50
島根県立石見美術館管理規則	55
施設概要	58
運営組織体制	61
利用案内	62



### 島根県立石見美術館と島根県芸術文化センター

島根県芸術文化センターは、「島根県立石見美術館」と「島根県立いわみ芸術劇場」の複合施設です。この施設は、石見地域の芸術文化拠点として、美術や音楽、演劇などの分野が相互に協調し、誘発し合いながら、多様で質の高い芸術文化の鑑賞機会を提供します。また、石見地域に育まれてきた文化を大切にしながら、新しい芸術文化の創造をめざします。

### 活動方針

- 1: 芸術を身近に感じる仕組みづくり
- 2: 芸術文化を通じたネットワークの支援・育成
- 3: 非日常空間の提供
- 4: 世界に目を向けた情報発信

### 島根県立石見美術館

- 1: 幅広い視野で多彩な企画展を開催します。また、テーマ性をもった質の高い常設展示を行います。
- 2: 地域や分野、年代にとらわれず、優れた国内外の作品を収集します。
- 3: 美術作品の収集、および展示、保存、また教育普及に関する調査研究を行います。
- 4: 美術に関する理解を深めるための講演会やワークショップなどの教育普及活動を行います。

### 島根県立いわみ芸術劇場

- 1: 芸術文化を鑑賞する場として、また創造する場としての活動を行います。
- 2: 優れた芸術文化に接することができるよう充実した自主事業を行います。
- 3: 舞台芸術に関する研修機会を提供します。

## 展覧会一覧

	展示室	展覧会名	会期
企画展	展示室D	福富太郎コレクション 鏑木清方と明治・大正・昭和の美人画	平成24年 4月21日～6月4日
		マンチェスター大学ウィットワース美術館所蔵 巨匠たちの英国水彩画展	平成24年 7月14日～9月24日
		東京藝大美術館所蔵 日本近代美術の名品展－森鷗外と米原雲海を中心に－	平成24年 10月6日～11月26日
		平成24年度国立美術館巡回展 国立西洋美術館所蔵 ヨーロッパの近代美術	平成24年12月22日～ 平成25年2月18日
特別展	展示室A	日本刀の美－室町時代から江戸時代まで－	平成24年 3月31日～5月14日
	展示室C	澄川喜一 彫刻展	平成24年 10月6日～12月24日
	展示室C	現代版画の諸相	平成25年 1月2日～2月3日
	展示室C	彫刻のそざいということ	平成25年 2月6日～3月25日
コレクション展	展示室A	江戸時代の絵師たち	平成24年 5月16日～7月2日
		人物を描く	平成24年 7月4日～8月20日
		わんこ・にゃんこ	平成24年 8月22日～10月1日
		描かれた女性たち	平成24年11月30日～ 平成25年1月14日
		あなたは どう見る?～よく見て話そう、美術について	平成25年 1月16日～2月25日
		雲谷派と墨絵の系譜	平成25年 2月27日～4月15日
	展示室B	洋画名品選	平成24年 4月4日～6月18日
		風景画	平成24年 6月20日～9月2日
		森英恵	平成24年 9月5日～10月29日
		重要文化財 益田元祥像	平成24年 10月31日～12月3日
		1920's夜を彩る服	平成24年12月5日～ 平成25年2月11日
		根付	平成25年 2月13日～5月6日
	展示室C	森村泰昌－美に至る病 女優になった私－	平成24年 3月29日～5月20日
		ロシア・アヴァンギャルドのデザイン	平成24年 5月24日～7月16日
		スポーツウェア	平成24年 7月19日～8月27日
		版画とポスター	平成24年 8月29日～10月3日
その他の展覧会	展示室D	第34回島根県独立書人団益田支部書展	平成24年 6月21日～6月25日
		第31回益田市美術展	平成24年 6月29日～7月1日
		第45回島根県総合美術展(県展)移動展	平成24年 12月6日～12月9日
		第45回島根県高校美術展	平成24年 12月14日～12月17日
		全島根小中学校図画作品展 益田展	平成25年 3月1日～3月4日

## 企画展 福富太郎コレクション 鎬木清方と明治・大正・昭和の美人画



ポスター

展覧会名：福富太郎コレクション 鎬木清方と明治・大正・昭和の美人画  
 会 期：平成24年4月21日(土)～6月4日(月)  
 休 館 日：毎週火曜日  
 観 覧 料：当日券 一般／1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円  
 大学生／600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円  
 小中高生／300(250)円、企画・コレクション展セット300(250)円  
 前売券[企画・コレクション展セット]  
 一般／900円、大学生／500円、小中高生／200円  
 \*( )内は20名以上の団体料金。  
 \*小中高生の学校利用は無料。  
 \*障害者手帳をお持ちの方、およびその付き添いの方は入場無料。

主 催：島根県立石見美術館、山陰中央テレビ、山陰中央新報社

## 内 容

「ファッション」にちなんでこれまでも企画展、コレクション展で美人画展を行ってきた当館で、質量ともに国内有数の内容を誇る福富太郎コレクションによる美人画展を開催した。鎬木清方をはじめとする画家26名による、明治、大正、昭和時代に描かれた美人画62点を、東京の画家、京都・大阪の画家の二部構成で展覧した。近松門左衛門の作品に取材し男女を描いた作品の特集コーナーを設けるなど、当館独自の会場構成も行った。鎬木清方や上村松園ら著名画家だけでなく、池田蕉園、島成園など紹介される機会の少ない女性画家の作品も来場者の注目を集めていた。



会 場



会 場



トークショー

## 新聞、雑誌掲載

山陰中央新報4月2日 展覧会告知記事  
 毎日新聞4月13日 展覧会告知記事  
 山陰中央新報4月14日 川西 由里「グラントワ通信52 鎬木清方と明治・大正・昭和の美人画」  
 山陰中央新報4月20日 展示作業取材  
 『月刊美術』5月号 4月20日 展覧会紹介記事  
 山陰中央新報4月21日 開幕記事  
 山陰中央新報4月23日 ギャラリートーク取材記事  
 山陰中央新報4月24日 作品紹介 川西 由里 鎬木 清方「祭さじき」  
 山陰中央新報4月25日 作品紹介 川西 由里 池田 輝方「お七」  
 山陰中央新報4月26日 作品紹介 川西 由里 池田 蕉園「宴の暇」  
 山陰中央新報4月27日 作品紹介 川西 由里 島 成園「爪びき」  
 山陰中央新報4月28日 作品紹介 川西 由里 北野 恒富「五月雨」  
 山陰中央新報5月1日 川西 由里「美人のお相手は草食系男子?」  
 山陰中央新報5月5日 川西 由里「時代映す「美人」の姿」  
 山陰中央新報5月13日 トークショー取材記事  
 中国新聞5月13日 展覧会紹介記事  
 山陰中央新報5月20日 ティーガーデン取材記事

## 印 刷 物

展覧会ポスター：B2  
 展覧会チラシ：A4  
 子供のための鑑賞ガイド  
 (デザイン：すべてグラフィックグループ・トウエルヴ)

## 関連事業

## トークショー「観たい！知りたい！美人画の魅力」

美人画の楽しみ方や、明治・大正・昭和それぞれの時代の美人画の特徴を紹介。講師と学芸員のかけあいで進行し、クイズコーナーを設けるなど観客参加型のイベントとした。ゲスト講師：菊屋 吉生(山口大学教授) 司会進行：川西 由里(当館主任学芸員)  
 日 時：5月12日(土)14:00～15:30  
 会 場：多目的ギャラリー  
 参 加 者：21名



ギャラリートーク

### 益田糸あやつり人形「伊達娘恋の緋鹿子 八百屋お七の段」

展覧会出品の池田輝方作「お七」にちなんだ演目を、糸あやつり人形定期公演で上演。

出 演：益田糸あやつり人形保持者会

日 時：5月5日(金・祝)

会 場：小ホール

参 加 者：170名

### ギャラリートーク

講 師：当館学芸員

日 時：4月22日(日)、29日(日)、5月4日(金・祝)、20日(日)、6月3日(日)  
いずれも14:00～

会 場：展示室D

### グラントワ tea ガーデン「よそほい茶」

日 時：5月19日(土)11:00～

会 場：美術館ロビー

参 加 者：100名

企画展 マンチェスター大学ウィットワース美術館所蔵 巨匠たちの英国水彩画展



ポスター



会場



会場



講演会

展覧会名：マンチェスター大学ウィットワース美術館所蔵 巨匠たちの英国水彩画展

会 期：平成24年7月14日(土)～9月24日(月)

休 館 日：毎週火曜日(ただし8月14日は開館)

観 覧 料：当日券 一般／1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円  
 大学生／600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円  
 高校生以下無料

前売券[企画・コレクション展セット]

一般／900円、大学生／500円、小中高生／200円

\* ( )内は20名以上の団体料金。

\* 神々の国しまねプロジェクトにより、高校生以下は入場無料

\* 小中高生の学校利用は無料。

\* 障害者手帳をお持ちの方、およびその付き添いの方は入場無料。

主 催：島根県立石見美術館、マンチェスター大学ウィットワース美術館、朝日新聞社、BSS山陰放送

後 援：ブリティッシュ・カウンシル

協 賛：竹中工務店

協 力：あいおいニッセイ同和損保、日本航空

内 容

「マンチェスター大学ウィットワース美術館所蔵の水彩画と素描のコレクションから借用した157点の作品によって、18世紀半ばから19世紀にいたる英国水彩画約150年の歴史の全容を紹介した。サンドビー、ターナーなど英国水彩画を代表する画家の作品に加え、ロセッティやミレイらラファエル前派の作品も展示した。夏休みにあわせた水彩画教室の開催や、美術館ロビーでのイギリスの絵本コーナーの設置、キッズワークシートの作成・配布によって子供の来館をうながした。会期中に開催されたロンドン・オリンピックにあわせ、飲食店の協力によりイギリスフェアを実施。市内商業施設での広報の新たな試みとなった。

新聞、雑誌掲載

山陰中央新報7月7日 河野 克彦 グラントワ通信「水彩画で英国を旅する」

朝日新聞7月7日 展覧会告知

朝日新聞7月8日 展覧会告知

月刊おかやま7月25日 展覧会紹介記事

山陰中央新報7月25日 西村 悟郎「イギリス庭園の粋」

朝日新聞8月9日 ワークショップ紹介記事

朝日新聞8月14日 ワークシート取材記事

朝日新聞8月16日 神田 剛 新審美眼「若き日の巨匠が見た時代の波」

朝日新聞8月20日 作品紹介 河野 克彦 ポール・サンドビー「南西の方角から望むコンウェイ城」

朝日新聞8月21日 作品紹介 河野 克彦 トマス・ガーティン「ウェア川からダラム大聖堂と橋を望む」

朝日新聞8月22日 作品紹介 河野 克彦 ジョシュア・クリストール「漁網を干す漁船、ファイン湖、アーガイルシャー」

朝日新聞8月23日 作品紹介 河野 克彦 バーバラ・リー・スミス・ボディション「アイルランド、1846年」

朝日新聞8月25日 作品紹介 河野 克彦 ウィリアム・パーズ「カンポ・ヴァッチェーノ、ローマ」

朝日新聞8月26日 作品紹介 河野 克彦 J. M. W. ターナー「ルツェルン湖の月明かり、彼方にリギ山を望む」

朝日新聞8月27日 作品紹介 河野 克彦 ウィリアム・ホルマン・ハント「岩のドーム、エルサレム、ラマダンの期間」

朝日新聞9月3日 河野 克彦「ターナーの風景画とピクチャレスクな英国」

朝日新聞9月20日 来場1万人達成記事

山陰中央新報9月20日 来場1万人達成記事

朝日新聞9月25日 展覧会閉幕記事



ワークショップ



来場者1万人達成



絵本コーナー

## 印刷物

展覧会ポスター：B2

展覧会チラシ：A4

子供のための鑑賞ガイド

(デザイン：すべて野村デザイン制作室)

## 関連事業

## 講演会「イギリス庭園の歴史ー18世紀の風景式庭園から19世紀のフラワーガーデンまでー」

イギリス庭園の歴史についての講演会。聴講者に紅茶とイギリスのお菓子をふるまった。

講師：西村 悟郎(恵泉女学園大学名誉教授)

日時：7月29日(日)14:00～15:30

会場：大ホールホワイエ

聴講者：68名

## ワークショップ「やさしい水彩画教室 花を描こう！」

当館の学芸員による水彩で一輪のバラを描くワークショップ。

講師：左近充 直美(当館専門学芸員)

日時：8月12日(日)13:00～16:30

会場：講義室

参加者：30名

## グラントワシアター「マーガレット・サッチャー 鉄の女の涙」

2011年公開のイギリス映画を上映した。毎月開催しているグラントワシアターとしての企画。

日時：8月18日(土)10:00～/14:00～/18:30～

会場：小ホール

参加者：396名

## ギャラリートーク

講師：当館学芸員

日時：7月22日(日)、8月5日(日)、9月9日(日)、23日(日)いずれも14:00～

会場：展示室D

## グラントワteaガーデン「英国茶」

日時：8月25日(土)11:00～

会場：美術館ロビー

参加者：100名

## イギリスフェア

益田市の料飲組合へ働きかけ、会期中、市内飲食店でのイギリスの料理やビールの販売、展覧会のPRを依頼した。

協力店：12店舗

企画展 東京藝大美術館所蔵 日本近代美術の名品展 —森鷗外と米原雲海を中心に—



ポスター



展示



会場



会場

展覧会名：東京藝大美術館所蔵 日本近代美術の名品展 —森鷗外と米原雲海を中心に—

会 期：平成24年10月6日(土)～11月26日(月)

休 館 日：毎週火曜日

観 覧 料：当日券 一般／1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円

大学生／600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円

前売券[企画・コレクション展セット]

一般／900円、大学生／500円

\* ( )内は20名以上の団体料金。

\* 神々の国しまねプロジェクトにより、高校生以下は入場無料。

\* 小中高生の学校利用は無料。

\* 障害者手帳をお持ちの方、およびその付き添いの方は入場無料。

主 催：島根県立石見美術館、日本海テレビ、中国新聞社

協 力：東京藝術大学大学美術館、東京藝術大学大学院文化財保存学専攻保存修復  
油画研究室

協 賛：ヤマトロジスティクス株式会社

内 容

島根県出身の文豪、森鷗外の生誕150年を記念する展覧会。明治・大正を牽引した美術家達と交流のあった鷗外と、同時代を生きたもうひとりの郷土の傑物、米原雲海のふたりにテーマの軸をおき、両者の共通点である東京藝術大学の所蔵作品のなかから、数々の名品を含む関連の絵画・彫刻作品を紹介し、日本近代美術の流れを追った。

また、二人が奉職した時期、その時代背景の流れにある明治から昭和初期までの、島根県出身の卒業生たちの自画像および卒業制作を紹介。未研究部分を調査・検証し、一部修復も行うなどこれまで未公開であった作品群を展示した。

新聞、雑誌掲載

山陰中央新報8月1日「明窓」 島根県出身の美校卒業生の情報を求める記事

『月刊美術』9月号8月20日 展覧会内容特集記事

山陰中央新報9月5日 展覧会内容特集記事

山陰中央新報9月29日 左近充 直美 グラントワ通信「東京藝大美術館所蔵 日本近代美術の名品展」

山陰経済ウィークリー10月2日 「点睛」より展覧会紹介記事

読売新聞10月3日 県庁記者発表記事

中国新聞10月3日 展示作業取材

中国新聞10月6日 開催記事

山陰中央新報10月6日 開催記事

聖教新聞10月6日 展覧会情報

中国新聞10月7日 澄川館長トーク

朝日新聞10月12日 開催記事

毎日新聞10月12日 展覧会情報

中国新聞10月18日 作品紹介 左近充 直美 横山 大観「村童観猿翁」

中国新聞10月19日 展覧会特集記事

『美術の窓』10月号10月20日 左近充 直美 展覧会紹介

毎日新聞10月23日 開催記事

中国新聞10月29日 作品紹介 左近充 直美 高村 光雲「聖徳太子像」

山陰中央新報10月29日 左近充 直美「森鷗外と米原雲海」

中国新聞10月30日 作品紹介 左近充 直美 浅井 忠「収穫」

中国新聞10月31日 作品紹介 左近充 直美 米原 雲海「橋本雅邦像」

中国新聞11月2日 作品紹介 左近充 直美 黒田 清輝「婦人像(厨房)」

中国新聞11月3日 作品紹介 左近充 直美 森脇 忠「自画像」

中国新聞11月5日 記念講演会記事

広報ますだ11月号 「市長室からこんにちは」より展覧会紹介記事

山陰中央新報11月16日 来場一万人達成記事

中国新聞11月16日 来場一万人達成記事



会場



会場



スペシャル・ギャラリートーク



記念講演会



来場者1万人達成

## 印刷物

展覧会ポスター：B2  
 展覧会チラシ：A3ニツ折り  
 子供のための鑑賞ガイド  
 展覧会図録  
 (デザイン：すべて美術出版社)

## 関連事業

## 澄川喜一によるスペシャル・ギャラリートーク

企画展と同時期に行われた「澄川喜一彫刻展」とのコラボ企画。元東京藝術大学学長の彫刻家、澄川喜一による「藝大のはなし」「作品のはなし」。

講師：澄川 喜一(当館館長)  
 日時：10月6日(土)・7日(日)・21日(日)いずれも14:00～  
 会場：展示室D・C  
 参加者：151名

## 美術講座「藝大展いろは一絵にかくされたナゾ」

藝大展を楽しんでいただくために、出品作にかくされた秘話などを担当学芸員が紹介した。

講師：左近充 直美(当館専門学芸員)  
 日時：10月28日(日)14:00～15:30  
 会場：講義室  
 聴講者：24名

## 記念講演会「収蔵庫探訪－藝大美術館のコレクション」

藝大美術館のコレクションの成り立ちや特色などをお話しいただいた。

講師：薩摩 雅登(東京藝術大学教授)  
 日時：11月4日(日)14:00～15:30  
 会場：講義室  
 聴講者：25名

## ギャラリートーク

講師：当館学芸員  
 日時：10月14日(日)、11月3日(祝・土)・18日(日)・23日(祝・金)・25日(日)  
 いずれも14:00～  
 会場：展示室D・A

## グラントワteaガーデン「綺羅茶」

藝大展にちなんだ飲み物として、谷中名物のしょうがを使ったお茶を楽しんでいた。

日時：10月27日(土)11:00～  
 会場：美術館ロビー  
 参加者：100名

ほか、会期中には、開館7周年記念感謝祭「きんさいデー」(10月7日)の実施、および藝大展の開催を記念して、先着プレゼント企画(会期中の平日・先着20名に「藝大グッズ」プレゼント/会期中の土日祝日・先着10名に「澄川喜一直筆サイン入りオリジナルグッズ」プレゼント)を行った。

企画展 平成24年度国立美術館巡回展 国立西洋美術館所蔵 ヨーロッパの近代美術



ポスター



会場



会場



内覧会

展覧会名：平成24年度国立美術館巡回展 国立西洋美術館所蔵 ヨーロッパの近代美術

会 期：平成24年12月22日(土)～平成25年2月18日(月)

休 館 日：毎週火曜日、年末年始の12月28日(金)～1月1日(火)

観 覧 料：当日券 一般／1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円

大学生／600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円

前売券[企画・コレクション展セット]

一般／900円、大学生／500円、小中高生／200円

\* ( )内は20名以上の団体料金。

\* 神々の国しまねプロジェクトにより、高校生以下は入場無料。

\* 小中高生の学校利用は無料。

\* 障害者手帳をお持ちの方、およびその付き添いの方は入場無料。

主 催：国立西洋美術館、島根県立石見美術館、島根県教育委員会、日本海テレビ、中国新聞社

内 容

国内で唯一、西洋美術を専門とする国立西洋美術館。その充実したコレクションから、絵画、版画、彫刻など、同館コレクションの中核をなす「松方コレクション」(印象派の絵画及びロダンの彫刻を中心とするフランス近代美術コレクション)を含む名品約80点を展覧した。

展示作品選出にあたっては、当館が収集の柱としているファッションにちなんだ作品を多数提案いただき、そうした作品に関連づけたコレクション特集展示や広報展開が実現するなど、単なる国立美術館コレクション巡回展に終わらない広がりを持たせることができました。

新聞、雑誌掲載

山陰中央新報12月20日 開幕記事

朝日新聞12月21日 展覧会告知記事

毎日新聞12月21日 展覧会告知記事

山陰中央新報12月22日 展覧会告知記事

中国新聞12月22日 開幕記事

山陰中央新報12月25日 関連イベント告知記事

中国新聞12月27日 展覧会告知記事 「仏絵画の転換期 名作が勢ぞろい」

中国新聞1月7日 河野 克彦 ウジェーヌ・ドラクロワ「墓に運ばれるキリスト」

山陰中央新報1月8日 村上 博哉「共に楽しむ展覧会」展覧会紹介記事

朝日新聞1月8日 展覧会紹介記事

中国新聞1月8日 河野 克彦 クロード・モネ「ヴェトウイユ」

中国新聞1月9日 河野 克彦 ビエール＝オーギュスト・ルノワール「ばらをつけた女」

中国新聞1月10日 廣田 理紗 ポール・ゴーガン「水浴の女たち」

中国新聞1月11日 河野 克彦 オーギュスト・ロダン「鼻のつぶれた男」

中国新聞1月12日 河野 克彦 エドヴァルド・ムンク「マドンナ」

中国新聞1月12日 関連イベント紹介記事 「焼き菓子 欧州絵画風」

中国新聞1月14日 関連イベント紹介記事 「欧州の近代絵画 歴史などを紹介」

山陰中央新報2月13日 ワークショップ取材記事

山陰中央新報2月16日 来場1万人達成記事

中国新聞2月16日 来場1万人達成記事

印刷物

展覧会ポスター：B2

展覧会チラシ：A4変形

子供のための鑑賞ガイド

オリジナルメッセージカード

(デザイン：すべて野村デザイン制作室)



スペシャル・ギャラリートーク



講演会



ワークショップ



来場者1万人達成

## 関連事業

## スペシャル・ギャラリートーク

講師：新藤 淳(国立西洋美術館研究員)  
 日時：12月22日(土)14:00～  
 会場：展示室D  
 参加者：45名

## 講演会「国立西洋美術館の近代コレクション」

国立西洋美術館のコレクションについて、スライドを交えながらお話しいただいた。展覧会にちなんだオリジナルのお菓子と飲み物の提供を行った。

講師：村上 博哉(国立西洋美術館学芸課長)  
 日時：1月13日(日)14:00～15:30  
 会場：講義室  
 聴講者：28名

## ワークショップ「バラのコサージュを作ろう」

展覧会のメインビジュアルとして印刷物等に広く用いたオーギュスト・ルノワール『ばらをつけた女』にちなみ、描かれた女性が飾っているバラのようなコサージュを制作した。

講師：廣田 理紗(当館学芸員)ほか、当館ワークショップボランティアスタッフ  
 日時：1月20日(日)、2月3日(日)いずれも13:00～16:00  
 会場：講義室  
 参加者：計44名

## ギャラリートーク

講師：当館学芸員  
 日時：1月6日(日)、27日(日)、2月17日(日)いずれも14:00～  
 会場：展示室D

## グラントワ tea ガーデン「福茶(ふくちゃ)」

日時：1月2日(水)11:00～  
 会場：美術館ロビー  
 参加者：100人

## 先着プレゼント

会期中毎日先着20名に、本展特製「オリジナル・メッセージカード」をプレゼントした。

## 特別展

## 展示室A 日本刀の美—室町時代から江戸時代まで—

会 期：平成24年3月31日(土)～5月14日(月)

内 容：平成11年に国から島根県に譲与された「赤羽刀」を石見地域で初めて一堂に公開した。室町文化フェスティバル協賛。

## 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	續弘	刀	室町時代	鋼、鍛造	島根県立古代出雲歴史博物館
2	林喜	脇指	室町時代	鋼、鍛造	島根県立古代出雲歴史博物館
3	貞行	脇指	室町時代	鋼、鍛造	島根県立古代出雲歴史博物館
4	謙貞	脇指	室町時代	鋼、鍛造	島根県立古代出雲歴史博物館
5	清繁	脇指	江戸時代	鋼、鍛造	島根県立古代出雲歴史博物館
6	源 喜国	脇指	江戸時代	鋼、鍛造	島根県立古代出雲歴史博物館
7	池田 宗俊	薙刀	江戸時代	鋼、鍛造	島根県立古代出雲歴史博物館
8	源 喜国	太刀	江戸時代	鋼、鍛造	島根県立古代出雲歴史博物館
9	吉井 吉則	短刀	室町時代	鋼、鍛造	島根県立古代出雲歴史博物館
10		刀	室町時代	鋼、鍛造	島根県立古代出雲歴史博物館
11	兼常	刀	室町時代	鋼、鍛造	島根県立古代出雲歴史博物館
12		刀	室町時代	鋼、鍛造	島根県立古代出雲歴史博物館
13		脇指	室町時代	鋼、鍛造	島根県立古代出雲歴史博物館
14	永則	槍	安土・桃山時代	鋼、鍛造	島根県立古代出雲歴史博物館
15	伊上 六郎右衛門	刀	江戸時代	鋼、鍛造	島根県立古代出雲歴史博物館
16	大明京	刀	江戸時代	鋼、鍛造	島根県立古代出雲歴史博物館
17	大明京	脇指	江戸時代	鋼、鍛造	島根県立古代出雲歴史博物館
18	大明京	刀	江戸時代	鋼、鍛造	島根県立古代出雲歴史博物館
19	高橋 國助	刀	江戸時代	鋼、鍛造	島根県立古代出雲歴史博物館
20	高橋 長信	刀	江戸時代	鋼、鍛造	島根県立古代出雲歴史博物館
21	国久	脇指	江戸時代	鋼、鍛造	島根県立古代出雲歴史博物館
22	源 祐信	太刀	江戸時代	鋼、鍛造	島根県立古代出雲歴史博物館
23	兼常	刀	室町時代	鋼、鍛造	島根県立古代出雲歴史博物館
24		刀	南北朝時代	鋼、鍛造	島根県立古代出雲歴史博物館
25	澄川 喜一	そりのあるかたち04	2004年	樺・ステンレス	作家蔵

## 新聞掲載

山陰中央新報4月1日 展覧会紹介記事

毎日新聞4月1日 展覧会紹介記事

## 展示室C 澄川喜一彫刻展 そりのあるかたち

会 期：平成24年10月6日(土)～12月24日(月)

内 容：企画展「東京藝大美術館展」の開催に合わせ、同校出身の彫刻家・澄川喜一を特集し、1970年代から近年までの作品を紹介。

## 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	澄川 喜一	そりのあるかたちB	2012年	樺	作家蔵
2	澄川 喜一	マジック・ボックス	1975年	御影石・樺・杉	作家蔵
3	澄川 喜一	MASK	1982年	樟・カラントス	作家蔵
4	澄川 喜一	木の華	2007年	杉・樺・カラントス	作家蔵
5	澄川 喜一	MASK	1998年	桜・カラントス・樺	作家蔵
6	澄川 喜一	そりのあるかたち	1979年	樺・カラントス	作家蔵
7	澄川 喜一	そりのあるかたち	1985年	樺	作家蔵
8	澄川 喜一	そりのあるかたち	1996年	ブロンズ	作家蔵

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
9	澄川 喜一	MASK	2007年	チーク・樺	作家蔵
10	澄川 喜一	そりとそぎのあるかたち83	1983年	樺・松	作家蔵
11	澄川 喜一	そりのあるかたち02-3	2002年	樺・檜	作家蔵
12	澄川 喜一	そりのあるかたち01-2	2001年	樺・松・チーク	作家蔵
13	澄川 喜一	そりのあるかたち05	2005年	神代樺・樺・檜	作家蔵
14	澄川 喜一	そりのあるかたちA	2011年	樺	作家蔵
15	澄川 喜一	そりのあるかたち	2007年	樺・杉	作家蔵
16	澄川 喜一	木霊	2007年	檜・樺	作家蔵

## 印刷物

展覧会チラシ：B5(デザイン：ノード)

## 関連事業

彫刻家・澄川喜一によるスペシャル・ギャラリートーク

日 時：10月6日、10月7日、10月21日 各日14:00～

## 新聞掲載

山陰中央新報9月5日 展覧会記事

山陰中央新報10月6日 ギャラリートーク紹介記事

『美術の窓』10月号10月20日 展覧会情報

中国新聞11月28日 展覧会紹介記事



チラシ

## 展示室C 現代版画の諸相

会 期：平成25年1月2日(水)～2月3日(日)

内 容：島根県立美術館の所蔵作品のなかから、国内外で活躍する版画家たちの作品を紹介した。石見美術館では初公開となる作品ばかりで、従来の版画サイズ概念を越えた大作や、新たな表現方法の試みなど、版画家たちの奮闘と個性あふれる独自の表現を知ってもらう機会とした。

## 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	小林 敬生	蘇生の刻 群舞94-10A	平成6年(1994)	木口木版、紙	島根県立美術館
2	小林 敬生	蘇生の刻 群舞94-10B	平成6年(1994)	木口木版、紙	島根県立美術館
3	靉嘔	Mr. & Mrs. Rainbow debu R-V	昭和48年(1973)	シルクスクリーン、紙	島根県立美術館
4	靉嘔	Mr. & Mrs. Rainbow noppo R-V	昭和48年(1973)	シルクスクリーン、紙	島根県立美術館
5	靉嘔	レインボー北斎	昭和45年(1970)	シルクスクリーン、紙	島根県立美術館
6	横尾 忠則	ブルーワンダーランド	昭和48年(1973)	シルクスクリーン、紙	島根県立美術館
7	横尾 忠則	レッドワンダーランド	昭和48年(1973)	シルクスクリーン、紙	島根県立美術館
8	中林 忠良	転位'83-地Ⅲ VⅥⅧ	昭和58年(1983)	エッチング・アクアチント、紙	島根県立美術館
9	中林 忠良	転位'84-地-I	昭和59年(1984)	エッチング・アクアチント、紙	島根県立美術館
10	中林 忠良	転位'92-地-I	平成4年(1992)	エッチング・アクアチント、紙	島根県立美術館
11	中林 忠良	転位'07-地-II	平成19年(2007)	エッチング・アクアチント、紙	島根県立美術館
12	野田 哲也	日記 1970年4月22日 NY(f)	昭和45年(1970)	木版・シルクスクリーン、紙	島根県立美術館
13	野田 哲也	日記 1971年6月上旬のある日	昭和46年(1971)	木版・シルクスクリーン、紙	島根県立美術館
14	野田 哲也	日記 1977年3月3日(a)	昭和52年(1977)	木版・シルクスクリーン、紙	島根県立美術館
15	野田 哲也	日記 1980年8月26日 ドイツ オスナブリュック	昭和55年(1980)	木版・シルクスクリーン、紙	島根県立美術館

## 新聞掲載

山陰中央新報1月3日 展覧会紹介記事

山陰中央新報1月17日 展覧会紹介記事

## 展示室C 彫刻のそざいということ

会 期：平成25年2月6日(水)～3月25日(月)

内 容：アルミニウム合金を鋳造・加工したモニュメントで知られる清水九兵衛や、有名絵画をプラモデルのように合板で立体化した青木世一など、それぞれの素材の特徴を生かし、遊び心に富んだ彫刻作品を展示。石見美術館では初公開となる作品を含め、島根県立美術館の所蔵作品で構成した。

### 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	清水 九兵衛	CORRESPONDING FORM 4	平成7年(1995)	アルミニウム合金	島根県立美術館
2	清水 九兵衛	マケット「合掌」	平成11年(1999)	石膏に着色	島根県立美術館
3	清水 九兵衛	マケット「向渡容」	平成8年(1996)	石膏に着色	島根県立美術館
4	清水 九兵衛	マケット「朱玉」	昭和57年(1982)	石膏に着色	島根県立美術館
5	清水 九兵衛	マケット「京空間」	平成6年(1994)	アルミニウム	島根県立美術館
6	清水 九兵衛	マケット(題不詳)	制作年不詳	石膏に着色	島根県立美術館
7	清水 九兵衛	マケット「祭冠」	平成8年(1996)	石膏	島根県立美術館
8	清水 九兵衛	マケット「共存」	平成18年(2006)	石膏に着色	島根県立美術館
9	青木 世一	セザンヌ=キット「果物入れのある静物」	平成15年(2003)	シナベニヤ合板・アクリル絵具	島根県立美術館
10	青木 世一	不思議な誕生日 木械シリーズ	平成5年(1993)	ラワンベニヤ合板・アクリル絵具	島根県立美術館
11	青木 世一	太古からの訪問者 木械シリーズ	平成5年(1993)	シナランバーコア材・ベニヤ合板	島根県立美術館
12	建畠 覚造	CLOUD 4	昭和57年(1982)	木	島根県立美術館
13	植木 茂	トルソ	昭和57年(1982)	木	島根県立美術館

### 新聞掲載

読売新聞3月5日 展覧会紹介記事

## 展示室A 江戸時代の絵師たち

会 期：平成24年5月16日(水)～7月2日(月)

内 容：当館コレクションのなかから円山応挙、曾我蕭白、谷文晁、山本梅逸など、江戸時代の絵師たちによって制作された屏風や掛軸、12件を紹介。

## 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	雲谷 等益	山水図屏風	江戸時代	紙本墨画淡彩	島根県立石見美術館
2	岡野 洞山	竹林七賢・商山四皓図屏風	江戸時代	紙本墨画淡彩	島根県立石見美術館
3	山本 琴谷	年中行事図屏風	江戸時代	紙本着色	島根県立石見美術館
4	曾我 二直庵	鷲鷹図	江戸時代	紙本墨画淡彩	島根県立石見美術館
5	円山 応挙	柿本人麻呂図	江戸時代	紙本墨画淡彩	島根県立石見美術館
6	曾我 蕭白	楼閣山水図	江戸時代	紙本墨画淡彩	島根県立石見美術館
7	狩野 伊川院 栄信	富士三保清見寺図	江戸時代	紙本墨画淡彩	島根県立石見美術館
8	谷 文晁	瀧図	江戸時代	絹本着色	島根県立石見美術館
9	山本 梅逸	山水図	江戸時代	紙本墨画淡彩	島根県立石見美術館
10	中林 竹洞	湖山清遠図	江戸時代	絹本墨画	島根県立石見美術館
11	中林 竹洞	秋卉鴛鴦図	江戸時代	絹本着色	島根県立石見美術館
12	中林 竹溪	秋草群雀図	江戸時代	絹本着色	島根県立石見美術館

## 展示室A 人物を描く

会 期：平成23年7月4日(水)～8月20日(月)

内 容：コレクションの日本画と洋画作品から、人物が描かれた作品に焦点をあて、その描き方の違いや背景に着目した。

## 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	原田 直次郎	男児肖像	明治20年代頃 (1887～98年頃)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
2	宮 芳平	自画像	大正9年(1920)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
3	黒田 清輝	裸体	明治22年(1889)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
4	藤島 武二	婦人像	明治41～42年頃 (1908～09年頃)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
5	ガブリエル・フォン・マックス	聖女テレゼ・メルル	1868年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
6	ガブリエル・フォン・マックス	煙を出す壺を抱く女性	不詳	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
7	松本 颯湖	和装西洋婦人像	明治前期	絹本着色	島根県立石見美術館
8	寺崎 広業	竹裡館観月	明治後期～昭和初期	絹本着色	島根県立石見美術館
9	小早川 清	旗亭涼宵	昭和8年(1933)	絹本着色	島根県立石見美術館
10	橋本 明治	荘園	昭和9年(1934)	絹本着色	島根県立石見美術館
11	小堀 鞆音	舞楽図屏風	明治後期～昭和初期	紙本金地著色、六曲一双	島根県立石見美術館
12	池田 輝方	絵師多賀朝湖流さる	大正8年(1919)	絹本着色、六曲一双	島根県立石見美術館

## 新聞掲載

山陰中央新報7月20日 展覧会紹介記事

## わんこ・にゃんこ

会 期：平成24年8月22日(水)～10月1日(月)

内 容：私たちに最も身近な動物、犬と猫を描いた作品を紹介。

## 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	香月 泰男	鯉と犬	昭和25年(1950)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
2	安井 曾太郎	水浴図	大正時代 (1912～1925年頃)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
3	菊池 隆志	初夏遊園	昭和3年(1928)	絹本着色	島根県立石見美術館
4		『ガゼット・デュ・ボン・トン』より「スコットランド風シルクのベスト、ねずみ色のコットン・クレボンのスカート」	1920年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
5		『ガゼット・デュ・ボン・トン』より「刺繍入りシルク・カシミアのローブ、ウール・ベルベットのジャケット」	1913年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
6		『ガゼット・デュ・ボン・トン』より「チェックのタフタをあしらった、ウールのテーラード・スーツ」	1913年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
7		『ガゼット・デュ・ボン・トン』より「午前の服装」	1914年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
8		『ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード』より「佳き日の朝」	1921年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
9		『ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード』より「そらっ！」	1921年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
10		『ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード』より「われた花びん」	1913年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
11		『ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード』より「あたらしい香水」	1924～25年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
12	シャルル・マルタン	『今日の流行とおしゃれ』より「音楽」	1913年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
13	ジャン＝エミール・ラブレール	マリー・ローランサンの肖像	1914年	木版、紙	島根県立石見美術館
14	藤田 嗣治	青いドレスの女	昭和14年(1939)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
15	武藤 嘉門	ショーウインドウ	昭和12年(1937)	紙本着色	島根県立石見美術館
16		『フェミナ』	1927年、1929年	雑誌	島根県立石見美術館
17	ラウル・デュフィ	狩り(赤)	1912年(1950年代のリプリント)	麻にプリント	島根県立石見美術館
18	ラウル・デュフィ	狩猟	1910年頃	木版、紙	島根県立石見美術館
19	今尾 景年	雪南天狗兎図	明治31年(1898)	絹本着色	島根県立石見美術館
20	竹内 栖鳳	藤花薺花群犬図屏風	明治31年(1898)	紙本着色、六曲一双	島根県立石見美術館
21	雲谷派	耕作図屏風	桃山～江戸時代初期	紙本墨画、六曲一隻	島根県立石見美術館

## 新聞掲載

山陰中央新報8月30日 展覧会紹介記事

毎日新聞9月8日 展覧会紹介記事

## 展示室A 描かれた女性たち

会 期：平成24年11月30日(水)～平成25年1月14日(月)

内 容：女性の姿を描いた日本画、洋画を展示。あわせて大正、昭和時代の雑誌『婦人グラフ』の表紙の女性像を紹介した。

## 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	ガブリエル・フォン・マックス	煙を出す壺を抱く女性	19世紀末～ 20世紀初頭	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
2	ラファエル・コラン	若い女性の肖像	1889年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
3	黒田 清輝	裸体	明治22年(1889)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
4	児島 善三郎	椅子に寄る	大正14～昭和3年頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
5	中村 不折	裸婦	明治末～大正初期頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
6	山崎 修二	髪	昭和14年(1939)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
7	東郷 青児	婦人像	昭和5~10年 (1930~35)頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
8	山田 喜作	真夏の港	昭和7年(1932)	絹本着色	島根県立石見美術館
9	北野 以悦	春	昭和6年(1931)	絹本着色	島根県立石見美術館
10	榎本 千花俊	揚々戯	昭和8年(1933)	絹本着色	島根県立石見美術館
11	筆者不詳	遊楽美人図	江戸時代前期	紙本着色	島根県立石見美術館
12	北野 恒富	狂女	大正時代	絹本着色	島根県立石見美術館
13	池田 蕉園	小松引き	大正前期	絹本着色	島根県立石見美術館
14	鍋木 清方	花見幕	昭和10年代	絹本着色	島根県立石見美術館
15	不二木 阿古	爽朝	昭和16年(1941)	絹本着色	島根県立石見美術館
16	柿内 青葉	池	昭和8年(1933)	絹本着色	島根県立石見美術館
17	榎本 千花俊	春雪	昭和前期	絹本着色	島根県立石見美術館
18	榎本 千花俊	口紅を描く	昭和10年(1935)	絹本着色	島根県立石見美術館
19		『婦人グラフ』	大正13、14、 昭和2年発行	雑誌	島根県立石見美術館

## 展示室A あなたはどう見る?~よく見て話そう美術について

会 期：平成25年1月16日(水)~2月25日(月)

内 容：キャプションや説明を付けずに作品を展示することで、鑑賞者には作品そのものを見てもらおうという試み。会期中には県下で活動する教員グループ「みるみるの会」の協力のもと、意見交換しながら作品をみる「対話による鑑賞」を行うイベントも実施した。

## 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	岸田 劉生	内藤夫人の像	大正8年(1919)	木炭、パステル、紙	島根県立石見美術館
2	ウィリアム・クライン	煙+パール	1958年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
3	宮 芳平	自画像	大正9年(1920)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
4	ソニア・ドローネー	『絵画・オブジェ・同時的テキストスタイル・モード』 15.	1924年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
5	ソニア・ドローネー	『絵画・オブジェ・同時的テキストスタイル・モード』 1. 1923年「室内」(仮題)	1925年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
6	ソニア・ドローネー	『絵画・オブジェ・同時的テキストスタイル・モード』 13. 衣装のモデル	1924-25年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
7	ソニア・ドローネー	『絵画・オブジェ・同時的テキストスタイル・モード』 20. 5人の女性	1924年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
8	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキストスタイル・デザイン 「スケートをする人々」		紙にレリーフプリント	島根県立石見美術館
9	榎本 千花俊	池畔春興	昭和7年(1932)	絹本着色	島根県立石見美術館
10	セシル・ビートン	題不詳(1947 Nov.10)	1947年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
11	ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	イリナ・バラノヴァとニニ・テイラー	1940年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
12	ダイアン・アーバス	バラのドレスを着た仮面舞踏会の婦人	1967年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
13	ダイアン・アーバス	無題14	1970~71年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
14	ダイアン・アーバス	無題18	1970~71年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
15	ベルナルド・フォコン	到着 〈夏休み〉より	1978年	フレッソン・プリント	島根県立石見美術館
16	ベルナルド・フォコン	悪魔のミントシロップ 〈夏休み〉より	1980年	フレッソン・プリント	島根県立石見美術館
17	ピエール・ボナール	雑誌「ルヴュ・ブランシュ」のためのポスター	1894年	リトグラフ、紙	島根県立石見美術館
18	ベルナルド・フォコン	島の祭り 〈時の不確かな進化〉より	1983年	フレッソン・プリント	島根県立石見美術館
19	山崎 修二	山懐の早春	昭和28年(1953)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
20	山崎 修二	港通りの家	平成10年(1998)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
21	藤田 嗣治	アントワープ港の眺め	大正12年(1923)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館

#### 関連イベント

みるみるとじっくり見てみる? 1月26日(土)、2月2日(土)、16日(土)、各日14:00～

#### 新聞掲載

中国新聞1月18日 イベント紹介記事

朝日新聞2月1日 イベント紹介記事

### 展示室A 雲谷派と墨絵の系譜

会 期：平成25年2月27日(水)～4月15日(月)

内 容：益田ゆかりの雪舟の後を継いだ雲谷派を中心に、室町時代から江戸時代までに制作された水墨画を紹介。

#### 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	雲谷 等顔	押絵貼屏風	桃山～江戸時代	紙本墨画淡彩	島根県立石見美術館
2	雲谷派	耕作図屏風	桃山～江戸時代	紙本墨画	島根県立石見美術館
3	雲谷 等益	山水図屏風	江戸時代	紙本墨画淡彩	島根県立石見美術館
4	雲谷 等益	四季山水図屏風	江戸時代	紙本墨画淡彩	島根県立石見美術館
5	雲谷 等的	観音山水図	江戸時代	絹本墨画淡彩	島根県立石見美術館
6	雲谷 等的	山水図	江戸時代	紙本墨画	島根県立石見美術館
7	斎藤 等室	山水図	江戸時代	紙本墨画	島根県立石見美術館
8	等碩	牧童図	室町時代	紙本墨画淡彩	島根県立石見美術館
9	曾我 蕭白	楼閣山水図	江戸時代	紙本墨画淡彩	島根県立石見美術館
10	狩野 伊川院 栄信	富士三保清見寺図	江戸時代	紙本墨画淡彩	島根県立石見美術館
11	山本 梅逸	山水図	江戸時代	紙本墨画淡彩	島根県立石見美術館
12	中林 竹洞	湖山清遠図	江戸時代	絹本墨画	島根県立石見美術館

### 展示室B 洋画名品選

会 期：平成23年4月4日(水)～6月18日(月)

内 容：当館所蔵作品の中から、洋画の分野にしばって名品を選び、展観した。

#### 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	川村 清雄	緑陰牧牛図	大正～昭和時代初期	油彩、絹本	島根県立石見美術館
2	和田 英作	風景	大正3年(1914)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
3	岸田 劉生	静物	大正9年(1920)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
4	吉田 博	風景	大正時代前期	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
5	満谷 国四郎	雑木林	大正11年(1922)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
6	藤田 嗣治	アントワープ港の眺め	大正12年(1923)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
7	鹿子木 孟郎	加茂ノ森	大正12年(1923)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
8	山崎 修二	初冬	昭和11年(1936)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
9	椿 貞雄	冬瓜南瓜	昭和22年(1947)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
10	山崎 修二	窓辺の静物	昭和25年(1950)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
11	香月 泰男	ヴァンドーム広場	昭和48年(1973)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館

#### 新聞掲載

山陰中央新報5月26日 展覧会紹介記事

## 展示室B 風景画

会 期：平成24年6月20日(水)～9月2日(月)

内 容：企画展「巨匠たちの英国水彩画展」にあわせ、日本の風景画に焦点をあてた。日本にもたらされたイギリスの水彩画は、大下藤次郎をはじめとする洋画家の描く風景画に大きな影響を与えた。本展では、水彩画の普及に力を入れた大下藤次郎の作品を中心に、当館所蔵の風景画作品を紹介した。

### 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	大下 藤次郎	野の道	明治28年(1895)頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
2	鹿子木 孟郎	舞子の浜	大正3年(1914)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
3	満谷 国四郎	風景	大正中期(1913～25)頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
4	石井 柏亭	芙蓉湖	昭和25年(1950)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
5	五百城 文哉	富士図	明治26～39年(1893～1906)頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
6	三宅 克己	伊豆風景	昭和初期(1926～1945)頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
7	大下 藤次郎	モートン岬、クイーンズランド	明治31年(1898)	水彩、紙	島根県立石見美術館
8	大下 藤次郎	サンドゲート、クイーンズランド	明治31年(1898)	水彩、紙	島根県立石見美術館
9	大下 藤次郎	ブリスバーン河	明治31年(1898)	水彩、紙	島根県立石見美術館
10	大下 藤次郎	ブリスバーン河	明治31年(1898)	水彩、紙	島根県立石見美術館
11	大下 藤次郎	シドニー	明治31年(1898)	水彩、紙	島根県立石見美術館
12	大下 藤次郎	シドニー、ニュー・サウス・ウェールズ	明治31年(1898)	水彩、紙	島根県立石見美術館
13	大下 藤次郎	シドニー南端	明治31年(1898)	水彩、紙	島根県立石見美術館
14	大下 藤次郎	シドニー湾	明治31年(1899)	水彩、紙	島根県立石見美術館
15	大下 藤次郎	メルボルン港	明治31年(1899)	水彩、紙	島根県立石見美術館
16	大下 藤次郎	ロイヤルパーク、メルボルン	明治31年(1899)	水彩、紙	島根県立石見美術館
17	大下 藤次郎	清水寺	昭和29年(1896)	水彩、紙	島根県立石見美術館
18	大下 藤次郎	賀茂	昭和29年(1896)	水彩、紙	島根県立石見美術館
19	大下 藤次郎	巢鴨の牛小屋	明治30年(1897)	水彩、紙	島根県立石見美術館
20	大下 藤次郎	綾瀬	明治30年(1897)	水彩、紙	島根県立石見美術館
21	大下 藤次郎	日光	明治30年(1897)	水彩、紙	島根県立石見美術館
22	大下 藤次郎	坂本	明治31年(1898)	水彩、紙	島根県立石見美術館
23	大下 藤次郎	つつじ	明治31年(1898)	水彩、紙	島根県立石見美術館
24	大下 藤次郎	夏	明治32年(1899)	水彩、紙	島根県立石見美術館
25	大下 藤次郎	秋の雲	明治37年(1904)	水彩、紙	島根県立石見美術館
26	大下 藤次郎	河原	明治37年(1904)	水彩、紙	島根県立石見美術館
27	大下 藤次郎	秋谷の漁村	明治38年(1905)	水彩、紙	島根県立石見美術館
28	大下 藤次郎	多摩河畔	明治40年(1907)	水彩、紙	島根県立石見美術館
29	大下 藤次郎	檜原湖の秋	明治40年(1907)	水彩、紙	島根県立石見美術館
30	大下 藤次郎	猪苗代	明治40年(1907)	水彩、紙	島根県立石見美術館
31	大下 藤次郎	西山峠	明治42年(1909)	水彩、紙	島根県立石見美術館
32	大下 藤次郎	宍道湖の黄昏	明治44年(1911)	水彩、紙	島根県立石見美術館

## 展示室B 森英恵

会 期：平成24年9月5日(水)～10月29日(月)

内 容：当館が所蔵する森英恵の衣装10点を特集展示した。

### 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	森 英恵	イブニングコート、ショートドレス	1964年	純金帯地(西陣織)のイブニングコート、ショートドレスのスカート。ショートドレスのトップスは絹サテンと帯地。アンダーウェア付。	島根県立石見美術館
2	森 英恵	ジャンプスーツ、カフタン	1966年	菊を同柄でプリントした綾絹と絹シフォン。絹サテンのベルト。	島根県立石見美術館
3	森 英恵	イブニングコート、ドレス	1968年	帯地風に仕立てた西陣織のイブニングコート。赤と白の絹サテンのロングドレス。赤い絹サテンのベルト付。	島根県立石見美術館
4	森 英恵	カフタン、ドレス「蝶のカフタン」	1976年	蝶をプリントした水色の絹シフォンと綾絹。	島根県立石見美術館
5	森 英恵	カフタン、ドレス「蝶のカフタン」	1976年	蝶をプリントした青色の絹シフォンと綾絹。ネックにビーズ刺繍。	島根県立石見美術館
6	森 英恵	イブニング・ドレス「花の白いドレス」	1981年	白い絹クレープのワンピースドレス。絹サテンとビーズのアプリケ。	島根県立石見美術館
7	森 英恵	イブニング・ドレス「花の黒いドレス」	1981年	黒い絹クレープのワンピースドレス。絹サテンとビーズのアプリケ。	島根県立石見美術館
8	森 英恵	イブニング・ドレス「赤い蝶のドレス」	1990年	赤い絹クレープのワンピースドレス。	島根県立石見美術館
9	森 英恵	イブニング・ドレス「蝶を染めたベルベットのドレス」	1996年	ピンク色の絹ベルベットのワンピースドレス。	島根県立石見美術館
10	森 英恵	イブニング・ドレス「北斎の版画のように、山の風景を染めた絹のドレス」	1996年	墨絵風の柄をプリントした絹シフォン。絹サテンのワンピースドレス。	島根県立石見美術館

### 新聞掲載

新美術新聞9月1日 展覧会紹介記事

山陰中央新報9月6日 展覧会紹介記事

## 展示室B 重要文化財 益田元祥像

会 期：平成24年10月31日(水)～12月3日(月)

内 容：平成22年度に解体修理を行った、重要文化財《益田元祥像》の修理後初公開。修理の行程を紹介するパネルや解体された古い表具、新旧の箱なども合わせて展示し、文化財修理の様子を伝える展示とした。

### 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	狩野 松栄	益田元祥像	桃山時代	絹本着色	島根県立石見美術館

### 関連事業

#### 「名画をいろいろ話芸と音楽vol.4」『益田兼堯像・元祥像に挑む！』

2つの重要文化財、狩野松栄《益田元祥像》と雪舟《益田兼堯像》(益田市立雪舟の郷記念館蔵)を題材とし、平安時代から戦国時代までの益田氏の歴史を紹介するアニメーションを制作。ホールでの無声映画公演にあわせ、活弁と生演奏のライブで上映した。

日 時：11月11日(日) 18:00開演

会 場：大ホール

※詳細は「教育普及活動」(27ページ)に記載

#### トークショー「益田元祥像をまもり、つたえる」

《益田元祥像》の特徴や文化財修理の現場について、修理を担当した文化庁の修理担当者と、実際に修理にあたった技師から解説を受けた。

日 時：11月24日(土) 14:00～16:00

会 場：講義室

講 師：朝賀 浩(文化庁文化財部美術学芸課)、宮田 隆夫(株式会社光影堂)

## 展示室B 1920's 夜を彩る服

会 期：平成24年12月5日(水)～2月11日(月・祝)

内 容：企画「ヨーロッパの近代美術」で展示される、1920年代の華やかな社交界の様子を描いたキース・ヴァン・ドンゲン「カジノのホール」(1920年)にあわせ、1920年代の夜の装いを、衣装やファッションプレートで紹介した。

## 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	ジャンヌ・ランバン	イブニング・ドレス	1928年	黒の絹チュールのワンピースドレス。	島根県立石見美術館
2	アンドレ・マルティ	『今日の流行とおしゃれ』より 舞台稽古	1919年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
3	アンドレ・マルティ	『ガゼット・デュ・ポントン』より ウォルトによるダンスのためのドレス	1920年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
4		『ガゼット・デュ・ポントン』より ペーアによるイブニング・ドレス	1920年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
5	アンドレ・マルティ	『ガゼット・デュ・ポントン』より ポール・ボワレのイブニング・ドレス	1924年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
6	アンドレ・マルティ	『ガゼット・デュ・ポントン』より ポール・ボワレによるイブニング・ドレス	1924年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
7	ジョルジュ・バルビエ	『ガゼット・デュ・ポントン』より ウォルトによるダンスのためのドレス	1924- 1925年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
8		『ガゼット・デュ・ポントン』	1922年	雑誌	島根県立石見美術館
9	アンドレ・マルティ	『ガゼット・デュ・ポントン』より デュイエによる仕立ての衣装	1920年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
10		『ガゼット・デュ・ポントン』よりジャンヌ・ ランバンのイブニング・コートとドレス	1920年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
11	ジョルジュ・バルビエ	『ガゼット・デュ・ポントン』より ウォルトのイブニング・ドレスとコート	1923年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
12	ジョルジュ・バルビエ	『ガゼット・デュ・ポントン』より ウォルトのコート	1923年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
13	アンドレ・マルティ	『ガゼット・デュ・ポントン』より ポール・ボワレのイブニング・コート	1923年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
14		『ガゼット・デュ・ポントン』より デュシャンヌのイブニング・コート	1924年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
15	ジョルジュ・バルビエ	『ガゼット・デュ・ポントン』より ウォルトのイブニング・ドレスとコート	1924- 1925年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
16	アンドレ・マルティ	『ガゼット・デュ・ポントン』よりポール・ ボワレのイブニング・ドレスとコート	1924- 1925年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
17	スザンヌ・タルボット	イブニング・コート	1925年頃	黒い絹の繭型コート。黒の毛皮のトリ ミング。裏地は黒のベルベット。	島根県立石見美術館
18	レドファン	コート	1920年代	金糸を織り込んだ黒い絹。裏地は ページュの絹ベルベット。	島根県立石見美術館
19	ガブリエル・シャネル	イブニング・ドレス	1920年代 後半	黒い絹クレープ・デ・シンにシャンティイ レース地を重ねたワンピースドレス。	島根県立石見美術館
20		イブニング用シューズ	1920年頃	花のモチーフを銀糸をつかいプロ ケード織り。	島根県立石見美術館
21		『ガゼット・デュ・ポントン』より ウォルトのイブニング・ドレス	1920年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
22		『ガゼット・デュ・ポントン』より デュイエのイブニング・ドレス	1920年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
23	ジョルジュ・バルビエ	『ガゼット・デュ・ポントン』より ウォルトのイブニング・ドレス	1923年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
24	ジョルジュ・バルビエ	『ガゼット・デュ・ポントン』より ペーアのイブニング・ドレス	1923年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
25	ジョルジュ・バルビエ	『ガゼット・デュ・ポントン』より ウォルトのイブニング・ドレス	1924年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
26		『ガゼット・デュ・ポントン』より ペルージャのシュー	1924- 1925年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
27	ジョルジュ・バルビエ	『ガゼット・デュ・ポントン』より ペーアのイブニング・ドレス	1921年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
28	ジョルジュ・バルビエ	『ガゼット・デュ・ポントン』より ウォルトのイブニング・ドレスとコート	1921年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
29	ガブリエル・シャネル	イブニング・ドレス	1927年頃	黒の絹シフォンのワンピース・ドレス。 黒の絹のスリッパ。	島根県立石見美術館
30	ジョルジュ・バルビエ	『ガゼット・デュ・ポントン』より ウォルトのイブニング・ドレス	1924- 1925年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館

## 新聞掲載

中国新聞1月6日 展覧会紹介記事

山陰中央新報1月12日 展覧会紹介記事

山陰中央新報1月16日 福田 絵梨子 展覧会紹介

山陰中央新報1月23日 作品紹介 ジャンヌ・ランバン「イブニング・ドレス」

## 展示室B 根付

会 期：平成25年2月13日(水)～5月6日(月・祝)

内 容：七田眞氏の遺志により江津市に寄贈された根付コレクションを中心に展示。

## 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	富春は後銘の可能性	時代根付 蜘蛛	江戸時代	猪牙	江津市(七田眞コレクション)
2	文章女は後銘の可能性	時代根付 ねずみ二匹	江戸時代	猪牙	江津市(七田眞コレクション)
3	巖水の銘有	時代根付 猪牙に鹿二頭	江戸時代	猪牙	江津市(七田眞コレクション)
4	富春	時代根付 竹山水図	江戸時代	猪牙	江津市(七田眞コレクション)
5	文章女	時代根付 蜘蛛と忍ぶ草	江戸時代	猪牙	江津市(七田眞コレクション)
6	文章女	時代根付 百足	江戸時代	猪牙	江津市(七田眞コレクション)
7	富永	時代根付 蜘蛛	江戸時代	猪牙	島根県立石見美術館
8	不詳	時代根付 蜘蛛	江戸時代	猪牙	島根県立石見美術館
9	素龍	時代根付 蜘蛛二匹	江戸時代	猪牙	江津市(七田眞コレクション)
10	青牛軒	時代根付 猪牙に蟹	江戸時代	猪牙	江津市(七田眞コレクション)
11	富明	時代根付 猪牙に蜘蛛	江戸時代	猪牙	江津市(七田眞コレクション)
12	無銘	時代根付 忍ぶ草に蟹	江戸時代	猪牙	江津市(七田眞コレクション)
13	廣花堂	時代根付 忍ぶ草に蜘蛛	江戸時代	猪牙	江津市(七田眞コレクション)
14	富春	時代根付 亀	江戸時代	水牛の角	江津市(七田眞コレクション)
15	銘有	時代根付 あわびに蟹	江戸時代	木	江津市(七田眞コレクション)
16	富春	時代根付 亀	江戸時代	木刻	島根県立石見美術館
17	文章女	時代根付 黒柿に蜘蛛	江戸時代	黒柿	江津市(七田眞コレクション)
18	貫満	時代根付 稲穂に鼠	江戸時代	海松	江津市(七田眞コレクション)
19	貫満	時代根付 筍切株茄子鞘豆	江戸時代	黒柿	江津市(七田眞コレクション)
20	龍水	時代根付 牛	江戸時代	木	島根県立石見美術館
21	吉	時代根付 蟹	江戸時代	木	江津市(七田眞コレクション)
22	直人	時代根付 黒蟬	江戸時代	水牛の角	江津市(七田眞コレクション)
23	可専	時代根付 亀	江戸時代	黒檀又は黒柿	江津市(七田眞コレクション)
24	富春	時代根付 鮑に蟹	江戸時代	象牙	島根県立石見美術館
25	富春	時代根付 蓮葉に蓑亀	江戸時代	鯨の歯	島根県立石見美術館
26	文章女は後銘の可能性	時代根付 唐辛子	江戸時代	鯨歯	江津市(七田眞コレクション)
27	貫満	時代根付 象牙に和歌	江戸時代	象牙	江津市(七田眞コレクション)
28	正吉	時代根付 近江八景	江戸時代	象牙	江津市(七田眞コレクション)
29	松白龍	時代根付 蓮葉に蛙	江戸時代	木	江津市(七田眞コレクション)
30	正信	時代根付 葉に蛙	江戸時代	木	江津市(七田眞コレクション)
31	牧牛軒	時代根付 竹に蝸牛	江戸時代	黄楊	江津市(七田眞コレクション)
32	一正	時代根付 あわびに蟹	江戸時代	黒柿	江津市(七田眞コレクション)
33	無銘	時代根付 蟬に蜘蛛	江戸時代	黒柿又は黒檀	江津市(七田眞コレクション)
34	無銘	時代根付 三茄子	江戸時代	黒柿	江津市(七田眞コレクション)
35	無銘	時代根付 葉に茄子	江戸時代	黒柿	江津市(七田眞コレクション)
36	無銘	時代根付 あわびに蟹	江戸時代	黒柿	江津市(七田眞コレクション)
37	若水	時代根付 蟹気楼	江戸時代	黒檀又は黒柿	江津市(七田眞コレクション)
38	友親か	時代根付 蟬	江戸時代	黒檀又は黒柿	江津市(七田眞コレクション)
39	一州	時代根付 田螺に蛙	江戸時代	海松	江津市(七田眞コレクション)
40	無銘	時代根付 小野の小町図	江戸時代	象牙	江津市(七田眞コレクション)
41	無銘	時代根付 蛤にねずみ二匹	江戸時代	象牙	江津市(七田眞コレクション)
42	光廣	時代根付 柿	江戸時代	象牙	江津市(七田眞コレクション)
43	友親	時代根付 巴瓦に犬	江戸時代	象牙	江津市(七田眞コレクション)
44	勝任	時代根付 松竹梅	江戸時代	猪牙	江津市(七田眞コレクション)
45	無銘	時代根付 葡萄に栗鼠	江戸時代	鯨歯	江津市(七田眞コレクション)
46	無銘	時代根付 唐辛子に鼠	江戸時代	セイウチの牙	江津市(七田眞コレクション)
47	晴民	時代根付 蓮葉に赤蛙	江戸時代	セイウチの牙	江津市(七田眞コレクション)

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
48	無銘	時代根付 蓮葉に蟹	江戸時代	鯨歯	江津市(七田真コレクション)
49	無銘	時代根付 貝づくし	江戸時代	鯨歯	江津市(七田真コレクション)
50	無銘	時代根付 蓮葉に親子蝸牛	江戸時代	鹿角	江津市(七田真コレクション)
51	阪井 正美	現代根付 葉に蝸牛	現代	黄楊	江津市(七田真コレクション)
52	正信	時代根付 群猿	江戸時代	黄楊	江津市(七田真コレクション)
53	龍深	時代根付 竹林の七賢人	江戸時代	不明	江津市(七田真コレクション)
54	無銘	時代根付 亀に狼	江戸時代	黄楊	江津市(七田真コレクション)
55	友重	時代根付 貝づくし	江戸時代	木	江津市(七田真コレクション)
56	正直	時代根付 虎	江戸時代	黄楊	江津市(七田真コレクション)
57	綿山道人	時代根付 蛙	江戸時代	黄楊	江津市(七田真コレクション)
58	友正	時代根付 狼と兎	江戸時代	黄楊	江津市(七田真コレクション)
59	無銘	時代根付 鮭	江戸時代	桜・梅	江津市(七田真コレクション)
60	無銘	時代根付 関羽	江戸時代	黄楊	江津市(七田真コレクション)
61	無銘	時代根付 あわび	江戸時代	黒柿(鹿角象嵌)	江津市(七田真コレクション)
62	中村 松間斎	印籠 猛禽図高蒔絵	江戸時代	木製漆塗り高蒔絵	島根県立石見美術館
63	無銘	時代根付 猿	江戸時代	海松	江津市(七田真コレクション)
64	得月亭 臥農	香入提物 落款彫	江戸時代	唐木	江津市(七田真コレクション)
65	巖水	トンコツ 雲	江戸時代	竹	江津市(七田真コレクション)
66	無銘	煙管筒 むくげの花	江戸時代	黄楊	江津市(七田真コレクション)

## 展示室C 森村泰昌 一美に至る病 女優になった私ー

会 期：平成24年3月29日(木)～5月20日(日)

内 容：セルフポートレート作品で注目を集める作家、森村泰昌。この展覧会では森村が女優に扮したシリーズを特集展示した。

### 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	森村 泰昌	光るセルフポートレート(女優)/赤いマリリン	1996年	エクタ・カラー・ウルトラII、アクリル加工	個人蔵
2	森村 泰昌	光るセルフポートレート(女優)/白いマリリン	1996年	エクタ・カラー・ウルトラII、アクリル加工	個人蔵
3	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)/イワシタ・シマとしての私	1996年	エクタ・カラー・ウルトラII、アクリル加工	個人蔵
4	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)/ヤマグチ・モモエとしての私	1996年	エクタ・カラー・ウルトラII、アクリル加工	個人蔵
5	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)/ハラ・セツコとしての私	1996年	エクタ・カラー・ウルトラII、アクリル加工	個人蔵
6	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)/ジョディー・フォスターとしての私・2	1996年	イルフォクローム(旧名チバクローム)、アクリル加工	島根県立石見美術館
7	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)/ボンド・ガールとしての私・1	1996年	イルフォクローム(旧名チバクローム)、アクリル加工	島根県立石見美術館
8	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)/ジェーン・フォンダとしての私・1	1996年	イルフォクローム(旧名チバクローム)、アクリル加工	島根県立石見美術館
9	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)/フェイス・ダナウェイとしての私・1	1996年	イルフォクローム(旧名チバクローム)、アクリル加工	島根県立石見美術館
10	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)/バルドーとしての私・1	1996年	イルフォクローム(旧名チバクローム)、アクリル加工	島根県立石見美術館
11	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)/バルドーとしての私・2	1996年	イルフォクローム(旧名チバクローム)、アクリル加工	島根県立石見美術館
12	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)/バーグマンとしての私・1	1996年	イルフォクローム(旧名チバクローム)、アクリル加工	島根県立石見美術館
13	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)/ビビアン・リーとしての私・1	1996年	イルフォクローム(旧名チバクローム)、アクリル加工	島根県立石見美術館
14	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)/デートリッヒとしての私・2	1996年	イルフォクローム(旧名チバクローム)、アクリル加工	島根県立石見美術館
15	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)/ヘップバーンとしての私・2	1996年	イルフォクローム(旧名チバクローム)、アクリル加工	島根県立石見美術館

### 新聞掲載

山陰中央新報4月18日 展覧会紹介記事

## 展示室C ロシア・アヴァンギャルドのデザイン

会 期：平成24年5月24日(木)～7月16日(月・祝)

内 容：20世紀初め、革命の時期のロシアで制作された布地(テキスタイル)のデザインを紹介した。農業や工業を示すデザイン、飛行機や潜水艦を表したデザインなど、この時期のロシアでは、当時の社会情勢を反映した独特なデザインのテキスタイルが作られた。

## 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画4-1	1930年	紙	島根県立石見美術館
2		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画4-2	1929年	紙	島根県立石見美術館
3		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画4-3	1930年	紙	島根県立石見美術館
4		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画4-4	1930年	紙	島根県立石見美術館
5		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画4-6	1929年	紙	島根県立石見美術館
6		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画4-7	1930年	紙	島根県立石見美術館
7		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画4-8	1930年	紙	島根県立石見美術館
8		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画4-9	1930年	紙	島根県立石見美術館
9		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画4-10	1930年	紙	島根県立石見美術館
10		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画4-11	1929年	紙	島根県立石見美術館
11		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-1	1928年	紙	島根県立石見美術館
12		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-2		紙	島根県立石見美術館
13		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-3		紙	島根県立石見美術館
14		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-4	1928年	紙	島根県立石見美術館
15		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-5		紙	島根県立石見美術館
16		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-6	1929年	紙	島根県立石見美術館
17		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-7	1929年	紙	島根県立石見美術館
18		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-8		紙	島根県立石見美術館
19		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-9		紙	島根県立石見美術館
20		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-10	1927年	紙	島根県立石見美術館
21		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-11	1928年	紙	島根県立石見美術館
22		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-12	1927年	紙	島根県立石見美術館
23		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-13	1927年	紙	島根県立石見美術館
24		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-14	1928年	紙	島根県立石見美術館
25		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-15	1927年	紙	島根県立石見美術館
26		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-17	1927年	紙	島根県立石見美術館
27		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-18	1926年	紙	島根県立石見美術館
28		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-19	1926年	紙	島根県立石見美術館
29		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-20		紙	島根県立石見美術館
30		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-21		紙	島根県立石見美術館
31		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-22	1927年	紙	島根県立石見美術館
32		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-23		紙	島根県立石見美術館
33		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-24	1928年	紙	島根県立石見美術館
34		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-25	1930年	紙	島根県立石見美術館
35		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-26	1928年	紙	島根県立石見美術館
36		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-1		紙	島根県立石見美術館
37		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-2		紙	島根県立石見美術館
38		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-3		紙	島根県立石見美術館
39		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-4	1922年	紙	島根県立石見美術館
40		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-5		紙	島根県立石見美術館
41		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-6		紙	島根県立石見美術館
42		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-7	1922年	紙	島根県立石見美術館
43		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-8	1922年	紙	島根県立石見美術館
44	マリア・アノフリエバ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-9		紙	島根県立石見美術館
45	S.ストラスピッチ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-10		紙	島根県立石見美術館
46		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-11	1927年	紙	島根県立石見美術館
47		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-12		紙	島根県立石見美術館
48	セルゲイ・ブーリン	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-13		紙	島根県立石見美術館
49	S.ストラスピッチ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-15		紙	島根県立石見美術館
50		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-17		紙	島根県立石見美術館
51		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-18		紙	島根県立石見美術館
52	マリア・アノフリエバ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-19		紙	島根県立石見美術館
53	ジナイダ・ベレビッチ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-22		紙	島根県立石見美術館
54	ジナイダ・ベレビッチ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-23		紙	島根県立石見美術館
55	ジナイダ・ベレビッチ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-24		紙	島根県立石見美術館
56		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-25	1931年	紙	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
57		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-27		紙	島根県立石見美術館
58		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-28	1929年	紙	島根県立石見美術館
59		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-29	1930年	紙	島根県立石見美術館
60		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-31	1930年	紙	島根県立石見美術館
61	アナスタシヤ・シュイキナ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-37	1931年	紙	島根県立石見美術館
62		ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル7-1	1927-30年	綿、プリント	島根県立石見美術館
63	リュボフ・シリック	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル7-2	1920-30年	綿、プリント	島根県立石見美術館
64	リヤ・レイサー	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル7-3	1929年	綿、プリント	島根県立石見美術館
65		ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル7-4		綿、プリント	島根県立石見美術館
66		ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル7-5	1930-35年	綿、プリント	島根県立石見美術館
67	ペロゼンツェーヴァ	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル7-6	1930年	綿、プリント	島根県立石見美術館
68	セルゲイ・プーリン	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル7-7	1930年	綿、プリント	島根県立石見美術館
69		ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル7-8		綿、プリント	島根県立石見美術館
70	フェドール・アントノフ	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル7-9		シルク、プリント	島根県立石見美術館
71	フェドール・アントノフ	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル7-10		綿、プリント	島根県立石見美術館
72	アナスタシヤ・シュイキナ	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル7-11		綿、プリント	島根県立石見美術館
73	D.N.ブレオブラゼンスカヤ	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル7-12	1932年	綿、プリント	島根県立石見美術館
74		ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル7-13	1927-30年	綿、プリント	島根県立石見美術館
75	ヴェラ・ロトニーナ	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル8-1	1929-30年	綿、プリント	島根県立石見美術館

## 展示室C スポーツウェア

会 期：平成24年7月19日(木)～8月27日(月)

内 容：ロンドンオリンピックの開催に併せ、競技種目であるテニス・馬術・水泳のウェアを特集展示した。

## 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	不詳	テニスウェア	1926年頃	白色綿。Vネック、ノースリーブボックスプリーツのスカート。	島根県立石見美術館
2	不詳	女性用乗馬服	1920年代	茶色のウール。ジャケット、パンツ。	島根県立石見美術館
3	不詳	女性用乗馬服	1890年頃	グレーのツイード。ジャケット、パンツ、サイド・サドル・スカート。	島根県立石見美術館
4	不詳	女性用乗馬服	1888年頃	ダーク・グリーン系のウール。ジャケット、パンツ。	島根県立石見美術館
5	不詳	水浴着	1910年頃	濃紺のウール。上着、ブルーマー、スカート。	島根県立石見美術館
6	不詳	水着	1920年頃	青色と赤色のストライプのウールニット。右肩に釦ファスナー。	島根県立石見美術館
7	不詳	水着	1920年代	青、黒、白のストライプのウールのニット。ベルトのトロンブルイユ柄。	島根県立石見美術館
8	G.ベクード	『ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード』より 玉虫色のタフタでできた海水浴着	1912年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
9	ジョルジュ・バルビエ	『ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード』より 101 水着	1913年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
10	ピエール・プリソー	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より さあ!勇気を出して! 水浴びのための服	1913年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
11	エルネスト・タヤート	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より 波 マドレーヌ・ヴィオネの水着	1923年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
12	I.M.スミス	『ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード』より テニスの服装	1913年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
13	B.B.ドウ・モンヴェル	『ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード』より 婦人用乗馬服	1913年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
14	B.B.ドウ・モンヴェル	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より 新米の馬乗り ジャックリーヌ嬢の肖像	1913年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
15	シメオン	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より 見ましたか?あの小さな・・・ロディエの格子柄の散歩用衣服	1920年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館

## 版画とポスター

会 期：平成24年8月29日(水)～10月3日(水)

内 容：版によって複数の作品が制作できる版画には、木版や銅版、リトグラフなど、さまざまな技法がある。広告や宣伝のためにつくられるポスターは、版画のこうした技法を使って、制作されてきた。本展では、当館の所蔵作品の中から、国内外の版画とポスターを展示した。

## 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	石井 柏亭	木場	大正3年(1914)	木版、紙	島根県立石見美術館
2	織田 一磨	石見有福温泉	大正14年(1925)	木版、紙	島根県立石見美術館
3	岸田 劉生	岸田劉生個展ポスター	大正8年(1919)	木版、紙	島根県立石見美術館
4	杉浦 非水	銅化塗料ノーワン	大正4-8年頃 (1915-19)	リトグラフ・オフセット、紙	島根県立石見美術館
5	杉浦 非水	日向の早熟蔬菜と果実	昭和3頃(1928)	オフセット、紙	島根県立石見美術館
6	杉浦 非水	第二次産業組合拡充三ヶ年計画	昭和12年(1937)	オフセット、紙	島根県立石見美術館
7	永瀬 義郎	祈り	昭和31年(1956)	木版、紙	島根県立石見美術館
8	永瀬 義郎	画家	昭和38年(1963)	木版、紙	島根県立石見美術館
9	永瀬 義郎	祭壇の処女	昭和50年(1975)	リトグラフ、紙	島根県立石見美術館
10	アンリ・ド・トゥルーズ・ロートレック	ディヴァン・ジャポネ	1892-93年	リトグラフ、紙	島根県立石見美術館
11	テオフィル＝アレクサンデル・スタンラン	オートバイ・コモオ	1899年	リトグラフ、紙	島根県立石見美術館
12	ラウル・デュフィ	ダンス	1910年頃	木版、紙	島根県立石見美術館
13		『ガゼット・デュ・ポントン』より	1913年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
14		『ガゼット・デュ・ポントン』より	1913年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
15		『ガゼット・デュ・ポントン』より	1914年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
16		『ガゼット・デュ・ポントン』より	1914年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
17		『ガゼット・デュ・ポントン』より	1914年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
18		『ガゼット・デュ・ポントン』より	1914年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
19		『ガゼット・デュ・ポントン』より	1915年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
20		『ガゼット・デュ・ポントン』より	1915年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
21	ジャン＝エミール・ラブルール	ビュット・ショーモン公園風景	1921年	エッチング、紙	島根県立石見美術館
22	ソニア・ドローネー	『絵画・オブジェ・同時的テキスト・スタイル・モード』より	1925年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
23	ソニア・ドローネー	『絵画・オブジェ・同時的テキスト・スタイル・モード』より	1925年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
24	ソニア・ドローネー	『絵画・オブジェ・同時的テキスト・スタイル・モード』より	1925年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
25	ソニア・ドローネー	『絵画・オブジェ・同時的テキスト・スタイル・モード』より	1925年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館

**第34回 島根県独立書人団益田支部書展**

会 期：平成24年6月21日(木)～6月25日(月)  
会 場：展示室D  
主 催：島根県独立書人団益田支部

**第31回 益田市美術展**

会 期：平成24年6月29日(金)～7月1日(日)  
会 場：展示室D  
主 催：益田市美術展実行委員会

**第45回島根県総合美術展(県展)移動展**

会 期：平成24年12月6日(木)～12月9日(日)  
会 場：展示室D  
主 催：島根県、島根県文化団体連合会、美術関係諸団体

**第45回島根県高校美術展**

会 期：平成24年12月14日(金)～12月17日(月)  
会 場：展示室D  
主 催：島根県高等学校文化連盟、島根県高等学校美育研究会

**全島根小中学校図画作品展 益田展**

会 期：平成25年3月1日(金)～3月4日(月)  
会 場：展示室D  
主 催：島根県造形教育研究会、島根県立石見美術館

教育普及活動



ポスター

【活弁とミュージアム活性化事業】

当館では平成21年度より「名画をいろいろ話芸と音楽」と題し、収蔵作品に楽曲や説明を付け、音楽や説明を聴きながら作品を鑑賞するイベントを継続的に開催してきた。平成23年度からは益田市内の博物館施設とともに実行委員会を組織し、文化庁の文化芸術振興費補助金(文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業)を受け、「活弁」による地域の文化財およびミュージアムの魅力を発信する事業を実施している。実行委員会、及び実施事業は以下の通り。

活弁とミュージアム活性化事業実行委員会

島根県立石見美術館、益田市立歴史民族資料館、益田市立雪舟の郷記念館

オリジナルアニメーション「ヒストリーオブ益田氏」制作のための事前調査

重要文化財・雪舟筆《益田兼堯像》(益田市立雪舟の郷記念館蔵)、狩野松栄筆《益田元祥像》(島根県立石見美術館蔵)を題材としたアニメーション、および楽曲を制作した。アニメーション制作(脚本、作画、編集)は活動写真弁士が、音楽の作曲は3名の音楽家が行った。兼堯、元祥の時代に限らず、平安時代から桃山時代にかけての益田の歴史を紹介する内容とするため、8月27、28日に肖像画のほか、現地の史跡の見学を行った。

日時:平成24年8月27、28日

新聞掲載 山陰中央新報8月29日 史跡見学取材記事  
中国新聞8月29日 史跡見学取材記事



事前調査

無声映画のアウトリーチ事業

徳川夢声生誕地に立地する小学校で、無声映画の出張公演を行った。

日時:11月8日(木)14:00~15:30

会場:益田市立益田小学校

参加者:200名(4~6年生の児童および教員)

出演:坂本頼光(活動写真弁士)、鈴木広志(サクセス)、大口俊輔(ピアノ)、小林武文(パーカッション)

上映作品:「ランプの魔人」、「ジャックと豆の木」、「空のおぢさん・太平洋一番乗り」、「血煙高田馬場」



益田小学校へのアウトリーチ

活弁と生演奏による無声映画とオリジナルアニメーションの上映

「名画をいろいろ話芸と音楽vol.5」

活弁と生演奏つきの無声映画上映会。映画の一部は飯南町教育委員会が所蔵する戦前の無声映画フィルム「吉岡長太郎コレクション」より上映した。あわせてこのたび制作した《益田兼堯像》と《益田元祥像》のテーマ曲、およびアニメーション「ヒストリーオブ益田氏」を、活弁と生演奏つきで初披露した。

日時:11月11日 15時開演

出演:坂本頼光(活動写真弁士)、鈴木広志(サクセス)、大口俊輔(ピアノ)、小林武文(パーカッション)

上映・演奏作品:「血煙高田馬場」(吉岡長太郎コレクション)、「ランプの魔人」、「空のおぢさん・太平洋一番乗り」(吉岡長太郎コレクション)、「大学は出たけれど」(吉岡長太郎コレクション)、「宮の海」(吉岡長太郎コレクション)、「益田兼堯のテーマ」(楽曲のみ)、「益田元祥のテーマ」(楽曲のみ)、「ヒストリーオブ益田氏」

来場者:273名

会場:グラントワ大ホール

新聞掲載 朝日新聞11月10日 リハーサル取材、公演告知記事  
中国新聞11月10日 公演告知記事  
山陰中央新報11月10日 公演告知記事  
山陰中央新報11月14日 公演取材記事



アニメ「ヒストリー・オブ・益田氏」

## 【出前講座】

学芸員による「出前講座」を、美術館開館前の平成15年度より実施している。今年度は3回実施した。

## 浜田市教育研究会 図画・美術研修会

## 「アートカードを用いた「対話による鑑賞」の授業について」

日 時：平成24年6月19日(火)

講 師：廣田 理紗

参 加 者：浜田市教育研究会 図画・美術部教員(26名)

会 場：津和野町立日原小学校

## 出雲市中部ブロック教育研究会 造型部

## 「アートカードを用いた鑑賞活動の実践研修」

日 時：平成24年8月10日(金)

講 師：廣田 理紗

参 加 者：出雲市中部ブロック教育研究会 造型部教員(25名)

会 場：出雲科学館

## 山口県立美術館 ティーチャーズデイ

## 「対話による鑑賞の概要と実践研修」

日 時：平成25年2月10日(日)

講 師：春日 美由紀(出雲市立河南中学校、「みるみるの会」)、廣田 理紗

参 加 者：山口市内の教員(25名)

会 場：山口県立美術館

\*「みるみるの会」は島根県下で「対話による鑑賞」を研究、普及を目的とし活動する教員のグループ。平成23年度の企画展「mite!ね。しまね」以降、当館の教育普及活動に協力してくれている。

## 【授業受け入れ】

日 時：平成24年9月14日(金)

授 業 者：和崎 和美(益田市立益田東中学校教諭)、廣田 理紗(当館学芸員、T2として)

対 象：益田市立益田東中学校3年1組(34名)

会 場：講義室・展示室D(企画展「巨匠たちの英国水彩画」にて)

内 容：展示室内で本物の作品を前に「対話による鑑賞」の方法を用いた鑑賞の授業を実施した。展示室で鑑賞した後、講義室に移り、生徒同士で自らの鑑賞体験を語り合い共有する時間を取った。

日 時：平成24年9月21日(金)

この授業は益田市教育研究会図工・美術部会の研修として授業公開された。

授 業 者：和崎 和美(益田市立益田東中学校教諭)、廣田 理紗(当館学芸員、T2として)

対 象：益田市立益田東中学校3年2組(34名)

会 場：講義室・展示室D(企画展「巨匠たちの英国水彩画」にて)

内 容：同上

日 時：平成24年10月12日(金)

授 業 者：和崎 和美(益田市立益田東中学校教諭)、廣田 理紗(当館学芸員、T2として)

対 象：益田市立益田東中学校3年1組(34名)

会 場：講義室・展示室D(企画展「東京藝大美術館所蔵 日本近代美術の名品展」にて)

内 容：同上

日 時：平成24年10月19日(金)

この授業は第30回島根県造形教育研究大会益田大会の研究授業の一つとして公開された。

授 業 者：和崎 和美(益田市立益田東中学校教諭)、廣田 理紗(当館学芸員、T2として)

対 象：益田市立益田東中学校3年2組(34名)

会 場：講義室・展示室D(企画展「東京藝大美術館所蔵 日本近代美術の名品展」にて)

内 容：同上



展示室での授業風景



講義室での授業風景

日 時：平成24年12月5日(水)  
 授 業 者：廣田 理紗  
 対 象：益田市立鎌手小学校4年生(9名)  
 会 場：講義室  
 内 容：アートカードやスライドを用い、「対話による鑑賞」の方法を取り入れた授業を実施した。

日 時：平成25年1月24日(木)  
 授 業 者：廣田 理紗  
 対 象：益田市立豊川小学校1・2年生(14名)  
 会 場：講義室  
 内 容：同上

### 【研修受け入れ】

美術科教員の研修の場として美術館の講義室、及び展示室を提供した。

#### 「対話による鑑賞」の指導力向上のために」

主 催：みるみるの会、益田市教育委員会  
 参 加 者：益田市教育研究会 図工・美術部会23名、「みるみるの会」会員8名  
 日 時：平成24年7月31日(火)、8月1日(水)  
 会 場：展示室A、B、C、講義室  
 内 容：「対話による鑑賞」の概要説明と、展示作品を用いての実践と批評会。

#### 第30回島根県造形教育研究大会益田大会

主 催：島根県造形教育研究会、益田市教研究会  
 共 催：島根県教育研究会  
 後 援：島根県教育委員会、益田市、益田市教育委員会  
 参 加 者：島根県造形教育研究会 およそ850名  
 日 時：平成24年10月19日(金)  
 会 場：展示室D、講義室、多目的ギャラリー、いわみ芸術劇場 大ホール

### 【館外での講座・講演など】

#### 郷土を知る講座「石見の仏像」

日 時：平成24年6月5日(火) 13:30～15:30  
 講 師：椋木 賢治  
 会 場：益田市市民学習センター

#### 講座「森鷗外ゆかりの美術家たち」

日 時：平成24年10月9日(金) 13:00～15:00  
 講 師：川西 由里  
 聴 講 者：シマネスクくにびき学園西部校2年生(17名)  
 会 場：いわみへる

#### 講座「石見の仏像について」

日 時：平成24年10月16日(火) 10:00～11:30  
 講 師：椋木 賢治  
 会 場：津和野町立小川公民館

#### 講演「スカイツリーの秘密」

この講演は、第30回島根県造形教育研究大会益田大会の一部として行われた。

日 時：平成24年10月19日(金) 14:00～15:00  
 講 師：澄川 喜一(当館館長)  
 会 場：いわみ芸術劇場 大ホール

#### 講座「日本の仏像①」

日 時：平成25年2月15日(金) 13:00～15:00  
 講 師：椋木 賢治  
 聴 講 者：シマネスクくにびき学園西部校1年生(14名)  
 会 場：いわみへる

**講座「日本の仏像②」**

日 時：平成25年1月29日(火) 13:00～15:00  
講 師：椋木 賢治  
聴 講 者：シマネスクくびき学園西部校2年生(17名)  
会 場：いわみ〜る

**職業講話「なぜこの仕事についたか」**

日 時：平成25年2月18日(月) 8:50～12:40(1～4時間目)  
講 師：廣田 理紗  
聴 講 者：益田市立高津中学校2年生 86名  
会 場：益田市立高津中学校

**講座「須田国太郎—隠国(こもりく)の世界観—」**

日 時：平成25年2月23日(土) 14:00～16:00  
講 師：左近充 直美  
会 場：浜田市立石正美術館

**講座「旅する画家—須田国太郎が見た山陰」**

日 時：平成25年3月17日(日) 14:00～16:00  
講 師：左近充 直美  
会 場：島根県立美術館

## ボランティア



ワークショップで参加者の制作を補助するボランティア

当館では開館以前から、市民がボランティアとして積極的に事業に参加してきた。現在のボランティア全体のボランティア会の組織は、劇場、イベント企画、美術館、発送、クリーンアップ、生け花、情報の7つの部門からなっている。そのうち美術館ボランティアには「ギャラリートークグループ」と「ワークショップグループ」があり、それぞれ7名のボランティアが登録、活動している。

## 【ギャラリートークボランティア】

コレクション展の会場で、会期中の土曜日、日曜日、祝日の午前(10:00～12:00)と午後(13:00～15:00)に実施している。当番制ではなく、各自が活動できる日に来館して行っている。ボランティアは展示室で待機して来場者に声をかけ、希望者に対してトークを行う。各展覧会のトーク実施前には、担当学芸員によるギャラリートーク講習を行っている。

## 活動記録

- 5月16日～7月2日 コレクション展「江戸時代の絵師たち」
- 8月22日～10月1日 コレクション展「わんこ・にゃんこ」
- 11月30日～1月14日 コレクション展「描かれた女性たち」
- 10月19日～2月2日 コレクション展「1920's夜を彩る服」
- 12月5日～2月11日 コレクション展「もっと見てね。日本画」

## 【ワークショップボランティア】

美術館で開催するワークショップや講演会をはじめとする教育普及事業では、ボランティアスタッフがアシスタントとして事業に関わっている。

## 活動記録

- 7月29日 企画展「巨匠たちの英国水彩画展」講演会  
会場設営の補助と、お茶のサービスを行った。
- 8月12日 企画展「巨匠たちの英国水彩画展」ワークショップ  
当日の受付と制作の補助
- 1月20日、2月3日 企画展「ヨーロッパの近代美術」ワークショップ  
事前準備と制作の補助

## 1. いわみ美術回廊

平成14年4月1日 いわみ美術回廊がスタート

参加館：津和野町立安野光雅美術館、三隅町立石正美術館、浜田市世界こども美術館、葛飾北斎美術館、杜塾美術館、益田市立雪舟の郷記念館、今井美術館（以上7館）

活動内容：①情報コーナーの各館設置②ポスター製作③チラシ製作④加盟館各館の諸催し物の情報をPR誌等へ掲載⑤サービスカードの発行と加盟館全館観覧終了者に記念品（7館グッズ詰め合わせ）贈呈⑥情報交換会の開催

平成17年10月 島根県立石見美術館が加盟し、8館体制となる。

## 2. 萩・益田・津和野美術回廊

平成17年度スタート

参加館：山口県立萩美術館・浦上記念館、益田市立雪舟の郷記念館、津和野町立安野光雅美術館、森鷗外記念館、島根県立石見美術館（以上5館）

活動内容：半券等の提示による相互割引制度

## 3. 「雪舟さん」および「雪舟小僧さん」

年間パスポート「雪舟さん」 2,000円

○加入施設（4施設）

医光寺雪舟庭園、萬福寺雪舟庭園、益田市立雪舟の郷記念館、益田市立歴史民俗資料館

○発行の日から1年間、上記4施設に何回でも入館・入園可能

購入者に同行する4名までは、団体料金扱いで入館・入園可能

○下記施設には割引料金で入館

・島根県立石見美術館（コレクション展・企画展）、浜田市立石正美術館、浜田市世界こども美術館（館主催の展示のみ）

益田散策チケット「雪舟小僧さん」 1,300円

○加入施設（5施設）

島根県立石見美術館（コレクション展のみ）、医光寺雪舟庭園、萬福寺雪舟庭園、益田市立雪舟の郷記念館、益田市立歴史民俗資料館

○発売（使用開始）の日から3日間、お一人様

1施設1回に限り有効。

## 4. 割引制度

下記に掲げる乗車券、観覧券等を提示した場合、割引制度が利用可能。

① 石見交通株式会社、中国JRバスが運行する東京からの高速バス往復乗車券

② 石見交通株式会社、阪神電気鉄道が運行する大阪からの高速バス往復乗車券

③ 石見交通株式会社、広島電鉄が運行する広島からの高速バス往復乗車券

④ 大田市以東島根県東部の各JR駅からJR益田駅までの往復乗車券

⑤ 萩・石見空港発着の航空券

⑥ 島根県立石見美術館を除くいわみ美術回廊加盟館の観覧券（半券）

⑦ 山口県立美術館、山口県立萩美術館・浦上記念館の観覧券（半券）

⑧ 島根県いわみ芸術劇場で開催される催し物（当日のみ有効）の有料入場券（半券）

⑨ 提携館が発行する年間パスポート（期限内）

・足立美術館・医光寺・今井美術館・大原美術館・尾道市立美術館・サントリー美術館・津和野町立安野光雅美術館・島根県立古代出雲歴史博物館・島根県立美術館・浜田市世界こども美術館・浜田市立石正美術館・広島県立美術館・広島市現代美術館・ひろしま美術館・益田市立雪舟の郷記念館・益田市立歴史民俗資料館・萬福寺・杜塾美術館・山口県立萩美術館・浦上記念館・山口県立美術館

⑩ 提携カード

・しまねカード（島根県広島事務所）・しまね子育て応援パスポート（島根県少子化対策推進室）・ちゅーピーくらぶ（株式会社中国新聞社）・ドゥブレ（財団法人広島労働者職業福祉センター）・とっとり子育て応援パスポート（鳥取県子育て支援総室）・やわらぎカード（株式会社オーエムシーカード）・ゆめカード（株式会社ゆめカード）・JAカード（三菱UFJニコス株式会社）・JAF（社団法人日本自動車連盟）・SDカード（自動車安全運転センター）

## 所蔵作品一覧

## 日本画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
池田 蕉園	小松引	大正時代前期	絹本着色 掛幅装	139.4×51.2
池田 輝方	絵師多賀朝潮流さる	1919年	絹本着色 六曲屏風一双	右193.7×394.4 左193.9×396.0
伊藤 小坡	舟中納涼之図	昭和時代前期	絹本着色 掛幅装	143.8×50.8
今尾 景年	花鳥図	明治時代～大正時代	絹本着色 六曲屏風一双	各156.0×349.5
今尾 景年	柳塘群馬・桃林牧牛図	1900年	絹本着色 六曲屏風一双	各154.9×355.4
雲谷 等益	四季山水図	1615～1624年	紙本墨画淡彩 八曲屏風一双	各85.1×354.0
雲谷 等益	山水図	1630年代	紙本墨画淡彩 六曲屏風一双	各156.5×359.4
雲谷 等顔	山水人物花鳥図	1600～1618年頃	紙本墨画淡彩 六曲押絵貼屏風一双	各紙121.8×53.3
雲谷 等的	山水図	江戸時代前期	紙本墨画 掛幅装	30.9×57.9
雲谷 等的	観音山水図	江戸時代前期	絹本墨画淡彩 掛幅装三幅対	各103.3×34.5
雲谷派	耕作図	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画 六曲屏風一隻	152.2×346.2
榎本 千花俊	揚揚戯	1933年	絹本着色 額装	221.2×173.6
榎本 千花俊	池畔春興	1932年	絹本着色 額装	261.0×207.3
榎本 千花俊	口紅を描く	1935年	絹本着色 掛幅装	139×57
榎本 千花俊	春雪	昭和時代前期	絹本着色 掛幅装	131×42
岡野 洞山	竹林七賢・商山四皓図	1848年	紙本墨画淡彩 六曲屏風一双	各159.4×363.0
海北 友松	祖師図(達磨・巖頭)	桃山時代	紙本墨画 掛幅装双幅	各106.5×50.6
柿内 青葉	池	1933年	絹本着色 掛幅装	128×42
狩野 伊川院 栄信	富士三保清見寺図	江戸時代後期	絹本墨画 掛幅装	34.2×64.7
狩野 松栄	益田元祥像	1582～1592年頃	絹本着色 掛幅装	108.4×51.7
鍋木 清方	花見幕	昭和時代初期	絹本着色 掛幅装	141.2×50.6
川村 曼舟	牧牛図	大正時代	絹本着色 六曲屏風一隻	152.0×356.0
菊池 華秋	雪晴	1938年	絹本着色 額装	189.8×202.2
菊池 隆志	室内	1934年	紙本着色 額装	146.4×164.4
菊池 隆志	初夏遊園	1928年	絹本着色 額装	206.0×112.8
北野 以悦	春	1931年	絹本着色 額装	191.0×142.0
北野 恒富	むすめ	1925年	紙本着色 額装	190.5×89.0
北野 恒富	狂女	大正時代～昭和時代初期	絹本着色 掛幅装	130.0×50.0
啓孫	騎驢人物図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装	91.0×31.0
近衛 信尹	渡唐天神図	桃山時代	紙本墨画 掛幅装	95.0×39.2
小早川 清	旗亭涼宵	1933年	絹本着色 額装	197.0×113.0
小早川 清	宵	1936年	絹本着色 額装	216.8×111.7
小堀 鞆音	舞楽図	明治時代末期～昭和時代初期	紙本金地着色 六曲屏風一双	各162.3×358.2
斎藤 等室	山水図	江戸時代前期	紙本墨画 掛幅装	31.0×50.6
島崎 柳塙	汐風	明治時代後期	絹本着色 掛幅装	109.0×48.6
周恵	達磨図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装	51.7×28.0
曾我 蕭白	楼閣山水図	江戸時代中期	紙本墨画 掛幅装	134.8×52.2
曾我 宗丈	面壁達磨図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装	51.0×33.0
曾我 二直菴	鷲鷹図	江戸時代前期	紙本墨画 掛幅装双幅	各118.0×51.8
曾田 友栢	達磨図	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画 掛幅装	27.1×23.6
尊俊	竜虎図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装双幅	各86.9×43.0
竹内 栖鳳	藤花薺花群犬図	1889年	紙本着色 六曲屏風一双	各155.0×360.0
田中 頼璋	白雲紅樹	1934年	絹本着色 額装	226.0×174.5
谷 文晁	滝図	1828年	絹本着色 掛幅装双幅	各96.7×35.4
寺崎 広業	竹裡館観月	明治時代後期～大正時代初期	絹本着色 掛幅装	139.6×70.8
等碩	牧童図	室町時代後期	紙本墨画淡彩 掛幅装	26.3×33.7
富岡 鉄斎	江山招隠図	1907年	絹本着色 掛幅装	111.0×42.6
中林 竹洞	湖山清遠図	1834～1837年	絹本墨画 掛幅装	144.2×53.5
中林 竹洞	秋卉鷺鷥図	1831年	絹本着色 掛幅装	128.7×42.4
中林 竹溪	秋草群雀図	江戸時代後期	絹本着色 掛幅装	112.8×52.6
西 晴雲	湖南漁舟・緑陰仙居図	1928年	紙本着色 六曲屏風一双	各154.4×381.0
西 晴雲	四季花木図	1920～1925年頃	紙本着色 掛幅装四幅対	各167.8×47.3
橋本 明治	莊園	1934年	絹本着色 額装	233.6×142.2
橋本 明治	蓮を聴く	1936年	絹本着色 額装	156.8×221.8
長谷川派	武蔵野図	桃山時代～江戸時代初期	紙本金地着色 六曲屏風一双	各165.8×367.2
平福 百穂	七面鳥・鴨	1914年	紙本着色 掛幅装双幅	各124.8×59.1
広田 多津	ふたり	1938年	紙本着色 額装	204.6×135.3
不二木 阿古	爽朝	1941年	絹本着色 掛幅装	129×41
松本 楓湖	和装西洋婦人像	明治時代前期	絹本着色 額装	102.0×45.2

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
松本 楓湖	後醍醐帝観桜樹図	明治時代末期～大正時代	絹本着色 掛幅装	125×71
松本 楓湖	八岐大蛇図	1909年	絹本着色 掛幅装	150×70
円山 応挙	柿本人麿像	1765年頃	紙本墨画 掛幅装	93.8×28.0
武藤 嘉門	ショーウインドウ	1937年	紙本着色 額装	242.7×546.0
山田 喜作	真夏の港	1932年	絹本着色 額装	212.3×197.8
山田 喜作	湘南初夏	1931年	絹本着色 額装	245×174.5
山田 道安	芦雁図	室町時代末期～桃山時代初期	紙本墨画 掛幅装	各86.6×40.4
山本 栞谷	年中行事図	江戸時代末期	紙本着色 六曲押絵貼屏風一双	各139.0×304.2
山本 栞谷	瀧見観音図	江戸時代末期	紙本墨画淡彩 掛幅装	106.0×29.6
山本 栞谷	月下横臥図	1860年	絹本淡彩 掛幅装	159.0×50.7
山本 梅逸	山水図	1833年	紙本墨画 掛幅装	127.6×57.0
横山 大観	水温む	1954年	紙本墨画 額装	70.0×92.2
不詳	舞踊図	江戸時代初期	紙本金地着色 二曲屏風一隻	149.6×170.0
不詳	人麿図	江戸時代前期～中期	紙本金地着色 六曲屏風一隻	145.0×355.3
不詳	遊女柳橋扇面流図	江戸時代前期	紙本着色 六曲屏風一隻	108.6×343.0

## 油彩画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
石井 柏亭	芙蓉湖	1950年	油彩、カンヴァス	72.5×91.0
岩本 拓郎	無題	1978年	アクリル、シナベニヤ、角材	145.0×382.0
岩本 拓郎	無題	1979年	アクリル、シナベニヤ、角材	182.0×358.0
大下 藤次郎	野の道	1894～97年頃	油彩、カンヴァス	23.5×17.5
岡田 三郎助	黒き帯	1915年	油彩、カンヴァス	62.0×45.3
香月 泰男	ヴァンドーム広場	1973年	油彩、カンヴァス	91.0×48.0
香月 泰男	鯉と犬	1950年	油彩、カンヴァス	60.1×40.7
鹿子木 孟郎	加茂ノ森	1923年	油彩、カンヴァス	100.0×100.0
鹿子木 孟郎	舞子の浜	1914年	油彩、カンヴァス	76.0×40.0
川村 清雄	緑蔭牧牛図	大正時代～昭和時代初期	油彩、絹本	23.0×74.0
岸田 劉生	静物	1920年	油彩、カンヴァス	39.6×52.0
黒田 清輝	ポプラの黄葉	1891年	油彩、カンヴァス	65.4×80.8
黒田 清輝	裸体	1889年	油彩、カンヴァス	80.0×43.8
児島 善三郎	椅子による	1925～28年頃	油彩、カンヴァス	130.3×97.0
小堀 四郎	ブルターニュの男	1930年	油彩、紙	41.0×32.8
椿 貞雄	冬瓜南瓜図	1947年	油彩、カンヴァス	37.7×90.9
東郷 青児	婦人像	1930～35年頃	油彩、カンヴァス	65.0×53.0
堂本 尚郎	宇宙I	1978年	アクリル、カンヴァス	200.0×600.0
中尾 彰	川村(冬景)	1923年	油彩、カンヴァス、額装	72.9×91.0
中尾 彰	山麓	1955年	油彩、カンヴァス、額装	73.0×116.5
中川 八郎	初秋の夕	1919年	油彩、カンヴァス	94.5×121.6
長原 孝太郎	風景	1921年	油彩、板	32.7×24.0
中村 不折	裸体	1903～05年頃	油彩、カンヴァス	99.8×79.7
中村 不折	裸婦	1900～20年頃	油彩、カンヴァス	80.0×60.7
原田 直次郎	男児肖像	1887～98年頃	油彩、カンヴァス	30.3×21.9
藤島 武二	西洋婦人像	1908～09年頃	油彩、カンヴァス	58.3×39.1
藤田 嗣治	アントワープ港の眺め	1923年	油彩、カンヴァス	170.0×224.0
藤田 嗣治	婦人像	1939年	油彩、カンヴァス	57.6×71.2
満谷 国四郎	風景	1913～25年頃	油彩、カンヴァス	53.0×45.5
満谷 国四郎	雑木林	1922年	油彩、カンヴァス	45.5×53.3
宮 芳平	風景	1912～25年頃	油彩、カンヴァス	32.0×41.0
宮 芳平	自画像	1920年	油彩、カンヴァス	53.3×45.7
安井 曾太郎	水浴図	1912～25年頃	油彩、カンヴァス	91.0×72.0
山崎 修二	二人の少女	1931年	油彩、カンヴァス	130×96.5
山崎 修二	少女像	1931年	油彩、カンヴァス	100.0×81.0
山崎 修二	初冬	1936年	油彩、カンヴァス	130.0×161.0
山崎 修二	夏	1936年	油彩、カンヴァス	73.0×91.0
山崎 修二	残雪のある庭	1938年	油彩、カンヴァス	111.0×144.0
山崎 修二	髪	1939年	油彩、カンヴァス	131.0×97.0
山崎 修二	風景(仮題)	1941年	油彩、カンヴァス	73.0×91.0
山崎 修二	窓辺の静物	1950年	油彩、カンヴァス	91.0×116.5
山崎 修二	山懐の早春	1953年	油彩、カンヴァス	91.0×73.0
山崎 修二	緑の静物	1955年	油彩、カンヴァス	130.0×80.0
山崎 修二	港通りの家	1998年	油彩、カンヴァス	53.0×66.0
山本 鼎	筍	1938年	油彩、カンヴァス	41.2×53.3

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
吉田 博	風景	1911～20年頃	油彩、カンヴァス	60.6×50.0
和田 英作	風景	1914年	油彩、カンヴァス	52.2×71.6
和田 英作	海神	1918年	油彩、カンヴァス	53.0×41.0
ガブリエル・フォン・マックス	聖女テレゼ・メルルクス	1868年	油彩、カンヴァス	67.8×55.8
ガブリエル・フォン・マックス	煙を出す壺を抱く女性	19世紀末～20世紀初期	油彩、カンヴァス	85.4×65.2
ラウル・デュフィ	水上の祭	1920～22年頃	油彩、カンヴァス	
ラファエル・コラン	若い女性の肖像	1889年	油彩、カンヴァス	65.0×54.0

## 版 画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
石井 柏亭	木場	1914年	木版、紙	24.0×18.0
織田 一磨	石見有福温泉	1925年	木版、紙	39.0×27.0
岸田 劉生	岸田劉生個展ポスター	1919年	木版、紙	70.0×25.5
永瀬 義郎	祈り	1956年	木版、紙(紺紙金刷)	51.0×38.0
永瀬 義郎	画家	1963年	木版、紙	61.0×43.5
永瀬 義郎	祭壇の処女	1975年	リトグラフ、紙	80.3×65.0
宮 芳平	自画像	1934年	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	黒百合	1934年	エッチング、紙	12.2×9.0
宮 芳平	門	1934年	エッチング、紙	9.1×2.0
宮 芳平	ハヶ嶽	1934年	エッチング、紙	8.7×18.2
宮 芳平	ブラジルへ行った人の家	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	御神木	1934年	エッチング、紙	9.0×11.8
宮 芳平	水	1935年頃	エッチング、紙	9.0×11.8
宮 芳平	雨 その1	1935年頃	エッチング、紙	9.0×9.4
宮 芳平	雨 その2	1935年頃	エッチング、紙	9.0×10.8
宮 芳平	コスモス	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	雲	1933年	エッチング、紙	10.0×12.0
宮 芳平	田舎(三日月)	1935年頃	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	茄子	1935年頃	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	おぼろの太陽	1935年頃	エッチング、紙	18.0×9.0
宮 芳平	松	1935年	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	昭子像	1935年	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	自画像(眼を病める)	1935年	エッチング、紙	11.8×9.0
宮 芳平	旧校舎(雪)	1935年	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	室内	1935年	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	月(望月)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	コーヒーわかし	1935年	エッチング、紙	12.0×9.0
宮 芳平	山(年賀状)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	ポプラと湖	1935年頃	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	桔野	1935年頃	エッチング、紙	6.0×6.3
宮 芳平	水辺	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	山湖	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	郊外	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	叢	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	山(冬の裏山)	1935年頃	エッチング、紙	10.0×8.0
宮 芳平	もろこしとトマト	1935年	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	山と月	1935年頃	エッチング、紙	12.0×9.0
宮 芳平	庭の花(すみれ)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	庭の花(桜草)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	庭の花(くりん草)	1935年頃	エッチング、紙	6.2×6.0
宮 芳平	茄子の木	1935年頃	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	裏山	1935年頃	エッチング、紙	12.0×18.0
宮 芳平	湖と乙女	1935年頃	エッチング、紙	9.0×9.0
宮 芳平	湖と乙女(月)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×9.0
宮 芳平	実のなる木	1935年	エッチング、紙	8.8×12.0
ウイーン工房(フレグ ル、リックス他)	「女性の生活」(20点組)	1916年	木版・一部水彩加筆、紙	39.5×29.5
ジャンーエミール・ラブレール	マリー・ローランサンの肖像	1914年	木版、紙	25.0×22.0
ジャンーエミール・ラブレール	ビュット・ショーモン公園 風景	1921年	エッチング、紙	20.0×23.0
ジョルジュ・ルバープ	『ポール・ボワレの作品』	1911年	ファッションプレート12枚 エキストラプレート3枚	

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
ソニア・ドローネー	『絵画・オブジェ・同時的 テキスタイル・モード』	1925年	ファッションプレート20枚	57.0×38.5
ダゴベルト・ベッヒェ	着衣の少女	不詳	彩色、版画	30.0×22.5
ポール・イリーブ	『ポール・ポワレのドレス』	1908年	ファッションプレート10枚	
ラウル・デュフィ	狩猟	1910年頃	木版、紙	21.0×64.0
ラウル・デュフィ	ダンス	1910年頃	木版、紙	31.2×31.3
ロッテ・カルム	「モード・ウィーン 1914 ／15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
アニィ・シュレーダー	「モード・ウィーン 1914 ／15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
アニィ・シュレーダー	「モード・ウィーン 1914 ／15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
イレーネ・シャシュル	「モード・ウィーン 1914 ／15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
イレーネ・シャシュル	「モード・ウィーン 1914 ／15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ガビ・メーシュル	「モード・ウィーン 1914 ／15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ゲルトルト・ヴァイン ベルガー	「モード・ウィーン 1914 ／15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ダゴベルト・ベッヒェ	「モード・ウィーン 1914 ／15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ヒルダ・イエッサー	「モード・ウィーン 1914 ／15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ヒルダ・イエッサー	「モード・ウィーン 1914 ／15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
フリッツィ・レーヴ	「モード・ウィーン 1914 ／15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
マックス・スニシェク	「モード・ウィーン 1914 ／15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
	『ガゼット・デュ・ボン・トン』	1912～25年	冊子69冊、ファッションプレート721枚	
	『モード・エ・マニエル・ド ジュールウイ』	1912～22年	冊子7冊、ファッションプレート84枚	
	『ジュルナル・ダム・エ・デ・ モード』	1912～14年	冊子80冊、ファッションプレート188枚	

## 水彩画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
五百城 文哉	富士図	1893～1906年頃	水彩、紙	62.0×94.0
大下 藤次郎	下駄屋の店先	1892年	水彩、紙	18.8×23.8
大下 藤次郎	貸家の裏口	1892年	水彩、紙	27.0×15.4
大下 藤次郎	風景習作1	1892年	水彩、紙	14.5×20.0
大下 藤次郎	人物習作1	1892年	水彩、紙	21.8×14.0
大下 藤次郎	呉服屋	1892年	水彩、紙	18.4×25.8
大下 藤次郎	風景習作2	1892年	水彩、紙	23.4×32.4
大下 藤次郎	門と人物1	1892年	水彩、紙	28.2×21.6
大下 藤次郎	西総田舎の景	1893年	水彩、紙	29.6×38.0
大下 藤次郎	風景習作3	1893年	水彩、紙	22.0×14.3
大下 藤次郎	風景習作4	1893年	水彩、紙	16.6×24.4
大下 藤次郎	風景習作5	1893年	水彩、紙	14.0×21.0
大下 藤次郎	門と人物2	1893年	水彩、紙	22.6×14.9
大下 藤次郎	門と人物3・小石川	1893年	水彩、紙	22.6×15.1
大下 藤次郎	橋のある風景	1893年	水彩、紙	13.7×20.9
大下 藤次郎	つり	1895年	水彩、紙	15.5×24.2
大下 藤次郎	京都近郊	1895年	水彩、紙	11.3×17.8
大下 藤次郎	川口	1895年	水彩、紙	12.3×17.4
大下 藤次郎	風景習作6・ 28年10月13日	1895年	水彩、紙	23.8×15.2
大下 藤次郎	風景習作7・ 28年10月17日	1895年	水彩、紙	15.2×22.2
大下 藤次郎	風景習作8・ 28年10月20日	1895年	水彩、紙	13.8×23.6
大下 藤次郎	穴森神社	1895年	水彩、紙	14.2×18.7
大下 藤次郎	武州七国峠	1895年	水彩、紙	13.9×24.1
大下 藤次郎	相州塩川瀑	1895年	水彩、紙	24.4×15.5
大下 藤次郎	八王子河原	1895年	水彩、紙	13.3×18.6

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
大下 藤次郎	荒川	1895年	水彩、紙	13.2×23.7
大下 藤次郎	富山	1895年	水彩、紙	14.9×24.2
大下 藤次郎	塔のある風景(三重の塔)	1896年	水彩、紙	32.5×21.4
大下 藤次郎	日暮里	1896年	水彩、紙	18.3×29.8
大下 藤次郎	修善寺	1896年	水彩、紙	20.4×32.8
大下 藤次郎	多摩川上流	1896年	水彩、紙	21.0×32.4
大下 藤次郎	小石川	1896年	水彩、紙	21.7×30.0
大下 藤次郎	館山	1896年	水彩、紙	21.2×32.6
大下 藤次郎	小丹波	1896年	水彩、紙	31.5×21.1
大下 藤次郎	五重塔	1896年	水彩、紙	31.7×20.8
大下 藤次郎	天真院	1896年	水彩、紙	25.4×17.8
大下 藤次郎	三門	1896年	水彩、紙	19.2×27.1
大下 藤次郎	賀茂	1896年	水彩、紙	32.3×20.3
大下 藤次郎	桜	1896年	水彩、紙	21.7×13.9
大下 藤次郎	境内	1896年	水彩、紙	15.3×21.6
大下 藤次郎	修善寺	1896年	水彩、紙	20.8×32.2
大下 藤次郎	白丸	1896~1897年頃	水彩、紙	20.6×32.2
大下 藤次郎	裸婦	1897年	水彩、紙	44.0×34.6
大下 藤次郎	裸婦	1897年	水彩、紙	43.9×29.3
大下 藤次郎	裸婦	1897年	水彩、紙	29.4×22.4
大下 藤次郎	富士を望む	1897年	水彩、紙	19.2×32.4
大下 藤次郎	日光	1897年	水彩、紙	25.6×39.2
大下 藤次郎	巣鴨の牛小屋	1897年	水彩、紙	20.6×32.6
大下 藤次郎	越ヶ谷	1897年	水彩、紙	19.8×32.0
大下 藤次郎	綾瀬	1897年	水彩、紙	18.2×31.4
大下 藤次郎	興津	1897年	水彩、紙	15.7×32.6
大下 藤次郎	相模(AKIYA SAGAMI)	1897年	水彩、紙	21.4×33.0
大下 藤次郎	ニューヘヴン	1897年	水彩、紙	30.6×20.4
大下 藤次郎	興津	1897年	水彩、紙	15.4×32.5
大下 藤次郎	巣鴨	1897年	水彩、紙	18.2×30.0
大下 藤次郎	風景習作9	1897年	水彩、紙	20.4×31.0
大下 藤次郎	栗田	1897年	水彩、紙	15.7×31.4
大下 藤次郎	武蔵	1897年	水彩、紙	31.2×21.7
大下 藤次郎	浜辺の船	1898年	水彩、紙	19.2×33.0
大下 藤次郎	坂本	1898年	水彩、紙	24.9×38.1
大下 藤次郎	宮の下	1898年	水彩、紙	25.4×39.4
大下 藤次郎	シドニー南端	1898年	水彩、紙	22.2×34.5
大下 藤次郎	シドニー、 ニューサウス・ウェールズ	1898年	水彩、紙	23.3×34.4
大下 藤次郎	シドニー	1898年	水彩、紙	22.6×33.2
大下 藤次郎	メルボルン港	1898年	水彩、紙	23.0×33.5
大下 藤次郎	モートン岬、 クイーンズランド	1898年	水彩、紙	23.2×34.5
大下 藤次郎	サンドゲート、 クイーンズランド	1898年	水彩、紙	23.0×34.8
大下 藤次郎	ロイヤルパーク、 メルボルン	1898年	水彩、紙	20.7×31.4
大下 藤次郎	プリズバーン河	1898年	水彩、紙	23.0×34.8
大下 藤次郎	プリズバーン河	1898年	水彩、紙	22.5×34.5
大下 藤次郎	金剛甲板にて	1898年	水彩、紙	40.2×26.9
大下 藤次郎	シドニー湾	1898年	水彩、紙	22.4×34.4
大下 藤次郎	赤道直下にて	1898年	水彩、紙	21.9×34.4
大下 藤次郎	アトリエの画家	1898年	水彩、紙	33.4×22.3
大下 藤次郎	信州の夏	1899年	水彩、紙	50.0×71.5
大下 藤次郎	つつじ	1899年	水彩、紙	32.5×47.4
大下 藤次郎	峠の木	1899年	水彩、紙	30.8×20.6
大下 藤次郎	雲の観察・明治32年 9月13日・正午・南	1899年	水彩、紙	15.8×26.0
大下 藤次郎	雲の観察・9月下旬・ 西方午後5時	1899年	水彩、紙	17.3×25.7
大下 藤次郎	雲の観察(明治33年 11月21日朝 東)	1900年	水彩、紙	18.0×27.4
大下 藤次郎	雲の観察(明治33年 12月5日 西南方)	1900年	水彩、紙	18.2×27.2
大下 藤次郎	城跡	1903年	水彩、紙	27.7×38.8
大下 藤次郎	仁王門(山門)	1903~1911年頃	水彩、紙	22.1×33.6

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
大下 藤次郎	ポピー	1903～1911年頃	水彩、紙	31.2×45.8
大下 藤次郎	野の花	1903～1911年頃	水彩、紙	22.0×33.3
大下 藤次郎	せせらぎ	1903～1911年頃	水彩、紙	25.8×36.5
大下 藤次郎	暮景	1903～1911年頃	水彩、紙	18.0×34.3
大下 藤次郎	河原	1903～1911年頃	水彩、紙	22.2×32.8
大下 藤次郎	桜	1903～1911年頃	水彩、紙	19.0×29.5
大下 藤次郎	夕日	1903～1911年頃	水彩、紙	13.1×19.3
大下 藤次郎	湖上の雲	1903～1911年頃	水彩、紙	22.8×34.2
大下 藤次郎	入江	1903～1911年頃	水彩、紙	23.0×34.0
大下 藤次郎	山の眺め	1903～1911年頃	水彩、紙	33.6×23.1
大下 藤次郎	浜辺の松	1903～1911年頃	水彩、紙	36.4×25.2
大下 藤次郎	青梅	1904年	水彩、紙	33.4×22.4
大下 藤次郎	青梅	1904年	水彩、紙	33.9×22.2
大下 藤次郎	河原	1904年	水彩、紙	52.0×74.5
大下 藤次郎	寄居	1904年	水彩、紙	22.4×34.1
大下 藤次郎	秋の雲	1904年	水彩、紙	32.9×49.7
大下 藤次郎	林間	1904年	水彩、紙	22.3×33.8
大下 藤次郎	木立	1904年	水彩、紙	34.0×22.4
大下 藤次郎	村の寺	1904年	水彩、紙	29.8×19.9
大下 藤次郎	天ヶ瀬	1904年	水彩、紙	17.6×26.5
大下 藤次郎	早春	1904年	水彩、紙	22.9×33.7
大下 藤次郎	風景	1904年	水彩、紙	22.0×34.0
大下 藤次郎	秋谷の漁村	1905年	水彩、紙	48.8×69.7
大下 藤次郎	浪	1905年	水彩、紙	22.3×33.2
大下 藤次郎	磐梯山噴火口	1906年	水彩、紙	22.9×34.1
大下 藤次郎	風景	1906年	水彩、紙	10.3×20.8
大下 藤次郎	船のある風景	1906年	水彩、紙	10.4×20.8
大下 藤次郎	水辺風景5	1906年	水彩、紙	22.8×33.9
大下 藤次郎	多摩川	1906年頃	水彩、紙	22.6×32.7
大下 藤次郎	磐梯山噴火口	1907年	水彩、紙	34.2×51.9
大下 藤次郎	多摩川畔	1907年	水彩、紙	48.8×69.7
大下 藤次郎	波	1907年	水彩、紙	26.1×46.4
大下 藤次郎	甲州駒ヶ岳	1907年	水彩、紙	22.1×33.0
大下 藤次郎	猪苗代	1907年	水彩、紙	66.7×48.2
大下 藤次郎	穂高山の残雪	1907年	水彩、紙	22.2×33.2
大下 藤次郎	檜原湖の秋	1907年	水彩、紙	61.2×97.2
大下 藤次郎	猪苗代	1907年頃	水彩、紙	23.5×33.9
大下 藤次郎	飯坂	1907年頃	水彩、紙	30.8×45.6
大下 藤次郎	湖水を望む	1907年頃	水彩、紙	22.9×34.8
大下 藤次郎	徳本小屋のほとり	1907年頃	水彩、紙	21.9×33.2
大下 藤次郎	興津	1907年頃	水彩、紙	22.5×33.2
大下 藤次郎	浮き雲	1907～1911年頃	水彩、紙	31.3×45.6
大下 藤次郎	生け花	1907～1911年頃	水彩、紙	33.7×22.8
大下 藤次郎	秋海棠	1907～1911年頃	水彩、紙	34.8×22.4
大下 藤次郎	森	1907～1911年頃	水彩、紙	25.7×36.5
大下 藤次郎	山あいの道	1907～1911年頃	水彩、紙	25.6×36.5
大下 藤次郎	高原	1907～1911年頃	水彩、紙	27.6×39.8
大下 藤次郎	秋の夕	1907～1911年頃	水彩、紙	30.8×45.6
大下 藤次郎	山上の眺め	1908年	水彩、紙	22.3×32.6
大下 藤次郎	残雪	1908年	水彩、紙	22.3×33.2
大下 藤次郎	水芭蕉	1908年	水彩、紙	33.2×22.5
大下 藤次郎	松	1908年	水彩、紙	31.2×46.2
大下 藤次郎	波の音	1908年	水彩、紙	22.0×33.1
大下 藤次郎	富士を望む	1909年	水彩、紙	30.5×45.4
大下 藤次郎	静物 林檎	1909年	水彩、紙	33.6×50.3
大下 藤次郎	庭の一隅(コスモス)	1909年	水彩、紙	26.4×37.0
大下 藤次郎	西山峠	1909年	水彩、紙	32.9×22.2
大下 藤次郎	浜辺の家	1910年	水彩、紙	25.7×36.6
大下 藤次郎	小豆島	1910年	水彩、紙	25.4×36.5
大下 藤次郎	初夏	1910年頃	水彩、紙	25.9×36.6
大下 藤次郎	宍道湖の黄昏	1911年	水彩、紙	25.6×36.8
大下 藤次郎	美寿賀城跡	1911年	水彩、紙	25.8×36.5
大下 藤次郎	秩父琴平山	不詳	水彩、紙	17.5×11.4
大下 藤次郎	宿場	不詳	水彩、紙	21.9×33.1

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
大下 藤次郎	船のある風景	不詳	水彩、紙	22.6×33.0
大下 藤次郎	波	不詳	水彩、紙	22.2×32.9
大下 藤次郎	富士山	不詳	水彩、紙	27.9×35.5
大下 藤次郎	帆船	不詳	水彩、紙	34.3×22.9
大下 藤次郎	入江	不詳	水彩、紙	11.0×17.9
大下 藤次郎	風景	不詳	水彩、紙	13.4×18.5
大下 藤次郎	舟のある風景	不詳	水彩、紙	13.8×20.2
大下 藤次郎	池	不詳	水彩、紙	15.0×23.2
大下 藤次郎	川	不詳	水彩、紙	22.8×34.4
大下 藤次郎	紫陽花	不詳	水彩、紙	32.2×22.2
大下 藤次郎	海	不詳	水彩、紙	23.0×33.7
大下 藤次郎	樹林	不詳	水彩、紙	20.7×31.1
大下 藤次郎	風景	不詳	水彩、紙	14.2×20.4
大下 藤次郎	木立	不詳	水彩、紙	22.0×33.0
大下 藤次郎	朝	不詳	水彩、紙	23.0×33.9
大下 藤次郎	緑陰	不詳	水彩、紙	25.4×36.9
大下 藤次郎	波	不詳	水彩、紙	16.2×24.4
大下 藤次郎	風景	不詳	水彩、紙	15.3×38.4
大下 藤次郎	風景習作10	不詳	水彩、紙	15.4×23.4
大下 藤次郎	風景習作11	不詳	水彩、紙	14.8×22.1
大下 藤次郎	菊花	不詳	水彩、紙	34.0×23.0
大下 藤次郎	水辺風景1	不詳	水彩、紙	22.4×32.8
大下 藤次郎	水辺風景2	不詳	水彩、紙	22.0×33.2
大下 藤次郎	水辺風景3	不詳	水彩、紙	22.3×33.0
大下 藤次郎	雪の山1	不詳	水彩、紙	25.4×36.6
大下 藤次郎	水辺風景4	不詳	水彩、紙	21.9×32.2
大下 藤次郎	庭園	不詳	水彩、紙	22.1×33.0
大下 藤次郎	水辺風景6	不詳	水彩、紙	33.2×22.1
大下 藤次郎	坂道の家並み	不詳	水彩、紙	37.0×25.4
大下 藤次郎	釣鐘	不詳	水彩、紙	26.2×17.7
大下 藤次郎	崖	不詳	水彩、紙	33.0×22.3
大下 藤次郎	水辺の小屋	不詳	水彩、紙	33.7×23.4
大下 藤次郎	雪の山2	不詳	水彩、紙	22.2×33.0
大下 藤次郎	水辺の山	不詳	水彩、紙	30.7×46.2
大下 藤次郎	雪の山3	不詳	水彩、紙	25.8×36.5
大下 藤次郎	水辺の木立	不詳	水彩、紙	30.6×46.4
大下 藤次郎	雪の山4	不詳	水彩、紙	31.4×46.2
大下 藤次郎	富士山	不詳	水彩、紙	25.4×36.6
大下 藤次郎	樹木	不詳	水彩、紙	32.7×22.6
大下 藤次郎	樹木習作	不詳	水彩、紙	33.5×22.1
大下 藤次郎	船着き場	不詳	水彩、紙	23.6×15.8
大下 藤次郎	寺の境内	不詳	水彩、紙	14.0×17.6
大下 藤次郎	秋の川辺	不詳	水彩、紙	15.2×23.4
大下 藤次郎	海洋	不詳	水彩、紙	29.8×50.4
大下 藤次郎	溪流	不詳	水彩、紙	22.4×32.9
大下 藤次郎	金色夜叉絵葉書下絵 5点	不詳	水彩、紙	22.3×33.2
大橋 正堯	農家	1896年	水彩、紙	9.1×14.4
草間 彌生	(18C)	1958年	グアッシュ・パステル、紙	67.5×53.7
草間 彌生	(18D)	1956年	グアッシュ・パステル、紙	58.4×43.3
草間 彌生	(18J)	1954年	グアッシュ・パステル、紙	61.0×45.7
草間 彌生	(18L)	1957年	グアッシュ・パステル、紙	67.5×53.6
草間 彌生	(18M)	1957年	グアッシュ・パステル、紙	67.8×53.8
草間 彌生	(18Q)	1956年	グアッシュ・パステル、紙	61.0×45.7
草間 彌生	FLOWER Q.S.A	1954年	グアッシュ・パステル、紙	32.5×33.4
草間 彌生	HORIZONTAL-B	1953年	グアッシュ・パステル、紙	28.0×28.0
草間 彌生	No.235.Q.2	1953年	グアッシュ・パステル、紙	32.5×30.7
草間 彌生	The Heat	1952年	グアッシュ・パステル、紙	29.8×24.8
草間 彌生	帽子	1975年	フォトコラージュ・水彩・パステル、紙	39.5×54.5
後藤 工志	風景	1912～1929年頃	水彩、紙	15.7×21.7
三宅 克己	農村風景	1896年	水彩、紙	28.5×48.5
三宅 克己	伊豆風景	1926～1945年	水彩、紙	49.0×65.8
マリア・リカルツ	無題(青いドレスに青い帽子、赤い星印の上に立つ女性)	1916年	水彩、紙	26.4×25.6
マリア・リカルツ	無題(扇を持つピンクのドレスを着た女性)	1916年	水彩、紙	26.4×25.6

## 素描

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
大下 藤次郎	馬	1892年	鉛筆、紙	17.6×14.0
大下 藤次郎	高田千歳町	1892年	鉛筆、紙	28.5×38.3
大下 藤次郎	十二社裏	1893年	鉛筆、紙	24.8×18.7
大下 藤次郎	越前堀	1893年	鉛筆、紙	19.4×25.4
大下 藤次郎	四ッ谷 谷町	1893年	鉛筆、紙	29.2×37.8
大下 藤次郎	小石川白山御殿側	1893年	鉛筆、紙	29.4×38.1
大下 藤次郎	護国寺内	1893年	鉛筆・水彩、紙	25.0×18.9
大下 藤次郎	椿	1894年	鉛筆、紙	19.5×16.9
大下 藤次郎	京都途上所見	1895年	鉛筆、紙	11.2×17.6
大下 藤次郎	国内風景スケッチ 98年10月20日	1895年	鉛筆・水彩、紙	11.3×17.6
大下 藤次郎	京の□居	1896年	鉛筆・水彩、紙	11.2×16.6
大下 藤次郎	民家の庭先	1897年	鉛筆・水彩、紙	11.3×17.6
大下 藤次郎	軍艦金剛にて①(3枚組)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.3×16.6、9.6×16.8、9.6×17.0
大下 藤次郎	軍艦金剛にて②(3枚組)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.2×17.3、9.3×15.2、9.4×17.1
大下 藤次郎	軍艦金剛にて③(3枚組)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.4×16.8、9.4×17.2、9.5×16.8
大下 藤次郎	金剛スケッチ(甲板)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.6
大下 藤次郎	金剛スケッチ(雨浴)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.9
大下 藤次郎	金剛スケッチ(芝居のお稽古安達ヶ原)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×17.0
大下 藤次郎	金剛スケッチ(芝居のお稽古太閤記)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.8
大下 藤次郎	金剛スケッチ(掃除)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×14.8
大下 藤次郎	金剛スケッチ(お茶番)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.8
大下 藤次郎	人物スケッチ(シドニー)	1898年	鉛筆・水彩、紙	
大下 藤次郎	碓永川	1898年	鉛筆・水彩、紙	11.2×17.8
大下 藤次郎	フィジー人物スケッチ	1898年	鉛筆、紙	
大下 藤次郎	渋谷	不詳	鉛筆、紙	19.7×23.8
大下 藤次郎	南品川	不詳	鉛筆、紙	29.3×38.0
大下 藤次郎	麻布二之橋	不詳	鉛筆、紙	28.7×38.4
大下 藤次郎	牛込	不詳	鉛筆、紙	29.0×38.1
大下 藤次郎	富士山スケッチ	不詳	鉛筆、紙	24.0×35.8
大下 藤次郎	二十八番観音	不詳	鉛筆・水彩、紙	17.8×11.2
大下 藤次郎	風景スケッチ 鳥居	不詳	鉛筆・水彩、紙	19.8×15.6
大下 藤次郎	室内	不詳	鉛筆・水彩、紙	8.6×13.7
大下 藤次郎	kitami	不詳	鉛筆、紙	14.0×8.6
大下 藤次郎	鎌倉	不詳	鉛筆、紙	
大下 藤次郎	二日市	不詳	鉛筆、紙	
大下 藤次郎	人物スケッチ 26点	1892~1897年頃	鉛筆・水彩、紙	
岸田 劉生	内藤夫人の像	1919年	木炭・パステル、紙	37.8×30.5
宮 芳平	樹木	1896年	コンテ、紙	18.5×28.4
宮 芳平	村里	1933年	コンテ、紙	18.5×28.2
宮 芳平	はげのある風景	1928年	鉛筆、紙	25.2×19.0
宮 芳平	冬の木	1932年	鉛筆、紙	25.2×18.4

## 写真

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
森村 泰昌	「美に至る病 女優になった私」(48点組)	1996年	イルフォクローム、アクリル加工	各120.0×95.0
アーヴィン・ブリューメンフェルド	「エイジ・オブ・エレガンス」(10点組)	1984年	ダイ・トランスファー・プリント	各50.8×40.1
ウィリアム・クライン	オペラ劇場+顔のない人々、パリ	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	40.0×50.0
ウィリアム・クライン	煙+ヴェール	1958年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	60.0×50.0
ウィリアム・クライン	楽屋のモデルたち、パリ	1965年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	50.0×40.0
エドワード・スタイケン	ナティカ・ナスト	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.3
エドワード・スタイケン	F. A. ワイマン夫人	1931年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.0×20.0
エドワード・スタイケン	無題	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.3
サラ・ムーン	『ヴォーグ』より	1973年	ダイ・トランスファー・プリント	19.7×30.0
ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	ロレッタ・ヤング	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.3×20.3
ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	イリナ・バラノヴァとニコ・テイラード	1940年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	26.1×32.8

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	ドラマティック・イヴニング・ケープ	1938年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	22.0×28.4
セシル・ビートン	エドワード朝様式の室内にいるメアリー・テイラー、『ヴォーグ』より	1935年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.2
セシル・ビートン	題不詳(1947 Nov.28)	1947年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.6
セシル・ビートン	題不詳(1947 Nov.10)	1947年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.6
セシル・ビートン	題不詳	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.6
セシル・ビートン	題不詳	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.8×20.6
セシル・ビートン	題不詳	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.8×20.7
ダイアン・アーバス	サウス・カロライナ	1968年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	39.5×38.2
ダイアン・アーバス	舞踏場ダンス ジュニア州チャンピオン、 ニューヨーク州ユンカーズ	1962年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	37.2×37.2
ダイアン・アーバス	楽屋の風刺劇喜劇女優 アトランティックシ ティ、ニュージャージー	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	37.6×37.5
ダイアン・アーバス	無題14	1970～71年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	37.3×37.7
ダイアン・アーバス	無題18	1970～71年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.8×37.4
ダイアン・アーバス	バラのドレスを着た仮面舞踏会の婦人	1967年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.9×37.2
ダイアン・アーバス	五番街のパレードの男、ニューヨーク	1969年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.8×36.8
ダイアン・アーバス	恐怖の家、コニー・アイランド、ニューヨーク	1962年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.4×37.3
パロン・ド・メイヤー	ミスタンゲット	1920年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	24.1×18.4
パロン・ド・メイヤー	コンデ・ナスト夫人	1925年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	24.1×18.7
ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて、フランス『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	30.6×20.5
ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて、フランス『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	20.4×30.6
ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて、フランス『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	30.5×20.4
ベルナルド・フォコン	到着 〈夏休み〉より	1978年	フレッソソ・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	悪魔のミントシロップ 〈夏休み〉より	1980年	フレッソソ・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	島の祭り 〈時の不確かな進化〉より	1983年	フレッソソ・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	アントワヌ 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッソソ・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	小さな木 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッソソ・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	ミュケナイの門 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッソソ・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	ディミトリ 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッソソ・プリント	60.0×60.0
ホルスト P. ホルスト	白い袖、パリ	1936年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.9×35.6
マーティン・ムンカッチ	ニューヨーク万国博覧会 『ハーバース・バ ザー』1938年9月号	1938年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
マーティン・ムンカッチ	ルシール・プロコウ 『ハーバース・バザー』 1933年12月号	1933年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	35.6×27.9
マーティン・ムンカッチ	『ハーバース・バザー』1936年6月号	1936年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.9×35.6
メルヴィン・ソコルスキー	デルポーに捧ぐ	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	50.8×40.6
メルヴィン・ソコルスキー	木立のなかで	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	50.8×40.6
リチャード・アヴェドン	ドヴィマと象	1955年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	58.5×47.3
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.0×17.9
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	16.2×12.5
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	18.4×12.6
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.1×18.0
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	19.2×12.9

## 工芸

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
阿部 裕幸	根付 明暗	2005年	猪牙	長8.9 幅2.0
巖水	石見根付 扇面草図	江戸時代	象牙	長9.9
宍戸 濤雲	根付 柿本人麿	2005年	猪牙	長6.0 幅2.1
高木 喜峰	根付 迷い道	2005年	猪牙	長6.0 幅1.8
田中 俊暲	石見根付 おろち	2007年	猪牙	長1.0 幅4.5
富永	石見根付 蜘蛛	江戸時代後期	猪牙	8.5×2.4×1.2
富春	石見根付 蓮葉に蓑亀	1792年	鯨の歯	4.1×2.5
富春	石見根付 亀	江戸時代後期	木刻	長6.1
富春	石見根付 鮑に蟹	1795年	象牙	高1.5 幅4.8 奥行3.0
永原 雲永	色絵桐紋秋草図蓋茶碗	江戸時代末期	陶器	高7.9 口径11.0 高台径4.2
永原 英造	色絵金銀彩唐草文鉢	19世紀後半	陶器	高10.0 口径19.5 底径10.3
中村 松間斎	猛禽図高蒔絵印籠	江戸時代末期	高蒔絵	高7.2 幅6.7 奥行2.8
前田 中	根付 番	2005年	猪牙	長5.1 幅1.8

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
龍水	石見根付 牛	江戸時代	木	長5.6
和地 一風	根付 月下の祈り	2005年	猪牙・ベッ甲・海松	長9.9 幅1.8
不詳	石見根付 蜘蛛	江戸時代後期	猪牙刻	長8.3
ダゴベルト・ベッヒエ	蓋付きの物入れ	1912年デザイン	陶製、釉薬	高15.0
ダゴベルト・ベッヒエ	ペンダント	1919年頃	象牙(刻彫)	長4.6
ダゴベルト・ベッヒエ	ブローチ	1916年	銀、象牙	3.4×3.4
ダゴベルト・ベッヒエ	蓋付きの箱	1920～21年	鍛金・銀	高5.0 径4.2

## 彫刻

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
草間 彌生	ドレス	1976年	ドレス、詰め物をした縫製布、ハンガー、彩色	102.0×52.0×20.0
草間 彌生	「銀色の希死」より シルバージューズ	1976年	靴、詰め物をした縫製布、彩色	23.0×8.6×19.0
草間 彌生	ジェネシス 創世記	1993～94年	詰め物をした縫製布、木、彩色	299.7×480.1×30.0
草間 彌生	南瓜	1998年	F. R. P(強化プラスチック)、 塩ビ系塗装	200.0×250.0×250.0
米原 雲海	仙丹	1910年	木彫	高34.0

## 服飾

作家名	作品名	制作年	材質
森 英恵	イヴニング・コート、ショートドレス	1964年	純金帯地(西陣織)のコート。ドレスは、帯地と絹サテン。
森 英恵	ジャンプスーツ、カフタン	1966年	菊を同柄でプリントした綾絹と絹シフォンのジャンプ・スーツとカフタン。絹サテンのベルト。
森 英恵	イヴニング・コート、ドレス	1968年	帯地風に仕立てた西陣織のイヴニング・コート。赤と白の絹サテンのロングドレス。赤い絹サテンのベルト付。
森 英恵	カフタン、ドレス	1976年	蝶をプリントした絹シフォンと綾絹。同柄の絹シフォンのストール。
森 英恵	イヴニング・ドレス	1976年	蝶をプリントした絹シフォンと綾絹。ネックにビーズ刺繍。
森 英恵	イヴニング・ドレス「花の白いドレス」	1981年	白い絹クレープのワンピース・ドレス、絹サテンとビーズのアップリケ。
森 英恵	イヴニング・ドレス	1981年	黒い絹クレープのワンピース・ドレス、絹サテンとビーズのアップリケ。
森 英恵	イヴニング・ドレス「赤い蝶のドレス」	1990年	赤い絹クレープのワンピース・ドレス。
森 英恵	イヴニング・ドレス「蝶を染めたベルベットのドレス」	1996年	ピンク色の絹のワンピース・ドレス。
森 英恵	イヴニング・ドレス「北斎の版画のように、山の風景を染めた絹のドレス」	1996年	墨絵風の柄をプリントした絹シフォン、絹サテンのワンピース・ドレス。
森 英恵	ディ・ドレス	1970年代前半	シルク・シフォンとシルク・サテンに幾何学的な図案をプリント。ワンピース・ドレス。
アリックス・グレ	イヴニング・ドレス	1958年	黒い絹ジャージーのワンピース・ドレス。細かくたたまれたプリーツ。
アンドレ・クレージュ	ブーツ	1960年代後半	白い革、VELCROのファスナー付き。
アンドレ・クレージュ	ジャンプスーツ	1970年	青と白のウール。マンダリン・カラー。茶革のトリミング、折り返しのあるカフス。
アンドレ・クレージュ	イヴニング・ドレス	1970年頃	白いウール地のワンピース・ドレス。裏地は白い絹。
アンドレ・クレージュ	ディ・アンサンブル	1965～1967年	ライムと緑色のチェック地の白いウール地のツーピース・ドレス。裏地はクリーム色の絹。
アンドレ・クレージュ	スーツ、ブーツ、小物(カメラ)	1960年代後半～1970年	フェイクのエナメル(ビニール製)。丈の短いジャケット、ボディ中央とカフスに白いボタン、白いエナメルのロゴ・マーク、ヒップボーンのミニスカート。銀色の革製のブーツ。アクセサリーとして日本製カメラ(ミノルタ製)。
イヴ・サンローラン	カクテル・ドレス、ケープ	1967～1968年	カクテル・ドレスとケープのアンサンブル。ボティスは黄色の絹オーガンザ、ピンク、黄色のパイエット飾り等で刺繍。スカート、ケープには黄色のオストリッチ・フェザー。
イヴ・サンローラン	ディナー・ドレス「夜の音楽」	1956年	ダーク・グレーのシルク・グログラン地。Vネックライン、七分丈のラグラン・スリーブ、トラペーズラインのスカート、4重に重ねたベチコートには、ホース・ヘアー・バンド。
イヴ・サンローラン	イヴニング・スーツ	1967年頃	黒のサテンによりトリミングされた黒いウールのイヴニング・スーツ。
ヴィヴィアン・ウエストウッド	ショール付イヴニング・ドレス「サロン」	1992年	透けた黒のストレッチ素材。共布のショール付き。
ヴィヴィアン・ウエストウッド	イヴニング・ドレス「18世紀スタイル」	1992年	金色の革。ボーンの入ったボティス。皮のスカート。スカーフは白の絹ゴーズ、太陽のモチーフを金色でプリント。プラット・フォーム・シューズは、金色の皮、ヒールには赤のエナメル。
ヴィヴィアン・ウエストウッド	ジャケット、パンツ、シャツ「リパティコレクション」	1994年	グレー、白、赤のタータンのウール。ロング丈のジャケット、ベスト、折り返しのついたパンツ。チェックの綿のシャツ。

作家名	作品名	制作年	材質
ヴィヴィアン・ウエストウッド	ドレス、靴	1990年	黒色絹ベルベットのストレッチ素材のコルセット、パッドの入ったバスル付きガーター風のボトム、17cmヒールのプラット・フォーム・シューズ。
エルザ・スカパレリ	イヴニング・ドレス	1938年	ショッキングピンク地にプリントを施した絹シフォンのワンピース・ドレス。ショッキングピンクのアンダードレス。
エルザ・スカパレリ	水着	1930年代後半	綿とレーヨンの混紡。幾何学模様。ホルターネックブラ。
エルザ・スカパレリ	イヴニング・ドレス	1939年	クリーム色のサテン・シルク。衿はフェイク(衿の形をしたアップリケ・ワーク)。肩にプラスチック・ジップ。
エルメス	水着	1940～1950年代	幾何学的な魚の模様のスパンデックス。ボーン入り。
ガブリエル・シャネル	イヴニング・ドレス	1927年頃	黒の絹シフォンのワンピース・ドレス。バイアスカット。黒の絹のスリッパ。
ガブリエル・シャネル	イヴニング・ドレス	1920年代後半	黒い絹クレープ・デ・シンにシャンティイレース地を重ねたワンピース・ドレス。サテン地のリボン。
クリスチャン・ディオール	ボールガウン	1954年	アイボリーの絹ファイユのストラップレス・ドレス。植物のモチーフをビーズ刺繍。
クリスチャン・ディオール	ボールガウン、ストール、靴	1954年	淡い青地に濃い水玉模様のプリント、絹シフォンのストラップレス・ドレス。襟元にポー飾り。背面にバスル風形状の飾り。共布のストールと靴。
クリスチャン・ディオール	ディ・ドレス	1949年	黒のウール。厚みのある開襟カラー。ジャケットに飾りポケット。巻きスカート。
クリスチャン・ディオール	ディナー・ドレス「カラカス」	1953年	バラのプリント地の絹シフォンのツーピース・ドレス。裏地はピンクの絹オガンザ。内側にはボーンの入ったチュール地とシフォンのコルセット。巻きスカート、シース型のアンダースカート付。
クリスチャン・ディオール	コート	1955年頃	グレーの絹ファイユ地。大きな襟と七分丈のラグラン・スリーブ。後ろは大きくVの字に開きボウ飾り有り。両脇にポケット。背中中央にボックスプリーツ。裏地はグレーの絹。
クリスチャン・ディオール	カクテル・ドレス	1956年	茶の絹タフタ。ウエストにベルト。
クリスチャン・ディオール /イヴ・サンローラン	ディナー・ドレス	1958年	銀の絹サテン、裏地は絹ゴーズ。七分丈のラグラン・スリーブ。幅広い帯風のベルト。ボティスの内側にはチュール地のボーン入りコルセットとガーター。スカートにはチュール地の3段のペチコート。
クリスチャン・ディオール /マルク・ボアン	ディナー・ドレス	1961年	ピーコック・ブルーの絹。裏地は青の絹オーガンザ。七分丈スリーブ。左右が不均等なボレロ風ジャケット。
クリストバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1950～1951年	濃い青の絹タフタのカクテル・ドレスとジャケット。ドレスはホルター・ネック、前面にボタン、バルーンスカート。ジャケットは肩幅の狭いシルエット。ベルト付き。ビーズ付き濃紺の靴。
クリストバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1961年	クリーム色のシフォン。トラベースラインのドレス。
クリストバル・バレンシアガ	ケープ	1946年	黒の絹ファイユ地にホース・ヘアー、銀のスパンコール、人造宝石の刺繍。
クリストバル・バレンシアガ	ドレス	1949年	黒のウールに緑の絹タフタのワンピース・ドレス。
クリストバル・バレンシアガ	コート・ドレス	1958年	淡いグレーのモワレのコート・ドレス。マンダリンカラー。袖には金色に着色した木製釦。アンダースカート付。
クリストバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1957年	黒のシャンティイ・レースの「ベビー・ドールドレス」。黒の絹のスリッパ・ドレス。
クリストバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1957年	黒いバラのモチーフのある白いレース地のワンピース・ドレス「ベビー・ドール・ドレス」。絹シフォンのアンダードレス付。
クレア・マッカーディル	水着	1945年頃	黒色と白色のストライプのジャージー。
ザンドラ・ローズ	フード付きカフタン	1969年	黒、黄、緑で円状の模様がスクリーンプリントされたフード付きカフタン。
ジェームス・ガラノス	パンツ・スーツ	1970年	アイボリーのケミカル・レース。ジャケット、ベスト、ファスナー付きフレア・ボトムのパンツ。
シャルル＝フレデリック・ウォルト	ボールガウン	1897年	アイボリーの絹サテン、ジゴ袖のツーピース・ドレス。金糸で刺繍の施されたベージュのラム、ボティスとスカートに稲妻と雲のデザイン。雲のデザインの薄い青色のトレーン。
ジャン＝フィリップ・ウォルト	ウェディング・ドレス	1916年	さまざまな種類のブリュッセル・レースを組み合わせたドレス。
ジャンヌ・ランバン	イヴニング・ドレス	1928年	黒の絹チュールのワンピース・ドレス。ボティスとスカート上部に金銀のスパンコールなどによる刺繍。
ジャンヌ・ランバン	ドレス	1936年	黒の絹クレープのワンピース・ドレス。袖に白いフェルト地のアップリケ・ワーク。バイアスカット。
ジルベルト・エイドリアン	ディ・ドレス	1940年代	赤茶と緑の玉虫色のウール。肩パッド付きのジャケット。スリットのあるタイト・スカート。
スザンヌ・タルボット	イヴニング・コート	1925年頃	黒い絹の薔薇型コート。椰子の葉と花々を刺繍したテキスタイル。黒の毛皮のトリミング。裏地は黒のベルベット。
ステーンブラザーズ	レセプション・ドレス	1900～1905年頃	黒いネット・レース、アイボリーの絹サテン、絹シフォン、絹タフタを重ねている。S字ライン。
ダゴベルト・ベッヒエ	カフタン	1919年頃	絹に色を濃淡にぼかした縞模様プリント「レインボー」。
ダゴベルト・ベッヒエ	ネック・バンド	1919年頃	ビーズ。
ダゴベルト・ベッヒエ	テーブルセンター	1919～1920年	絹。チュールにアップリケ。
チャールズ・ジェームス	ディナー・ドレス「スパイラルドレス」	1951年	ルビー・レッドの絹ファイユ。スカートにくるみ釦、ファスナー。
ニナ・リッチ	イヴニング・ドレス	1948年	紺と白の絹。開襟カラー。両肩下にポケットのある短いマント風ジャケット。前面にくるみ釦。クリノリン型のスカート。チュール・ネットの下着付き。
ハーバート・レヴィン	靴「カブキ・シューズ」	1964年	青色ベルベット。木製ソールは金色にペイント。

作家名	作品名	制作年	材質
バーバラ・フラニッキー ／ビバ	パンツ・スーツ	1970年	「サンダーソン」社製テキスタイルのテーラード・ジャケット、ヒップ・ボーンの花柄・パンツ。
バーバラ・フラニッキー ／ビバ	パンツ・スーツ	1970年頃	ト音記号をプリントしたウールと綿のニットでできた、テーラードジャケット、ヒップボーンの花柄・パンツ。
パコ・ラバヌ	イヴニング・ドレス	1966年	銀色のアルミニウム板を真鍮の金具でつなぎ合わせたミニ・ドレス。
ピエール・バルマン	イヴニング・ドレス	1955年頃	黒の絹ベルベットと絹ファイユ地。後ろ身頃にファスナー、その上にくるみ釦飾り付き。チュール地とホースヘアを6段に重ねたオリジナルのベチコート付き。
ビバ	スーツ	1970年	「サンダーソン」社製テキスタイルのテーラード・ジャケット、ヒップボーンの花柄・パンツ。
ベス・レヴィン	サンダル「ネイキッド・シューズ」	1960年代	革製サンダル。プラスチック製のシダのモチーフのデコレーション。
ポール・ボワレ	イヴニング・ドレス	1913年	黄色の絹ゴーズとプリーツのあるグリーン・シフォン地。銀ブレードの縁飾り、バンド部分にペイズリー模様を銀糸やスパンゲルで刺繍。裏地はライム・グリーン・絹シフォン。
ポール・ボワレ	ドレス	1920年代後半	シュミーズ風赤紫色の絹クレープ・デ・シンのワンピース・ドレスに、藤色と紫色のプリーツのあるオーバードレス。前身頃とウエストに、オリエンタル風モチーフを刺繍。
ポール・ボワレ	「ガーデン・パーティ・ドレス」	1911年	アイボリー色のオーガンジー。ボディとスカート裾に花卉の形をアップリケ、中央のバラはステンシルによるペイント。裏地の裾に黒色の絹ベルベット。
ポール・ボワレ	ドライブ用コート	1910年頃	アイボリー色のシャンタン絹地。Aライン、ラグランスリーブ、丸襟、骨のボタン。
ポール・ボワレ	ディ・ドレス	1925年	絹グログラン地に海辺のシーンをプリント。Vネックの襟元、ロウ・ウエスト。
ポール・ボワレ	ディ・ドレス「ブリトヌ」	1921年	紺色のウール、青緑色のベルベット地、中国風の刺繍が施された長い袖、ボディの中央にフックファスナー、ウエスト前部にゴム。
ポール・ボワレ	カフタン・コート「イスファハン」	1908年	緑色の絹サテン、裏地には茶色の絹サテン、中東風の模様をゴールド・ギルド糸刺繍。袖の縁取りに使われた紐にはタッスル飾り付き。
マックス・スニシェク	ドレス、テキスタイル「バイエル」	1928年頃	絹にプリント。ウエストに二つのポケット。黒の絹の縁。
マックス・スニシェク	ドレス、テキスタイル「エロス」	1926年頃	絹にプリント。襟元にヒダ飾りのついたスクエアのネックライン。伸縮性のある袖口。2つのポケット。
マックス・スニシェク	ドレス、テキスタイル「ゼレニカ」	1929年	絹にプリント。濃い青の絹で縁取られたウエストまで届くV字の襟。袖も青の絹で縁取り。
マドレーヌ・ヴィオネ	ディ・ドレス	1920年頃	黒の絹クレープのワンピース・ドレス。ボートネック、ラグラン・スリーブ、プリーツスカート。
マドレーヌ・ヴィオネ	ディ・ドレス	1934年頃	赤緋色のクレープ。ワンピース・ドレス。バイアス・カット。
マドレーヌ・ヴィオネ	イヴニング・ドレス、スリッパ、ストール	1938年	黒いチュール地に金色のぶどうのモチーフのワンピース・ドレス。サーキュラー・スカート。ホルター・ネック。黒い絹サテンのアンダー・ドレス付。黒いチュールのストール。
マドレーヌ・ヴィオネ	イヴニング・ドレス	1938年	ドレスとアンダー・ドレスの2ピース。ピンクのシルク・シフォン地のオーバー・ドレス、シフォンと絹地のアンダー・ドレス。
マリア・モナチ・ガレンガ	ティーガウン	1910年代	赤茶色の絹ベルベット地、直線断ちのドレス、ロング・スリーブ、肩にヴェネツィアンビーズ。ドレスに鳥と植物模様、袖に幾何学模様が金でステンシルワーク。
マリア・リカルツ	バッグ	1919年	ビーズ・ワーク。
マリアノ・フォルチュニ	コート	1912年以降	深緑と錆赤のベルベットにピンクと金色でプリント。金でルネサンス風文様がプリントされた錆赤のベルベットでトリミング。錆赤のロングタイ。絹のライニング。
マリアノ・フォルチュニ	チュニック「タバード」	1910年代	透けた黒の絹ゴーズ。金色のステンシル・ワーク。脇、裾にトンボ玉付き。
マリアノ・フォルチュニ	プリーツ・ドレス「デルフォス」	1910年代	白の絹サテンのワンピース・ドレス。不規則な細かいプリーツ。アーム・ホール、脇にトンボ玉付き。ベージュと赤銅色の飾りヒモ付き。
マリアノ・フォルチュニ	プリーツ・ドレス「デルフォス」	1910年代	赤の絹サテンのワンピース・ドレス。不規則な細かいプリーツ。アーム・ホール、脇にトンボ玉付き。
メンブーシェ	イヴニング・ドレス	1940年	黒の絹クレープ。背中に深いVカット。ラグラン・スリーブ。
リバティ商会	コート		青色の絹ベルベット。ライニングは絹のシルバー・ラメ。フロントにくるみボタン、襟に絹製の紐、裾に長いタッスル飾り。
リバティ商会	ティーガウン	1908年	ブルーグレーのクレープ。茶がかったグレーの絹シフォンでトリミング。襟に中国風刺繍。
リバティ商会	バッグ	1910年代	異国風のモチーフのニードルワーク、緑色の絹地のライニング。
ルディ・ガンライヒ	ミニ・ドレス、ピキニス、ブーツ	1967年	ピンクのウール・ニット。ビニールのインサージョン。ブーツにも同様のビニールのインサージョン。
ルディ・ガンライヒ	ミニ・ドレス、ピキニス、ブーツ	1967年	ライム・グリーン・ウール・ニット。ビニールのインサージョン。ブーツにも同様のビニールのインサージョン。
ルディ・ガンライヒ	パンツ・スーツ	1960年代後半	ライム・グリーンとブルーのジグザグパターン・ウール。ボタン付きベルト。
ルディ・ガンライヒ	水着「モノキニ」	1964年	ヘリングボーンパターンのウール、綿、ラバーの混紡。

作家名	作品名	制作年	材質
レドファン	コート	1920年代	金糸を織り込んだ黒い絹。シダ植物と花の模様が交差するパターン。襟元と袖に毛皮。袖はカフタン風。裏地はベージュの絹ベルベット。
作者不詳	ペーパー・ドレス「スーパードレス」	1966年頃	「キャンベル・スーパ・カン」のプリントを施したセルロースと綿の不織布。
作者不詳	ビーチ・ウェア	1910～1920年代	白色の絹ボンジー。袖無しのボディス、パンツ。
作者不詳	アフタヌーン・ドレス	1900年頃	ホワイト・コットン・オーガンジー、全体に水玉の織りがある薄手の綿と花柄刺繍、大きくふくらんだ袖、トレーンを引くスカート。
作者不詳	女性用乗馬服	1888年頃	ダーク・グリーンのウール。ジャケット、パンツ、サイド・サドル・スカート。
作者不詳	女性用乗馬服	1890年頃	グレーのツイード。ジャケット、パンツ、サイド・サドル・スカート。
作者不詳	女性用サイクリング・ウェア	1910年代	茶色のウール。ジャケット、パンツ。
作者不詳	女性用乗馬服	1920年代	茶色のウール。ジャケット、パンツ。
作者不詳	女性用乗馬服	1930年代後半	青色のウール。ジャケット、ジョッパーズのパンツ。
作者不詳	女性用サイクリング・ウェア	1900年頃	紺色のウール。ジャケット、ブルーマー、カラー。ルースなブラウス風のボディス、セーラー・カラー、カフス付の長い袖、隠れた釦ファスナー。
作者不詳	水浴着	1905～1910年頃	濃紺のウール。上着、ブルーマー、スカート。
作者不詳	水着	1920年頃	青色と赤色のストライプのウールニット。右肩に釦ファスナー。
作者不詳	プレイスーツ	1920年代初頭	綿にプリント。ジャケット、パンツ。
作者不詳	水着	1920年代	青、黒、白のストライプのウールのニット。
作者不詳	テニス・ウェア	1926年頃	白色綿。Vネック、ノースリーブ、肩2本ダーツ。
作者不詳	スキー・スーツ	1940年代	ウールとナイロンの混紡のジャンプスーツ。
作者不詳	ネックレス	1920年頃	ピンク、緑、銀色のストライプと小花模様のビーズ・ワーク。両端にタッスルの飾り。
作者不詳	イヴニング用シューズ	1920年頃	花のモチーフを銀糸をつかいプロケード織り。
作者不詳	海水浴用シューズ	1920年頃	セージ・グリーンゴム製。銀色にペイントされた羽根模様。
作者不詳	プレスレット	1930年頃	銀。
作者不詳	アフタヌーン・ドレス	1900年頃	ホワイト・コットン・オーガンジー、全体に水玉の織りがある薄手の綿と花柄刺繍、大きくふくらんだ袖、トレーンを引くスカート。

## テキスタイル

作家名	作品名	制作年	技法、素材	サイズ(cm)
ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル 46点	1912～1928年		
マリア・モナチ・ガレンガ	テキスタイル	1913年頃	ステンシル、絹ベルベット	290.0×307.0
マリア・モナチ・ガレンガ	テキスタイル	1920年頃	ステンシル、絹ベルベット	356.0×356.0
	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル 14点	1922～1930年代		
ダゴベルト・ベッヒエ	「ヴンダーバウム」	1911～16年	プリント、絹	90.0×70.0
フェリス・リックス＝ウエノ	「クレムリン」	1929年	プリント、絹	74.0×94.0

## テキスタイル・デザイン

作家名	作品名	制作年	技法、素材
ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン 68点	1912～1928年	水彩、紙
	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル・デザイン 74点	1922～1930年代	水彩、紙

## ファッション雑誌、書籍

書名	出版年	サイズ(cm)	備考
『20世紀現代産業装飾芸術百科事典』	1925年	各28.3×23.2	全12冊
『フェミナ』	1904～34年	各35.0×28.2	88冊、欠号あり
『レ・モード』	1901～13年	各35.5×27.0	1～156号合本
『アール・ゲー・ポータ』	1922～33年	各31.4×24.0	40冊、欠号あり
『婦人グラフ』	1924～28年	各32.8×24.4	25冊、欠号あり

## 寄 贈

	分類	作家名	作品名	制作年	技法・材質・形状	サイズ(cm)
1	資料	須田 国太郎	素描《大濱》	1950年頃	鉛筆、紙	28.5×42.0
2	資料	須田 国太郎	素描《源平布引瀧の図》	制作年不詳	鉛筆、紙	25.5×34.5
3	資料	須田 国太郎	素描《南座 羽左の実盛》	制作年不詳	鉛筆、紙	27.0×36.0
4	資料	須田 国太郎	素描《将棋の図1》	制作年不詳	鉛筆、紙	27.0×36.0
5	資料	須田 国太郎	素描《将棋の図2》	制作年不詳	鉛筆、紙	24.5×35.5
6	油彩画	山中 徳次	《木部海岸(大谷)》	1936年頃	油彩、板	24.5×33.0
7	服飾	森 英恵	イヴニング・ドレス「蒔絵を思わせる赤いサテンのイヴニング・ドレス」	1994年秋冬	刺繍とプリントで秋草をあしらった赤い絹サテンのロングドレス。	
8	服飾	森 英恵	イヴニング・ドレス「りんごの花のドレス」	1998年春夏	りんごの花をプリントしたシフォンのロングドレス。マーメイドライン。スパングルを用いた刺繍。	
9	服飾	森 英恵	イヴニング・ドレス「コーラル色の花を縫いとったレースのドレス」	1998年秋冬	チュール地に珊瑚色の花を刺繍した、ワンショルダーのロングドレス。	
10	服飾	森 英恵	カクテル・スーツ「プリーツをあしらったウールのスーツ」	2001年春夏	白いウールのジャケット、背中にプリーツ飾り。飾りピン付き。白いウールのアコーディオンプリーツのスカート。	
11	服飾	森 英恵	「浮世絵のジャケットとリボンで編んだスカート」	2001年秋冬	絹シフォンに浮世絵をプリントし、人物柄をビーズ刺繍したジャケット。裾は切りっぱなし。緑、ピンク、茶のリボンを格子に編んだフレアスカート。	
12	服飾	森 英恵	「黒い羽根を縫いとったロイヤルブルーのスーツ」	2002年秋冬	バラがプリントされた青色絹サテンのジャケットと膝丈のスカート。襟元、袖さき、背に黒い羽根の縫い取り刺繍。	
13	服飾	森 英恵	カクテル・ドレス「レースのドレスに軽いボレロ」	2004年春夏	黒い絹サテンとリバーレースでできたショートドレス。胸元に小花のラメ飾り。ビーズとスパングルを用いた刺繍。チュール地に格子状の黒いテープで螺旋状に刺繍したボレロ。	
14	服飾	森 英恵	カクテル・ドレス「銀色のアンサンブル」	2004年春夏	銀色バラ柄のレースでできたボレロ。ラメジャージでできたショートドレス。裾と胸元にはボレロと同じレース飾り。	
15	服飾	森 英恵	イヴニング・ドレス「墨絵にオレンジ色の花を添えたシフォンのドレス」	2004年春夏	三種の絹シフォンを組み合わせたロングドレス。腰にモザイク状のベルト飾り。	
16	服飾	森 英恵	イヴニング・ドレス「蝶とタイガーと波をそめた白い絹のドレス」	2004年春夏	蝶と虎と波をプリントした絹シフォンのロングドレス。裾と袖口に同布で刺繍、蝶と虎にはスパンコール刺繍。	

展覧会名、会場、会期	作家名、作品名
「百花繚乱 女性の情景展—生きて行く私」 横須賀美術館 平成24年9月15日～10月21日	菊池華秋《雪晴》 菊池隆志《室内》 『婦人グラフ』2巻2号 『婦人グラフ』3巻2号 『婦人グラフ』3巻4号
「日本の水彩画—記録・記憶・構想・夢想—」展 下関市立美術館 平成25年2月7日～3月17日	五百城文哉《富士図》 大下藤次郎《つり》 大下藤次郎《越ヶ谷の春色》 大下藤次郎《峠の木》 大下藤次郎《雲の観察(明治33年11月21日朝 東)》 大下藤次郎《雲の観察(明治33年12月5日 西南方)》 大下藤次郎《寄居》 大下藤次郎《天ヶ瀬》 大下藤次郎《富士を望む》 大下藤次郎《絵葉書アルバム》
「京都国立近代美術館 開館50周年記念特別展 交差する表現 —工芸/デザイン/総合芸術」展 京都国立近代美術館 平成25年3月16日～5月6日	マリヤ・リカルツ《無題(青いドレスに青い帽子、赤い星印の上に立つ女)》 マリヤ・リカルツ《無題(扇をもつピンクのドレスを着た女性)》 ダゴベルト・ベッヒェ《カフタン、テキスタイル「レインボー」》

## 入館者数一覧・パスポート会員数一覧

### 1. 入場者数

	グラントワ入場者数	美術館			美術館合計	ホール			ホール合計
		企画展	コレクション展	その他		大ホール	小ホール	その他	
4月	27,608	1,387	2,013	80	3,480	5,171	1,184	2,230	8,585
5月	31,703	3,745	3,696	65	7,506	2,261	2,532	9,842	14,635
6月	28,012	879	1,824	1,442	4,145	6,161	3,709	2,293	12,163
7月	33,300	2,727	2,893	493	6,113	7,407	2,997	3,464	13,868
8月	29,638	4,073	3,913	346	8,332	5,848	1,628	4,461	11,937
9月	29,556	4,349	4,434	240	9,023	8,027	3,737	5,954	17,718
10月	30,767	7,147	7,285	0	14,432	4,131	3,041	8,693	15,865
11月	33,167	5,683	5,645	230	11,558	8,079	2,609	5,424	16,112
12月	23,566	732	1,844	1,910	4,486	4,542	2,470	3,053	10,065
1月	32,406	4,590	4,162	0	8,752	3,536	4,955	2,094	10,585
2月	26,817	6,137	5,737	114	11,988	2,926	3,010	2,179	8,115
3月	22,998	0	1,159	1,030	2,189	2,852	2,193	2,951	7,996
合計	349,538	41,449	44,605	5,950	92,004	60,941	34,065	52,638	147,644

### 2. 観覧者数

	企画展							
	前売券	当日券				ミュージアム パスポート	招待券	小計
		個人	割引券	団体・割引	無料券			
4月	33	268	8	236	151	463	228	1,387
5月	170	829	18	327	434	1,398	569	3,745
6月	52	139	1	23	39	315	310	879
7月	91	1,080	50	288	138	723	357	2,727
8月	187	1,781	83	289	319	1,050	364	4,073
9月	209	1,336	104	493	758	953	496	4,349
10月	227	1,081	32	221	3,917	1,075	594	7,147
11月	269	2,094	67	370	622	1,207	1,054	5,683
12月	16	159	6	59	58	274	160	732
1月	253	1,537	153	338	392	1,373	544	4,590
2月	298	2,523	158	492	501	1,314	851	6,137
3月	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1,805	12,827	680	3,136	7,329	10,145	5,527	41,449

	コレクション展							
	前売券	当日券				ミュージアム パスポート	招待券	小計
		別納券	個人	団体・割引	無料券			
4月	33	6	249	23	182	796	16	1,305
5月	170	0	55	4	434	1,398	569	2,630
6月	52	25	200	37	257	720	341	1,632
7月	91	0	78	12	188	907	359	1,635
8月	187	1	52	7	319	1,050	364	1,980
9月	209	1	216	39	777	1,058	498	2,798
10月	227	1	124	47	3,925	1,136	597	6,057
11月	269	1	81	23	625	1,252	1,056	3,307
12月	16	10	530	60	166	646	222	1,650
1月	253	0	8	0	392	1,373	544	2,570
2月	298	0	108	7	549	1,498	867	3,327
3月	0	1	329	35	123	621	50	1,159
合計	1,805	46	2,030	294	7,937	12,455	5,483	30,050

### 3. 企画展観覧者数

名称	会期	日数	観覧者数
鏗木清方と明治・対象・昭和の美人画	平成24年4月21日～6月4日	39	6,011
巨匠たちの英国水彩画	平成24年7月14日～9月24日	63	11,149
東京藝大美術館所蔵 日本近代美術の名品展	平成24年10月6日～11月26日	45	12,830
ヨーロッパの近代美術	平成24年12月22日～平成25年2月18日	47	11,459
合計			41,449

### 4. パスポート会員数一覧

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1,952	1,958	1,917	1,913	1,896	1,893	1,894	1,889	1,873	1,892	1,907	1,908

## 収支概要

## ■収支概要

## (1) 支出予算

単位：千円

センター運営費	23,172
指定管理委託費	321,810
展覧会事業費	57,393
企画展示費	45,916
常設展示費	1,625
特別コレクション展示費	2,024
神々の国プロジェクト企画展示費(H25準備費)	7,828
教育普及費	950
教育普及(誘客促進)費	359
調査研究費	784
情報提供事業費	1,048
美術品保存修復事業費	256
神在乃国しまね神楽事業費業費	1,300
センター利用促進事業費	1,000
合 計	408,072

※2月補正額

## (2) 収入実績

単位：千円

企画展	12,441
常設展	2,051
パスポート	4,742
目的外使用料	3,100
合 計	22,334

※図録販売収入など雑入は含まず

島根県芸術文化センター条例をここに公布する。

島根県芸術文化センター条例

(趣旨)

第1条 この条例は、島根県芸術文化センターの設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 多様で質の高い美術、音楽、演劇その他の芸術文化の鑑賞及び創造の機会を提供し、もって芸術文化の振興及び県民生活の向上を図るため、島根県芸術文化センター（以下「センター」という。）を益田市に設置する。

2 センターは、次に掲げる施設をもって構成する。

- (1) 島根県立石見美術館（以下「美術館」という。）
- (2) 島根県立いわみ芸術劇場（以下「芸術劇場」という。）

(業務)

第3条 センターは、次に掲げる業務を行う。

- (1) 美術品及び美術に関する資料（以下「美術品等」という。）の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 美術に関する教育及び普及並びに調査研究に関すること。
- (3) センターの施設及び設備（以下「施設等」という。）で別表第1に掲げるもの（以下「有料施設等」という。）を一般の利用に供すること。
- (4) 音楽、演劇その他の鑑賞を目的とした事業に関すること。
- (5) 芸術文化に関する情報の収集及び提供に関すること。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、センターの目的を達成するために必要な業務に関すること。

(職員)

第4条 センターに、センター長その他の職員を置く。

(指定管理者による管理)

第5条 センターの管理は、法人その他の団体であって、知事及び教育委員会（以下「知事等」という。）が指定するもの（以下「指定管理者」という。）にこれを行わせるものとする。

(指定管理者が行う業務)

第6条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 有料施設等の利用の許可に関する業務
- (2) 美術館の観覧料の徴収に関する業務
- (3) 施設等の維持管理に関する業務
- (4) センターを利用した第3条第4号及び第5号の業務
- (5) 前各号に掲げるもののほか、センターの運営に関する事務のうち、知事等が必要と認める業務

(指定管理者の指定の申請等)

第7条 知事等は、指定管理者を指定しようとするときは、特別の事情があると認める場合を除き、公募するものとする。

2 第5条の規定による指定を受けようとするものは、申請書に事業計画書その他規則及び教育委員会規則（以下「規則等」という。）で定める書類を添付して、知事等が定める期日までに知事等に提出しなければならない。

(指定管理者の指定)

第8条 知事等は、次の各号に掲げる基準をいずれも満たすもののうち、センターの管理を行わせるのに最も適した団体を候補者として選定し、議会の議決を経て指定管理者を指定するものとする。

- (1) 事業計画書の内容が、住民の平等な利用が図られるものであること及びサービスの向上が図られるものであること。
- (2) 事業計画書の内容が、複合施設としてのセンターの効用を最大限に発揮させるものであること。
- (3) 事業計画書の内容が、施設等の適切な維持管理を図ることができるものであること及び管理に係る経費の縮減が図られるものであること。
- (4) 当該団体が、事業計画書に沿った管理を安定して行う財政的基礎及び人的能力を有するものであること。

(事業報告書の作成及び提出)

第9条 指定管理者は、規則等で定める日までに、センターの管理の業務に関し、規則等で定める内容を記載した事業報告書を作成し、知事等に提出しなければならない。

(業務報告の聴取等)

第10条 知事又は教育委員会は、センターの管理の適正を期するため、指定管理者に対し、その管理の業務又は経理の状況に関し定期に又は必要に応じて臨時に報告を求め、実地に調査し、又は必要な指示をすることができる。

(指定の取消し等)

第11条 指定管理者が前条の指示に従わないとき、その他指定管理者の責めに帰すべき事由により当該指定管理者による管理を継続することができないと認めるときは、知事等はその指定を取り消し、若しくは期間を定めて管理の業務の全部の停止を命じ、又は知事若しくは教育委員会は期間を定めて管理の業務の一部の停止を命ずることができる。

2 前項の規定により指定管理者の指定が取り消され新たな指定管理者がセンターの管理を行うまでの期間又は指定管理者が管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられた期間におけるセンターの管理は、必要に応じて知事又は教育委員会が行うものとする。この場合において、次条から第18条まで、第23条及び第24条の規定中指定管理者の権限とされているものについては、知事又は教育委員会の権限とする。

3 第1項の規定により指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じた場合において指定管理者に損害が生じても、知事等はその賠償の責めを負わない。

(開館時間等)

第12条 センターの開館時間は、午前9時から午後10時までとする。

2 センターの利用時間は、次の各号に掲げる施設の区分に応じ、当該各号に定めるところによる。

- (1) 美術館 午前9時から午後5時30分まで
- (2) 芸術劇場 午前9時から午後10時まで

3 前2項の規定にかかわらず、指定管理者は、必要があると認めるときは、知事又は教育委員会の承認を受けて、開館時間又は利用時間を変更することができる。

(休館日)

第13条 センターの休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者は、必要があると認めるときは、知事又は教育委員会の承認を受けて、これを変更することができる。

- (1) 毎月第2火曜日及び第4火曜日（美術館にあっては、毎週火曜日）
- (2) 12月30日から翌年の1月3日まで

2 前項第1号の規定にかかわらず、同号に規定する日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日当たるときは、その翌日以降の最初の休日でない日を休館日とする。

(平17条例39・一部改正)

(利用の許可等)

第14条 有料施設等を利用しようとする者は、指定管理者の許可を受けなければならない。許可に係る事項を変更しようとするときも、同様とする。

2 指定管理者は、有料施設等の利用の目的、方法等が次の各号のいずれかに該当するときは、前項の許可をしないものとする。

- (1) 公の秩序又は善良の風俗に反するおそれがあると認められるとき。
- (2) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団の財産上の利益になるおそれがあると認められるとき。
- (3) 長期間にわたる継続利用により他の利用を妨げるおそれがあると認められるとき。
- (4) センターの施設又は設備を損壊するおそれがあると認められるとき。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、センターの管理に支障があると認められるとき又は規則で定める事由に該当すると認められるとき。

3 指定管理者は、センターの管理上必要があると認めるときは、第1項の許可に条件を付することができる。

(許可の取消し等)

第15条 指定管理者は、前条第1項の許可を受けた者（以下「利用者」という。）が、次の各号のいずれかに該当するとき、又は天災地変その他センターの管理上特に必要があるときは、許可を取り消し、同条第3項の規定により許可に付した条件を変更し、又は利用の中止を命ずることができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則等の規定に違反したとき。
- (2) 前条第3項の規定により許可に付した条件に違反したとき。
- (3) 偽りその他不正の手段により許可を受けたとき。

(利用料金)

第16条 利用者は、有料施設等の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を指定管理者に支払わなければならない。

2 利用料金は、指定管理者が認めた場合を除き、第14条第1項の許可をするときに徴収する。

3 利用料金は、指定管理者にその収入として収受させる。

4 利用料金は、別表第1に掲げる基準額に0.8を乗じて得た額から当該基準額に1.2を乗じて得た額までの範囲内の額で、指定管理者が知事の承認を受けて定める額とする。

(利用料金の減免)

第17条 指定管理者は、公益上特に必要があると認めるときは、利用料金を減免することができる。

(利用料金の不還付)

第18条 既に納入された利用料金は、還付しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、指定管理者は、利用料金の全部又は一部を還付することができる。

- (1) 利用者が、その責めに帰することができない理由により有料施設等を利用することができなくなったとき。
- (2) 指定管理者が、センターの管理上特に必要があるため第15条の規定により利用の許可を取り消したとき。
- (3) 利用者が、利用開始の前で指定管理者が定める日までに利用の中止を申し出たとき。

(利用権の譲渡等の禁止)

第19条 利用者は、有料施設等の利用の権利を他人に譲渡し、又は転貸してはならない。

(観覧料)

第20条 美術館に展示する美術品等を観覧しようとする者（次に掲げる者を除く。）は、別表第2又は別表第3に定める観覧料を納付しなければならない。

- (1) 未就学児
- (2) 常設展（常設展示室における展示をいう。以下同じ。）を観覧しようとする小学校の児童並びに中学校及び高等学校の生徒並びにこれらに準ずる者

## (観覧料の減免)

第21条 教育委員会は、公益上特に必要があると認めるときは、観覧料を減免することができる。

## (観覧料の不還付)

第22条 既に納付された観覧料は、還付しない。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、この限りでない。

## (指定管理者の指示)

第23条 指定管理者は、センターの管理上必要があると認めるときは、センターを利用する者に対し、当該利用する者が遵守すべき事項に関し必要な指示をすることができる。

## (入館の制限)

第24条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、センターへの入館を拒否し、又はセンターからの退去を命ずることができる。

- (1) センターの施設若しくは設備又は美術館に展示する美術品若しくは美術に関する資料を損壊するおそれがある者
- (2) 他人に危害を加え、又は迷惑になる行為をする者
- (3) 前2号に掲げる者のほか、センターの管理上支障があると認められる者

## (損害賠償)

第25条 指定管理者又はセンターを利用する者は、故意又は過失により、センターの施設若しくは設備又は美術館に展示する美術品若しくは美術に関する資料を損壊し、又は滅失したときは、これによって生じた損害を賠償しなければならない。

## (秘密保持義務)

第26条 指定管理者若しくは指定管理者であったもの又は第6条の業務に従事している者若しくは従事していた者は、その業務に関して知り得た管理上の秘密をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に利用してはならない。

## (原状回復義務)

第27条 指定管理者は、その指定の期間が満了したとき、又は第11条第1項の規定により指定を取り消され、若しくは期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられたときは、その管理をしなくなった施設等を速やかに原状に回復しなければならない。ただし、知事又は教育委員会の承認を受けたときは、この限りでない。

2 利用者は、有料施設等の利用が終わったとき、又は第15条の規定により許可を取り消され、若しくは利用の中止を命ぜられたときは、その利用した有料施設等を原状に復し、又は搬入した物件を撤去しなければならない。

## (センター協議会)

第28条 センターにセンター協議会（以下「協議会」という。）を置く。

- 2 協議会は、センターの運営に関しセンター長の諮問に応ずるとともに、センター長に対して意見を述べる機関とする。
- 3 協議会の委員（以下「委員」という。）の定数は、15人以内とする。
- 4 委員の任期は、2年とする。ただし、欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

## (委任)

第29条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則等で定める。

## (罰則)

第30条 知事は、詐欺その他不正の行為により、観覧料の徴収を免れた者については、その徴収を免れた金額の5倍に相当する金額（当該5倍に相当する金額が5万円を超えないときは、5万円とする。）以下の過料を科することができる。

## 附 則

## (施行期日)

1 この条例は、平成17年4月1日から施行する。ただし、次項及び附則第3項の規定は、公布の日から施行する。

## (準備行為)

- 2 第8条に規定する指定及びこれに関し必要なその他の行為は、この条例の施行前においても第7条の規定の例により行うことができる。
- 3 センターの供用開始の日以後の利用に係る有料施設等の利用の許可に関し必要な準備行為は、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）前においても行うことができる。

## (供用開始)

4 センターは、知事が別に定める日から供用を開始する。

(知事が別に定める日＝平成17年10月8日)

## (経過措置)

5 施行日から前項に規定する供用を開始する日までの間は、第12条、第13条及び第28条の規定は、適用しない。

## 附 則（平成17年条例第39号）

この条例は、平成18年4月1日から施行する。ただし、第2条の規定は、公布の日から施行する。

## 別表第1（第3条関係）

## 1 施設の基準額

## (1) 大ホール等

区分			基準額					
			午前9時から 正午まで	午後1時から 午後5時まで	午後6時から 午後10時まで	午前9時から 午後5時まで	午後1時から 午後10時まで	午前9時から 午後10時まで
大ホール	1階席 及び 2階席	平日	円 30,640	円 40,860	円 51,070	円 61,290	円 81,720	円 102,150
		土、日曜日 及び休日	36,760	49,030	61,280	73,540	98,060	122,580
	1階席	平日	20,430	27,240	34,050	40,860	54,480	68,100
		土、日曜日 及び休日	24,510	32,680	40,860	49,030	65,370	81,720
小ホール	平日	8,170	10,890	13,620	16,340	21,790	27,240	
	土、日曜日 及び休日	9,800	13,060	16,340	19,600	26,140	32,680	
スタジオ1			4,620	6,160	7,700	9,240	12,320	15,410
スタジオ2			950	1,270	1,590	1,900	2,540	3,180
大ホール大楽屋1			2,070	2,760	3,460	4,150	5,530	6,920
大ホール大楽屋2			2,070	2,760	3,460	4,150	5,530	6,920
大ホール中楽屋1			830	1,110	1,390	1,660	2,220	2,780
大ホール中楽屋2			830	1,110	1,390	1,660	2,220	2,780
大ホール中楽屋3			830	1,110	1,390	1,660	2,220	2,780
大ホール中楽屋4			830	1,110	1,390	1,660	2,220	2,780
大ホール小楽屋1			580	780	970	1,170	1,560	1,950
大ホール小楽屋2			580	780	970	1,170	1,560	1,950
小ホール中楽屋1			760	1,010	1,270	1,520	2,030	2,540
小ホール中楽屋2			760	1,010	1,270	1,520	2,030	2,540
小ホール小楽屋1			580	780	970	1,170	1,560	1,950
小ホール小楽屋2			580	780	970	1,170	1,560	1,950
多目的ギャラリー			3,830	5,110	6,390	7,670	10,220	12,780

## 備考

- 1 入場料その他これに類する料金（以下「入場料」という。）を徴収して大ホール又は小ホールを利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に、次に掲げる入場料の額（入場料の額に2以上の区分があるときは、そのうちの最高額）の区分に応じた額を加算した額とする。
  - ア 3,000円以下のもの 10割相当額（徴収する入場料の額が1,000円以下で、かつ、営利を目的としない場合にあっては、5割相当額）
  - イ 3,000円を超え、5,000円以下のもの 15割相当額
  - ウ 5,000円を超えるもの 20割相当額
- 2 入場料を徴収しないが営利を目的として、大ホール又は小ホールを利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に10割相当額を加算した額とし、入場料を徴収し、又は入場料を徴収しないが営利を目的としてスタジオ1、スタジオ2又は多目的ギャラリーを利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に5割相当額を加算した額とする。
- 3 楽屋を他の用途に利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に5割相当額を加算した額とする。
- 4 この表に定める利用時間を超えて利用する場合の基準額は、この表に定める基準額（前3号の規定により加算した場合は、その加算した額を含む。）に、1時間までごとに、当該基準額の1時間当たりの額を加算した額とする。
- 5 大ホール、小ホール、スタジオ1、スタジオ2又は多目的ギャラリーを準備のために利用する場合の基準額は、この表に定める基準額（備考第1号若しくは第2号又は前号の規定により加算した場合は、その加算した額を含む。）の5割相当額とする。
- 6 冷暖房期間（11月1日から翌年の3月31日まで及び6月1日から9月30日までの間をいう。）において冷暖房料を徴収する場合の基準額は、この表に定める基準額（前各号の規定により加算した場合は、その加算した額を含む。）の3割相当額とする。

- 7 休日とは、国民の祝日に関する法律に規定する休日をいう（(2)の表において同じ。）。
- 8 備考第1号から第6号までにおいて算出した額に10円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てる。

(2) その他

区分	単位	基準額
屋外施設	1平方メートルにつき1日までごと	7円

備考

- 1 「屋外施設」とは、前庭広場、中庭広場及び駐車場をいう。
- 2 屋外施設は、知事が定める用途に限り、利用することができる。
- 3 屋外施設を日曜日、土曜日又は休日に利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に2割相当額を加算した額とする。
- 4 「1日」とは、午前9時から午後10時までをいう。

2 設備の基準額

種別	単位	基準額
舞台大道具及び小道具	1回1点につき	知事が定める額
舞台関係設備	1回1点につき	知事が定める額
音響関係設備	1回1点につき	知事が定める額
楽器	1回1点につき	知事が定める額
映写機	1回1点につき	知事が定める額
その他設備器具	1回1点につき	知事が定める額

備考 「1回」とは、午前9時から正午まで、午後1時から午後5時まで又は午後6時から午後10時までのそれぞれの時間帯における利用をいう。

別表第2（第20条関係）

区分		観覧料の額（1人1回につき）	
		個人の場合	団体（20人以上の場合をいう。）の場合その他教育委員会規則で定める割引制度に該当する場合
常設展	大学の学生又はこれに準ずる者	200円	160円
	その他の者	300円	240円
企画展		その都度教育委員会が定める額	

備考

- 1 「企画展」とは、常設展以外の展示で特別の企画に基づくものをいう。
- 2 常設展と企画展とを同日中に観覧しようとする者の常設展の観覧料の額は、この表に定める額の5割相当額とする。

別表第3（第20条関係）

区分	年間観覧料（同一人が1年間に常設展又は企画展を観覧する場合の観覧料）の額
小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者	1,500円以内で教育委員会が定める額
大学の学生又はこれに準ずる者	3,000円以内で教育委員会が定める額
その他の者	5,000円以内で教育委員会が定める額

## 島根県立石見美術館管理規則

平成16年11月5日  
島根県教育委員会規則第29号

島根県立石見美術館管理規則をここに公布する。  
島根県立石見美術館管理規則

(趣旨)

第1条 この規則は、島根県芸術文化センター条例（平成16年島根県条例第51号。以下「条例」という。）第29条に基づき、島根県立石見美術館（以下「美術館」という。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(指定管理者の申請に関する書類)

第2条 条例第7条第2項の申請書は、指定管理者指定申請書（様式第1号）によらなければならない。

2 条例第7条第2項の教育委員会規則で定める書類は、次のとおりとする。

- (1) 定款、寄附行為、規約その他これらに準ずる書類
- (2) 法人にあっては、当該法人の登記事項証明書
- (3) 前項の申請書を提出する日の属する事業年度の事業計画書及び収支予算書並びに過去2年間の事業報告書、収支計算書、貸借対照表及び財産目録又はこれらに準ずる書類
- (4) 役員の名簿及び略歴を記載した書類
- (5) 団体の概要を記載した書類
- (6) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会（以下「委員会」という。）が必要と認める書類（平17教委規則14・一部改正）

(事業報告書の内容等)

第3条 条例第9条の規則等で定める日は、毎会計年度終了後60日とする。ただし、条例第11条第1項の規定により指定管理者の指定を取消された場合は、その取消の日から60日とし、その報告の対象となる期間は当該取消の前日までとする。

2 条例第9条の規則等で定める内容は、次のとおりとする。

- (1) 美術館の管理の体制
- (2) 美術館の管理業務の実施状況及び使用の実績
- (3) 美術館の管理に要した経費の収支状況
- (4) 前各号に掲げるもののほか、美術館の管理に関し委員会が必要と認める事項

(観覧料の納付)

第4条 観覧料は、前納とする。ただし、委員会が特に認めた場合は、後納とすることができる。

(年間観覧券)

第5条 年間観覧料を支払った者に対しては、年間観覧券を交付するものとし、その有効期間は、年間観覧券を交付した日から起算して1年間とする。

2 年間観覧券の使用は、同一人に限るものとする。

(観覧料の減免)

第6条 次の各号に掲げる者（条例別表第2個人の場合の欄に該当する場合に限る。）が、美術館の展示する美術品及び美術に関する資料を観覧しようとするときは、条例第21条の規定により、条例別表第2個人の場合の欄に定める額（以下この項において「観覧料の額」という。）から当該各号に定める額を減免することができる。

- (1) 小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者で、学校が編成した教育課程に基づく活動により教職員に引率されて観覧する者 観覧料の全額
- (2) 前号に掲げる者を引率する教職員 観覧料の額の全額
- (3) 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の身体障害者手帳、療養手帳（知的障害者の福祉の充実を図るため、児童相談所又は知的障害者更生相談所において知的障害者と判定された者に対して交付される手帳で、その者の障害の程度その他の事項の記載があるものをいう。）又は精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者（以下次項において「障害者」という。） 観覧料の額の全額
- (4) 障害者の付添人（原則として障害者の人数と同じ人数までに限る。） 観覧料の額の全額
- (5) 前各号に掲げるもののほか、委員会が特別の理由があると認める者 委員会が別に定める額

2 前項の規定により観覧料の減免を受けようとする者は、あらかじめ、観覧料減免申請書（様式第2号）を提出し、委員会の承認を受けなければならない。ただし、前項第3号及び第4号に規定する者については、この限りでない。

(観覧料の割引制度)

第7条 条例別表第2に規定する教育委員会規則で定める割引制度は、次に掲げる事項とする。

- (1) 他の観光施設等の管理者等と共同で発行する共通割引券を利用して観覧する場合
- (2) 別に定める者が運営する交通機関を利用する者が、別に定める乗車券等を提示して観覧する場合
- (3) 前2号に掲げるもののほか、美術館の利用を促進するものとして特に必要と認める場合

(センター協議会)

第8条 センター協議会に関し必要な事項は、別に定める。

(委任)

第9条 この規則に定めるもののほか、美術館の管理に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則（平成17年教委規則第14号）

この規則は、公布の日から施行する。

様式第1号（第2条関係）

## 指定管理者指定申請書

年 月 日

様

所在地

申請者 名称

代表者氏名

印

島根県芸術文化センターの指定管理者について指定を受けたいので、島根県芸術文化センター条例第7条第2項の規定に基づき下記のとおり申請します。

## 記

団体名			
代表者職・氏名			
主たる事務所の所在地			
設立年月日	年 月 日	構成員の 人数	人
資本金			円
提携団体（他団体と連携して管理を行う場合に記入すること。）			

## 島根県立石見美術館観覧料減免申請書

年 月 日

様

所在地

（団体にあっては、主たる事務所の所在地）

氏名

申請者

（団体にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号（自宅及び勤務先）

下記のとおり観覧料の減免を受けたいので申請します。

### 記

観覧期日	年 月 日（ ）曜日		
展覧会名			
減免を申請する理由	<input type="checkbox"/> 小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者が、学校が編成した教育課程に基づく活動により教職員に引率されて観覧する場合 <input type="checkbox"/> 上記の者を教職員が引率する場合 <input type="checkbox"/> その他の場合 （ ）		
区分	正規の観覧料	※ 減免率	※ 減免後の観覧料
小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者	円× 人＝ 円	%	円
上記を引率する教職員	円× 人＝ 円	%	円
その他の者	円× 人＝ 円	%	円
合計			円

（注） ※印欄は、記載しないでください。

## 施設概要

## ■島根県芸術文化センター（島根県立石見美術館、島根県立いわみ芸術劇場）

[所在地] 島根県益田市有明町5番15号  
 [設計期間] 2001年4月～2002年7月  
 [工事期間] 2002年11月～2005年3月

[設計] 内藤廣建築設計事務所  
 [構造設計] 空間工学研究所  
 [設備設計] 明野設備研究所  
 [コンサルタント]

- 設計協力：江角彰宣・みずほ設計
- 舞台機構：シアターワークショップ
- 舞台照明：シアターワークショップ
- 舞台音響：唐澤誠建築音響設計事務所
- サイン：矢萩喜從郎
- 共同監理：島根県益田土木建築事務所

[敷地面積] 36,564.16㎡  
 [建築面積] 14,068.15㎡  
 [延床面積] 19,252.45㎡  
 1階：13,313.01㎡、2階：2,893.78㎡  
 地下1階：3,045.66㎡  
 [建蔽率] 38.4%（許容：60%）  
 [容積率] 52.6%（許容：200%）  
 [用途] 美術館・劇場  
 [規模] 地上2階 地下1階  
 [最高高さ] 32.24m  
 [構造] RC造、一部PC、S造

## [設備]

- 空調設備、空調方式  
 ホール・美術館：単一ダクト方式  
 事務・ホール楽屋：ファンコイルユニット、単一ダクト方式  
 レストラン・ホール調整室：空冷パッケージ、全熱交換器方式
- 熱源  
 冷熱源：吸収式冷温水機、ブライン冷凍機（氷蓄熱・追掛）、  
 空冷ヒートポンプチラー方式  
 氷製氷時は深夜電力利用（蓄熱製氷方式・ダイナミック型）  
 温熱源：吸収式冷温水機、空冷ヒートポンプチラー方式、  
 ボイラー方式
- 衛生設備  
 給水：受水槽、加圧給水ポンプ方式  
 給湯：楽屋・レストラン厨房＝中央式（ガス給湯器）、  
 その他：局所式（電気温水器）  
 排水：建物内＝汚・雑排水合流方式  
 建物外＝合併浄化槽方式（放流水BOD 20mg/L以下）
- 電気設備  
 受電方式：高圧3相3線6.6KV 1回線  
 設備容量：6250kVA  
 契約電力：1500kVA  
 予備電源：高圧ガスタービン発電機 750kVA
- 防災設備  
 消火設備：全館スプリンクラー設備  
 （ホール舞台部：開放型、その他：閉鎖型）  
 美術館展示室・収蔵庫＝ハロゲン化物消火設備  
 （ハロンバンク登録）  
 補助散水栓  
 排煙：自然排煙、機械式排煙  
 その他：自動火災報知設備、非常放送設備、誘導灯設備、  
 非常用照明  
 昇降機：乗用エレベーター、荷物用エレベーター  
 特殊設備：水景設備（中庭）＝オーバーフロー循環方式・  
 砂濾過方式

## [施工]

- 建築：大成建設・大畑建設・日興建設特別共同企業体
- 空調：新菱冷熱・電設サービス・技研設備特別共同企業体
- 衛生：新日本空調・吉村設備・角田工業特別共同企業体
- 強電：中電工・北陽・山代特別共同企業体
- 弱電：栗原工業
- 舞台機構：森平舞台機構
- 舞台照明：丸茂電機
- 舞台音響：ヤマハサウンドテック
- 非常用発電：東芝
- エレベーター：東芝エレベーター
- 浄化槽：アルファプランニングワーク
- 外構：大畑建設・日興建設特別共同企業体
- 植栽：田部、大畑建設
- アスファルト舗装：大成建設・大畑建設・日興建設特別共同企業体
- 屋根・外壁石州瓦：  
 施工＝益田窯業  
 製造＝益田窯業、木村窯業、シバオ  
 瓦ファスニングシステム（外壁石州瓦取付）  
 ＝シナムラ
- 外壁タイル：  
 施工＝協和タイル  
 製造＝株式会社 スカラ
- 特殊照明：ヤマギワ

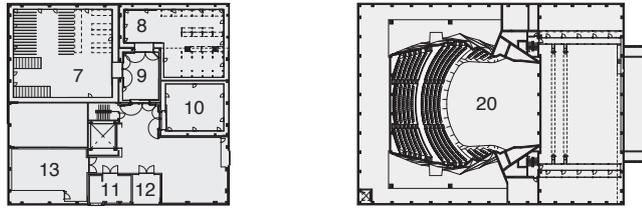
## 〔諸室面積一覧〕

石見美術館	
● 展示前室	255.2㎡
● 展示室A	388.8㎡
● 展示室B	202.5㎡
● 展示室C	307.8㎡
● 展示室D	1091.5㎡
● 美術館ロビー	498.2㎡
● 搬入荷解スペース(展示倉庫含む)	282.5㎡
● 美術館搬入口	178.6㎡
● 収蔵庫1	290.3㎡
● 収蔵庫2	189.0㎡
● 収蔵庫前室	61.1㎡
● 一時保管庫	101.2㎡
● 修復室	35.6㎡
● 隔離室	22.8㎡
● 写真室	99.8㎡
● 学芸員室	61.8㎡
● 研究資料室	47.7㎡
共用・管理部門	
● 応接室	43.0㎡
● センター長室	22.9㎡
● 副センター長室	22.9㎡
● ホール館長室	22.9㎡
● 事務室	170.2㎡
● 講義室	102.1㎡
● ボランティア室	43.4㎡
● アテンダント控室	20.2㎡
● 救護室	7.4㎡
● 授乳室	10.3㎡
● AV機械室	23.6㎡
● 中央監視室	47.3㎡
● 清掃員室	16.8㎡
● 回廊	1358.3㎡
● 中庭広場	2079.3㎡
● 美術館中庭	170.5㎡
● 事務中庭	220.5㎡
● 多目的ギャラリー	182.4㎡
● ミュージアムショップ	89.0㎡
● レストラン	182.6㎡

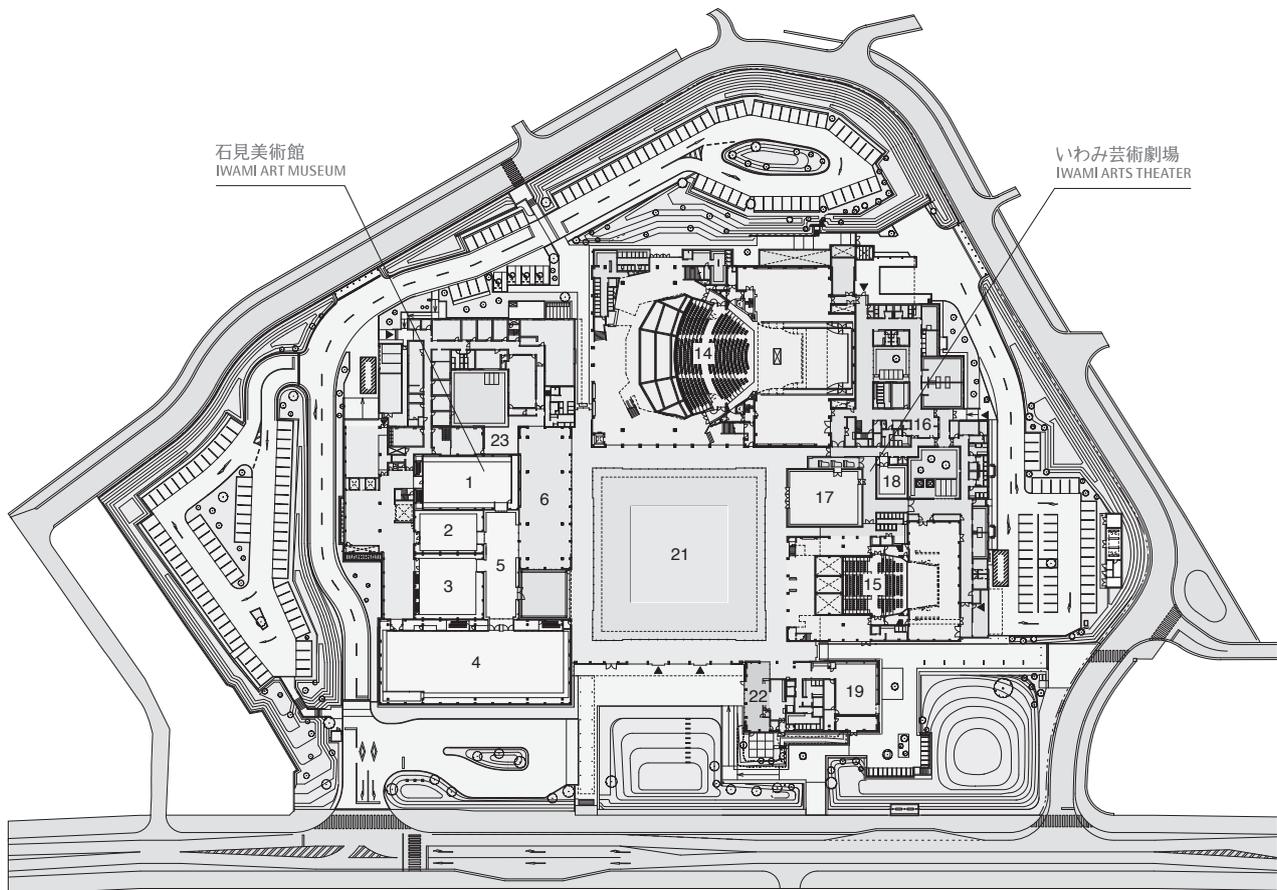
いわみ芸術劇場	
大ホール	
● ホワイエ 1F/2F	1436.5㎡
● 客席 1F/2F	1153.3㎡
● 舞台	1965.3㎡
● 親子室	15.1㎡
● 要約筆記室	14.7㎡
● 調光操作室	29.8㎡
● 音響調整室	24.4㎡
● 奈落	138.7㎡
● オーケストラピット	89.9㎡
● 客席ワゴン収納庫	197.7㎡
● 小楽屋1	19.6㎡
● 小楽屋2	19.6㎡
● 中楽屋1	31.0㎡
● 中楽屋2	30.9㎡
● 中楽屋3	32.0㎡
● 中楽屋4	32.0㎡
● 大楽屋1	73.4㎡
● 大楽屋2	74.0㎡
● 楽屋サロン	106.7㎡
● 主催者控室	10.3㎡
● 楽屋中庭	86.6㎡
小ホール	
● ホワイエ 1F/2F	478.4㎡
● 客席	394.6㎡
● 舞台	416.6㎡
● 調光操作室	27.3㎡
● 音響調整室	26.8㎡
● 投映室	12.9㎡
● 小楽屋1	16.4㎡
● 小楽屋2	16.4㎡
● 中楽屋1	27.7㎡
● 中楽屋2	27.5㎡
● ラウンジ	74.0㎡
● 主催者控室	10.9㎡
● 楽屋中庭	174.2㎡
● 楽屋ロビー	43.0㎡
● 楽屋事務室	15.8㎡
● スタジオ1	256.4㎡
● スタジオ2	70.9㎡
● ピアノ庫	42.4㎡
● スタジオロッカー室 1/2	14.1㎡

[平面図]

2F



1F



石見美術館

- |          |          |
|----------|----------|
| 1:展示室A   | 8:収蔵庫2   |
| 2:展示室B   | 9:収蔵庫前室  |
| 3:展示室C   | 10:一時保管庫 |
| 4:展示室D   | 11:修復室   |
| 5:展示前室   | 12:隔離室   |
| 6:美術館ロビー | 13:写真室   |
| 7:収蔵庫1   |          |

いわみ芸術劇場

- |             |               |
|-------------|---------------|
| 14:大ホール     | 21:中庭広場       |
| 15:小ホール     | 22:レストラン      |
| 16:楽屋       | 23:ミュージアムショップ |
| 17:スタジオ1    |               |
| 18:スタジオ2    |               |
| 19:多目的ギャラリー |               |
| 20:大ホール2F客席 |               |

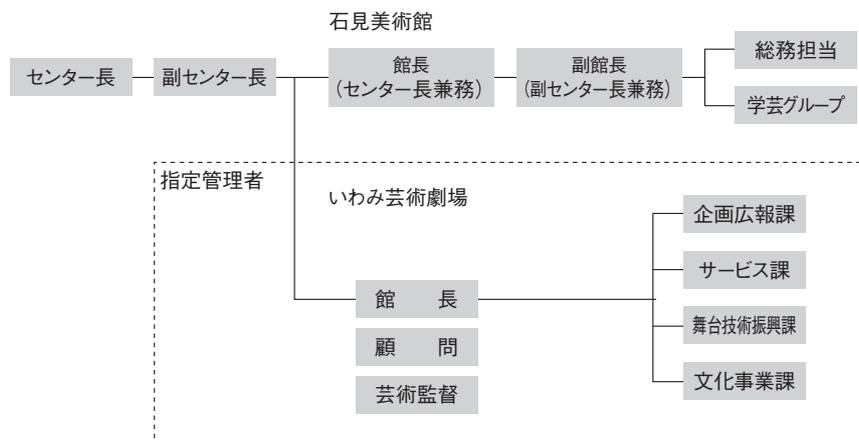
運営組織体制

施設名称

島根県芸術文化センター(島根県立石見美術館、島根県立いわみ芸術劇場)

組織体制

- 島根県芸術文化センター協議会
- 協議会委員(13名)
- 島根県芸術文化センター



シンボルマーク

このシンボルマークは、島根県を示すアルファベットの「S」と石見を示すアルファベットの「I」で構成され、また日本海の遠望を連想させる奥行きも加味してデザインされたものである。アルファベットの「I」のオレンジ色のイメージは石州瓦の色を連想させるだけでなく、他の色との組み合わせで色彩豊かにすることで、美術館とホール文化施設を晴れやかに謳い上げることをイメージさせる。

矢萩喜徳郎



利用案内

開館(利用)時間

石見美術館：10:00-18:30(展示室への入場は18:00まで)  
 いわみ芸術劇場：9:00-22:00

休館日

石見美術館：毎週火曜日、年末年始  
 いわみ芸術劇場：毎月第2火曜日及び第4火曜日、年末年始  
 (火曜日が祝日の場合は、その翌日以降の最初の休日でない日が休館日)  
 ※催しにあわせて休館日を変更する場合があります。

石見美術館観覧料

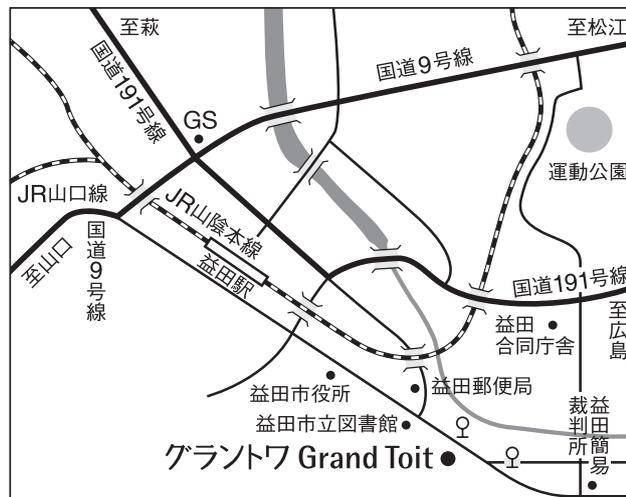
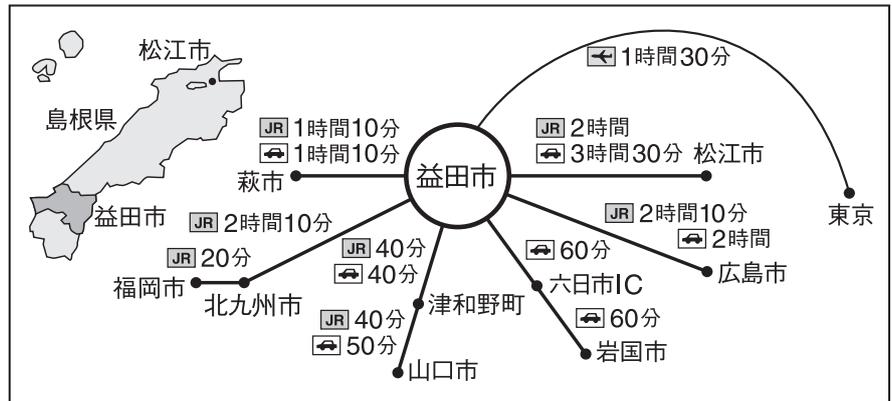
コレクション展：一般300(240)円/大学生200(160)円/高校生以下は無料  
 企画展：一般 1000(800)円/大学生600(450)円/小中高生300(250)円  
 ( )内は20名以上の団体料金  
 ・コレクション展と企画展とを同時に観覧する場合は、コレクション展の観覧料が半額になります。  
 ・中高生(引率者含む)の学校教育活動による観覧は無料。(事前にセンターにご連絡下さい)  
 ・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保険手帳をお持ちの方及びその介助者は観覧無料。

いわみ芸術劇場利用料

センターへ直接お問い合わせ下さい。

交通案内

- ・石見交通「グラントワ前」バス下車(徒歩1分)
- ・JR益田駅から約1km(徒歩15分)
- ・萩・石見空港から約6km(連絡バスJR益田駅まで約15分)
- ・浜田自動車道浜田ICから約40km(自動車約50分)





平成26年3月28日発行

発行 **島根県立石見美術館**

〒698-0022 島根県益田市有明町5-15

島根県芸術文化センター「グラントワ」内

TEL0856-31-1860(代表) FAX0856-31-1884(代表)

<http://www.grandtoit.jp> E-mail : [zaidan@grandtoit.jp](mailto:zaidan@grandtoit.jp)



島根県芸術文化センター  
SHIMANE ARTS CENTER  
石見美術館  
IWAMI ART MUSEUM